

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	柏本 吉章					科目ナンバ-	E0209A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要とされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：単複を見極める(1) 可算・不可算が決め手 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 1 単語(happen~disappear)の解説と例文 第2回 単複を見極める(2) 単複のカギを握る語、語彙Unit 2 (consider~subject) 第3回 単複を見極める(3) 名詞の前につく語、語彙Unit 3 (complete~attorney) 第4回 品詞を見極める(1) 名詞にまつわる問題、語彙Unit 4 (likely~stuff) 第5回 品詞を見極める(2) 形容詞にまつわる問題、語彙Unit 1-4の復習 第6回 品詞を見極める(3) 副詞にまつわる問題、語彙Unit 5 (executive~quantity) 第7回 品詞を見極める(4) 動詞にまつわる問題、語彙Unit 6 (damage~favorite) 第8回 接続詞と前置詞(1) 基本的な前置詞、語彙Unit 7 (grade~opinion) 第9回 接続詞と前置詞(2) 前置詞の定番イディオム、語彙Unit 8 (suspect~reduce) 第10回 接続詞と前置詞(3) 押さえておきたい接続詞、語彙Unit 5-8の復習 第11回 接続詞と前置詞(4) 接続詞か前置詞か、語彙Unit 9 (flat~reply) 第12回 動詞の形(1) 動名詞と不定詞、語彙Unit 10 (available~grind) 第13回 動詞の形(2) 態と分詞、語彙Unit 11 (sales~joint) 第14回 動詞の形(3) 現在完了と時制、仮定法、語彙Unit 12 (sue~ruin) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚える（学習時間：90分） 事後学習：授業で学んだ練習問題をプリントを使って再確認する（学習時間：90分）						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた問題演習						
評価基準と評価方法	小テスト(30%)、ノート作成(10%)、期末試験(60%)をもとに最終評価を算出する。 課題に対するフィードバックの方法 小テストの得点はその場で集計し、通算の成績等を毎回通知する。 作成したノート（プリント書き込み式）は、授業内で点検のうえ返却する。						
履修上の注意	(1) 4月のTOEIC IP Testを必ず受験すること。 (2) 授業で行なう小テストの得点平均が40%未満の者は、補講を受けなければならない。補講を受けない者には単位を認定しない。 (3) 出席が授業回数の3分の2に満たない者は期末試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7						
参考書	『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN：978-4-906033-53-9						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	柏本 吉章					科目ナンバ-	E0209A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要とされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：単複を見極める(1) 可算・不可算が決め手 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 1 単語(happen~disappear)の解説と例文 第2回 単複を見極める(2) 単複のカギを握る語、語彙Unit 2 (consider~subject) 第3回 単複を見極める(3) 名詞の前につく語、語彙Unit 3 (complete~attorney) 第4回 品詞を見極める(1) 名詞にまつわる問題、語彙Unit 4 (likely~stuff) 第5回 品詞を見極める(2) 形容詞にまつわる問題、語彙Unit 1-4の復習 第6回 品詞を見極める(3) 副詞にまつわる問題、語彙Unit 5 (executive~quantity) 第7回 品詞を見極める(4) 動詞にまつわる問題、語彙Unit 6 (damage~favorite) 第8回 接続詞と前置詞(1) 基本的な前置詞、語彙Unit 7 (grade~opinion) 第9回 接続詞と前置詞(2) 前置詞の定番イディオム、語彙Unit 8 (suspect~reduce) 第10回 接続詞と前置詞(3) 押さえておきたい接続詞、語彙Unit 5-8の復習 第11回 接続詞と前置詞(4) 接続詞か前置詞か、語彙Unit 9 (flat~reply) 第12回 動詞の形(1) 動名詞と不定詞、語彙Unit 10 (available~grind) 第13回 動詞の形(2) 態と分詞、語彙Unit 11 (sales~joint) 第14回 動詞の形(3) 現在完了と時制、仮定法、語彙Unit 12 (sue~ruin) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚える（学習時間：90分） 事後学習：授業で学んだ練習問題をプリントを使って再確認する（学習時間：90分）						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた問題演習						
評価基準と評価方法	小テスト(30%)、ノート作成(10%)、期末試験(60%)をもとに最終評価を算出する。 課題に対するフィードバックの方法 小テストの得点はその場で集計し、通算の成績等を毎回通知する。 作成したノート（プリント書き込み式）は、授業内で点検のうえ返却する。						
履修上の注意	(1) 4月のTOEIC IP Testを必ず受験すること。 (2) 授業で行なう小テストの得点平均が40%未満の者は、補講を受けなければならない。補講を受けない者には単位を認定しない。 (3) 出席が授業回数の3分の2に満たない者は期末試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7						
参考書	『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN：978-4-906033-53-9						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	柏本 吉章					科目ナンバ-	E0209A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要とされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：単複を見極める(1) 可算・不可算が決め手 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 1 単語(happen~disappear)の解説と例文 第2回 単複を見極める(2) 単複のカギを握る語、語彙Unit 2 (consider~subject) 第3回 単複を見極める(3) 名詞の前につく語、語彙Unit 3 (complete~attorney) 第4回 品詞を見極める(1) 名詞にまつわる問題、語彙Unit 4 (likely~stuff) 第5回 品詞を見極める(2) 形容詞にまつわる問題、語彙Unit 1-4の復習 第6回 品詞を見極める(3) 副詞にまつわる問題、語彙Unit 5 (executive~quantity) 第7回 品詞を見極める(4) 動詞にまつわる問題、語彙Unit 6 (damage~favorite) 第8回 接続詞と前置詞(1) 基本的な前置詞、語彙Unit 7 (grade~opinion) 第9回 接続詞と前置詞(2) 前置詞の定番イディオム、語彙Unit 8 (suspect~reduce) 第10回 接続詞と前置詞(3) 押さえておきたい接続詞、語彙Unit 5-8の復習 第11回 接続詞と前置詞(4) 接続詞か前置詞か、語彙Unit 9 (flat~reply) 第12回 動詞の形(1) 動名詞と不定詞、語彙Unit 10 (available~grind) 第13回 動詞の形(2) 態と分詞、語彙Unit 11 (sales~joint) 第14回 動詞の形(3) 現在完了と時制、仮定法、語彙Unit 12 (sue~ruin) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚える（学習時間：90分） 事後学習：授業で学んだ練習問題をプリントを使って再確認する（学習時間：90分）						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた問題演習						
評価基準と評価方法	小テスト(30%)、ノート作成(10%)、期末試験(60%)をもとに最終評価を算出する。 課題に対するフィードバックの方法 小テストの得点はその場で集計し、通算の成績等を毎回通知する。 作成したノート（プリント書き込み式）は、授業内で点検のうえ返却する。						
履修上の注意	(1) 4月のTOEIC IP Testを必ず受験すること。 (2) 授業で行なう小テストの得点平均が40%未満の者は、補講を受けなければならない。補講を受けない者には単位を認定しない。 (3) 出席が授業回数の3分の2に満たない者は期末試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7						
参考書	『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN：978-4-906033-53-9						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	柏本 吉章					科目ナンバ-	E0209B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力・文法力に重点を置く）						
授業の概要	英語運用力の向上と実社会における英語によるさまざまなコミュニケーション場面への習熟を目指す。TOEICテストの各種問題形式への対応を視野に入れて、聞き取り練習、読解練習、文法演習、語彙学習などをバランスよく行ない、実践的な英語運用力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 英語による日常的な会話や情報伝達の場面で、的確に情報を取得できる。 (2) 実際的なコミュニケーション場面に頻出する語彙に習熟する。 (3) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。						
授業計画	第1回 TOEIC Listening and Reading Testの形式と対策 第2回 Unit 1 Eating Out 文法：動詞(1) 第3回 Unit 2 Travel 文法：動詞(2) 第4回 Unit 3 Amusement 文法：動詞(3) 第5回 Unit 4 Meetings 文法：代名詞 第6回 Unit 5 Personnel 文法：不定詞と動名詞(1) 第7回 Unit 6 Shipping 文法：不定詞と動名詞(2) 第8回 学期前半の復習、中間試験 第9回 Unit 7 Advertisement 文法：名詞・冠詞・数量詞(1) 第10回 Unit 8 Daily Life 文法：名詞・冠詞・数量詞(2) 第11回 Unit 9 Office Work 文法：仮定法 第12回 Unit 10 Business 文法：分詞 第13回 Unit 11 Traffic 文法：関係詞 第14回 Unit 12 Finance and Banking 文法：接続詞 第15回 学期後半の復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	事前学習：授業で扱う単語の意味を調べて予習する。教科書の指示された問題を予習する。（学習時間90分） 事後学習：授業で学んだ練習問題の解法のポイントを復習する。（学習時間90分）						
授業方法	講義（TOEIC問題演習とその解説）						
評価基準と評価方法	TOEIC(60%)、小テスト(20%)、定期試験(20%)をもとに最終評価を算出する。 単位認定のためには、以下の条件をいずれも満たしていることが必須となる。 1. TOEICの成績=400点以上、 2. 出席=授業回数の3分の2以上  課題に対するフィードバックの方法 小テストの得点はその場で集計し、通算成績などを毎回通知する。						
履修上の注意	(1) 学期末のTOEIC IPテストを必ず受験すること。 (2) 出席が授業回数の3分の2に満たない者は、期末試験およびTOEICの受験資格を失うものとする。						
教科書	『一步上を目指すTOEIC LISTENING AND READING TEST: Level 1』、北尾泰幸他著、朝日出版、ISBN978-4-255-15614-9						
参考書	『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-53-9						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	柏本 吉章					科目ナンバ-	E0209B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要なとされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：よく出る文法構文問題 (1) 比較 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 13 単語(pile~confirm)の解説と例文 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 関係詞・基本と応用、語彙Unit 14 (annual~rough) 第3回 よく出る文法構文問題 (3) 関係副詞、語彙Unit 15 (household~aspect) 第4回 よく出る文法構文問題 (4) 見落としがちな判別ポイント、語彙Unit 16 (decorate~proof) 第5回 出る順 語彙 (ビジネス) (1) 最頻出語、語彙Unit 13-16の復習 第6回 出る順 語彙 (ビジネス) (2) ビジネス用語に慣れる、語彙Unit 17 (split~defendant) 第7回 出る順 語彙 (ビジネス) (3) 差のつく表現をマスター、語彙Unit 18 (confident~snap) 第8回 出る順 語彙 (ビジネス) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 19 (innocent~generate) 第9回 出る順 語彙 (生活・一般) (1) 最頻出語、語彙Unit 20 (starve~cheat) 第10回 出る順 語彙 (生活・一般) (2) 表現の幅を広げる単語、語彙Unit 17-20の復習 第11回 出る順 語彙 (生活・一般) (3) ここで差のつく単語、語彙Unit 21 (grave~award) 第12回 出る順 語彙 (生活・一般) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 22 (tease~formulate) 第13回 ビジネス編 (1) マネジメント、語彙Unit 23 (alert~feminine) 第14回 ビジネス編 (2) 経済・金融、語彙Unit 24 (faint~retain) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚える（学習時間 90分） 事後学習：授業で学んだ練習問題をプリントを使って再確認する（学習時間 90分）						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	TOEIC (50%)、小テスト (20%)、ノート作成 (10%)、期末試験 (20%) をもとに最終評価を算出する。 単位認定のためには、以下の3つの条件をいずれも満たしていることが必須となる。 1. TOEICの成績=400点以上、 2. 小テストの成績=40%以上 3. 出席=授業回数の3分の2以上  課題に対するフィードバックの方法 小テストの得点はその場で集計し、通算成績などを毎回通知する。 ノート（プリント記入式）は、授業内で点検し返却する。						
履修上の注意	(1) 学期末のTOEIC IPテストを必ず受験すること。 (2) 授業で行なう小テストの得点平均が40%未満の者は、補講を受けなければならない。補講を受けない者には単位を認定しない。 (3) 出席が授業回数の3分の2に満たない者は、期末試験およびTOEICの受験資格を失うものとする。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7						
参考書	『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-53-9						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	E. Dean					科目ナンバ-	E0102A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English Communication I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction</li> <li>2. Who are you? - Input</li> <li>3. Who are you? - Practice</li> <li>4. Who are you? - Presentations</li> <li>5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input</li> <li>6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice</li> <li>7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations</li> <li>8. Communication Game - Who, What, When, Where</li> <li>9. Tour Guide - Input</li> <li>10. Tour Guide - Practice</li> <li>11. Tour Guide - Presentations</li> <li>12. Storytelling - Input</li> <li>13. Storytelling - Practice</li> <li>14. Storytelling - Preparation</li> <li>15. Storytelling - Presentations</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
履修上の注意	Students are required to attend regularly, come to class on time, and participate actively. The teacher will be available for questions immediately before or after class.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	E. Dean					科目ナンバ-	E0102A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English Communication I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction</li> <li>2. Who are you? - Input</li> <li>3. Who are you? - Practice</li> <li>4. Who are you? - Presentations</li> <li>5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input</li> <li>6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice</li> <li>7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations</li> <li>8. Communication Game - Who, What, When, Where</li> <li>9. Tour Guide - Input</li> <li>10. Tour Guide - Practice</li> <li>11. Tour Guide - Presentations</li> <li>12. Storytelling - Input</li> <li>13. Storytelling - Practice</li> <li>14. Storytelling - Preparation</li> <li>15. Storytelling - Presentations</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
履修上の注意	Students are required to attend regularly, come to class on time, and participate actively. The teacher will be available for questions immediately before or after class.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	D. Robinson					科目ナンバ-	E0102A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English Communication I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction</li> <li>2. Who are you? - Input</li> <li>3. Who are you? - Practice</li> <li>4. Who are you? - Presentations</li> <li>5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input</li> <li>6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice</li> <li>7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations</li> <li>8. Communication Game - Who, What, When, Where</li> <li>9. Tour Guide - Input</li> <li>10. Tour Guide - Practice</li> <li>11. Tour Guide - Presentations</li> <li>12. Storytelling - Input</li> <li>13. Storytelling - Practice</li> <li>14. Storytelling - Preparation</li> <li>15. Storytelling - Presentations</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
履修上の注意	Students are required to attend regularly, come to class on time, and participate actively. The teacher will be available for questions immediately before or after class.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	D. Robinson					科目ナンバ-	E0102A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English Communication I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction</li> <li>2. Who are you? - Input</li> <li>3. Who are you? - Practice</li> <li>4. Who are you? - Presentations</li> <li>5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input</li> <li>6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice</li> <li>7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations</li> <li>8. Communication Game - Who, What, When, Where</li> <li>9. Tour Guide - Input</li> <li>10. Tour Guide - Practice</li> <li>11. Tour Guide - Presentations</li> <li>12. Storytelling - Input</li> <li>13. Storytelling - Practice</li> <li>14. Storytelling - Preparation</li> <li>15. Storytelling - Presentations</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
履修上の注意	Students are required to attend regularly, come to class on time, and participate actively. The teacher will be available for questions immediately before or after class.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	最所 千依					科目ナンバ-	E0102A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English Communication I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction</li> <li>2. Who are you? - Input</li> <li>3. Who are you? - Practice</li> <li>4. Who are you? - Presentations</li> <li>5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input</li> <li>6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice</li> <li>7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations</li> <li>8. Communication Game - Who, What, When, Where</li> <li>9. Tour Guide - Input</li> <li>10. Tour Guide - Practice</li> <li>11. Tour Guide - Presentations</li> <li>12. Storytelling - Input</li> <li>13. Storytelling - Practice</li> <li>14. Storytelling - Preparation</li> <li>15. Storytelling - Presentations</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
履修上の注意	Students are required to attend regularly, come to class on time, and participate actively. The teacher will be available for questions immediately before or after class.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	担当者未定					科目ナンバー	E0102B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction / Picture Stories - Input</li> <li>2. Picture Stories - Practice</li> <li>3. Picture Stories - Presentations</li> <li>4. Short Speeches - Input</li> <li>5. Short Speeches - Practice</li> <li>6. Short Speeches - Presentations</li> <li>7. Communication Game - Do Your Own Thing!</li> <li>8. Graded Readers - Input</li> <li>9. Graded Readers - Practice</li> <li>10. English Theatre</li> <li>11. Graded Readers - Presentations</li> <li>12. Skits - Input</li> <li>13. Christmas Party</li> <li>14. Skits - Practice</li> <li>15. Skits - Presentations</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
履修上の注意	Students are required to attend regularly, come to class on time, and participate actively. The teacher will be available for questions immediately before or after class.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	担当者未定					科目ナンバー	E0102B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction / Picture Stories - Input</li> <li>2. Picture Stories - Practice</li> <li>3. Picture Stories - Presentations</li> <li>4. Short Speeches - Input</li> <li>5. Short Speeches - Practice</li> <li>6. Short Speeches - Presentations</li> <li>7. Communication Game - Do Your Own Thing!</li> <li>8. Graded Readers - Input</li> <li>9. Graded Readers - Practice</li> <li>10. English Theatre</li> <li>11. Graded Readers - Presentations</li> <li>12. Skits - Input</li> <li>13. Christmas Party</li> <li>14. Skits - Practice</li> <li>15. Skits - Presentations</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
履修上の注意	Students are required to attend regularly, come to class on time, and participate actively. The teacher will be available for questions immediately before or after class.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	E. Dean					科目ナンバー	E0102B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction / Picture Stories - Input</li> <li>2. Picture Stories - Practice</li> <li>3. Picture Stories - Presentations</li> <li>4. Short Speeches - Input</li> <li>5. Short Speeches - Practice</li> <li>6. Short Speeches - Presentations</li> <li>7. Communication Game - Do Your Own Thing!</li> <li>8. Graded Readers - Input</li> <li>9. Graded Readers - Practice</li> <li>10. English Theatre</li> <li>11. Graded Readers - Presentations</li> <li>12. Skits - Input</li> <li>13. Christmas Party</li> <li>14. Skits - Practice</li> <li>15. Skits - Presentations</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
履修上の注意	Students are required to attend regularly, come to class on time, and participate actively. The teacher will be available for questions immediately before or after class.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	E. Dean					科目ナンバー	E0102B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction / Picture Stories - Input</li> <li>2. Picture Stories - Practice</li> <li>3. Picture Stories - Presentations</li> <li>4. Short Speeches - Input</li> <li>5. Short Speeches - Practice</li> <li>6. Short Speeches - Presentations</li> <li>7. Communication Game - Do Your Own Thing!</li> <li>8. Graded Readers - Input</li> <li>9. Graded Readers - Practice</li> <li>10. English Theatre</li> <li>11. Graded Readers - Presentations</li> <li>12. Skits - Input</li> <li>13. Christmas Party</li> <li>14. Skits - Practice</li> <li>15. Skits - Presentations</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
履修上の注意	Students are required to attend regularly, come to class on time, and participate actively. The teacher will be available for questions immediately before or after class.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	D. Robinson					科目ナンバー	E0102B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction / Picture Stories - Input</li> <li>2. Picture Stories - Practice</li> <li>3. Picture Stories - Presentations</li> <li>4. Short Speeches - Input</li> <li>5. Short Speeches - Practice</li> <li>6. Short Speeches - Presentations</li> <li>7. Communication Game - Do Your Own Thing!</li> <li>8. Graded Readers - Input</li> <li>9. Graded Readers - Practice</li> <li>10. English Theatre</li> <li>11. Graded Readers - Presentations</li> <li>12. Skits - Input</li> <li>13. Christmas Party</li> <li>14. Skits - Practice</li> <li>15. Skits - Presentations</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
履修上の注意	Students are required to attend regularly, come to class on time, and participate actively. The teacher will be available for questions immediately before or after class.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E0105A
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	白川 計子					科目ナンバー	E0105A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用いて、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	英文をその構造を意識しながら読み、正確に内容把握することができる。 多用される基本的語彙の意味と用法に習熟する。						
授業計画	第1回 授業説明・教科書紹介 第2回 Chapter 1 Animals in Zoo, For: The world needs zoos 第3回 Chapter 1 Animals in Zoo, Against: Replace zoos with something better 第4回 Chapter 2 Security Cameras, For: Safety first 第5回 Chapter 2 Security Cameras, Against: Whatever happened to privacy? 第6回 Chapter 3 Can Customer Service Go Too Far?, For: I enjoy the personal touch 第7回 Chapter 3 Can Customer service Go Too Far? Against: Give me some room to breathe 第8回 復習と中間テスト 第9回 Chapter 4 Digital Manuals, Catalogs, and Textbooks, For: Convenience at one's fingertips 第10回 Chapter 4 Digital Manuals, Catalogs, and Textbooks, against: Convenient until they are not 第11回 Chapter 5 Womenomics, For: Waste not, Want not 第12回 Chapter 5 Womenomics, Against: False hopes 第13回 Chapter 6 Extreme Sports, For: Reach for the star 第14回 chapter 6 Extreme sports, Against: Keep your feet on the ground 第15回 復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習： 授業で扱う教科書の当該箇所の予習（詳細は授業内で指示）（目安とする学習時間：1～2時間） 授業後学習： 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理（目安とする学習時間：1時間程度）						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	平常点と中間テスト50%、期末試験50%						
履修上の注意	授業回数の3分の1以上欠席した人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	Mark Jewel 著 タイトル：Taking Sides: Opinions For and Against 出版社：Asahi Press ISBN: 978-4-255-15593-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	E0105A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	Reading World News						
授業の概要	Power Reading IAは、英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成することを目的とする。授業クラスは、入学時に実施される英語テストの成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を使い、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を理解する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Chapter 1 Emojis: Word study and listening practice 第2回 Chapter 1 Emojis: Reading and discussion 第3回 Chapter 2 Robots: Word study and listening practice 第4回 Chapter 2 Robots: Reading and discussion 第5回 Chapter 3 Shopping: Word study and listening practice 第6回 Chapter 3 Shopping: Reading and discussion 第7回 Chapter 4 Volunteering Overseas: Word study and listening practice 第8回 Chapter 4 Volunteering Overseas: Reading and discussion 第9回 Chapter 5 Pop vs Traditional Culture: Word study and listening practice 第10回 Chapter 5 Pop vs Traditional Culture: Reading and discussion 第11回 Chapter 6 Foreign Visitors: Word study and listening practice 第12回 Chapter 6 Foreign Visitors: Reading and discussion 第13回 Chapter 7 English in the Office: Word study and listening practice 第14回 Chapter 7 English in the Office: Reading and discussion 第15回 Chapter 1~7についての質問とディスカッション						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。完全な予習には2時間は必要と考える。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	英文の読み方、発音のしかたについての説明と、manaba を用いた小テスト。						
評価基準と評価方法	13回行う manaba を用いた小テストの成績を100点満点に換算して、この授業の成績とする。						
履修上の注意	manaba が使え、オンラインの音声データを利用できるように、スマートフォンの電源を確保しておくこと。						
教科書	宍戸, Murphy, 高橋 _AFP World News Report 4._ 成美堂. (ISBN978-7919-3423-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	E0105A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み・内容を把握する力をつける						
授業の概要	この授業では、英文を正確に読み、内容を適格に把握する力を養成します。授業クラスは、入学時事実実施される英語の統一試験の成績をもとに習熟度別に編制し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進度で行う。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化・政治・歴史・社会状況などの背景的な知識の説明も行うことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	ともかく少しでもずんずんと英文が読めることができる。						
授業計画	第1回 イントロ [授業説明・教科書紹介] 第2回 Lesson 1: Birthdays 第3回 Lesson 2: Brasilia 第4回 Lesson 3: Laughter 第5回 Lesson 4: New Year's Day 第6回 Lesson 5: Perfume / 試験範囲・内容発表 第7回 ここまでの復習 第8回 質疑応答・中間試験 第9回 Lesson 6: Choosing a Name for a Baby 第10回 Lesson 7: Sleep 第11回 Lesson 8: Table Customs in Thailand 第12回 Lesson 9: Iceland 第13回 Lesson 10: Coffee / 試験範囲・内容発表 第14回 ここまでの復習 第15回 質疑応答・期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	必ず辞書を引いて予習をしてきて下さい。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	■定期試験70% 平常点30%						
履修上の注意	■予習は必須です。 ■クラスのレベルに合わせて、進度を上の予定表より早めることがあります。 ■私語厳禁です。私語を繰り返す人は大迷惑なので退室してもらいます。						
教科書	Broukal, Milada & Tomoko Sekiguchi. Connection 1. Shohakusha/Cengage Learning. ISBN: 978-4-88198-696-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E0105B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	白川 計子					科目ナンバ-	E0105B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用いて、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	英文をその構造を意識しながら読み、正確に内容把握することができる。 多用される基本的語彙の意味と用法に習熟する。						
授業計画	第1回 Chapter 7 Casinos and Gambling, For: Casinos are a sure bet 第2回 Chapter 7 casinos and Gambling, Against: Don't gamble with the future 第3回 Chapter 8 Spouse Hunting, For: Love is where you found it 第4回 Chapter 8 Spouse Hunting, Against: Romance by the numbers 第5回 Chapter 9 Space Exploration, For: To infinity, and beyond 第6回 Chapter 9 Space Exploration, There's no place like home 第7回 復習と中間テスト 第8回 Chapter 10 Becoming a World Heritage Site, For: We are the world 第9回 Chapter 10 Becoming a World Heritage site, Against: Trapped by the past 第10回 Chapter 11 Driverless Cars, For: Road to the future 第11回 Chapter 11 Driverless Cars Against: Dead-end street 第12回 Speech Contest 第13回 Chapter 12 The Lay-Judge System in Japan, For Justice by the people, for the people 第14回 Chapter 12 The Lay-Judge System in Japan, Against: Amateur justice is no justice 第15回 復習と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習: 授業で扱う教科書の当該箇所の予習(詳細は授業内で指示)(目安とする学習時間:1~2時間) 授業後学習: 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理(目安とする学習時間:1時間程度)						
授業方法	講義(講読)						
評価基準と評価方法	平常点と中間テスト50%、期末試験50%						
履修上の注意	授業回数の3分の1以上欠席した人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	Mark Jewel著 タイトル: Taking Sides: Opinions For and Against 出版社: Asahi Press ISBN: 978-4-255-15593-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading 1B						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	E0105B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	Reading World News						
授業の概要	Power Reading 1Aは、英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成することを目的とする。授業クラスは、入学時に実施される英語テストの成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を使い、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を理解する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Chapter 8 National Parks: Word study and listening practice 第2回 Chapter 8 National Parks: Reading and discussion 第3回 Chapter 9 Old and New: Word study and listening practice 第4回 Chapter 9 Old and New: Reading and discussion 第5回 Chapter 10 The Paris Agreement: Word study and listening practice 第6回 Chapter 10 The Paris Agreement: Reading and discussion 第7回 Chapter 11 Social Inequality: Word study and listening practice 第8回 Chapter 11 Social Inequality: Reading and discussion 第9回 Chapter 12 Pop vs Traditional Culture: Word study and listening practice 第10回 Chapter 12 Pop vs Traditional Culture: Reading and discussion 第11回 Chapter 13 Japanese Interpretation of Foreign Culture: Word study and listening practice 第12回 Chapter 13 Japanese Interpretation of Foreign Culture: Reading and discussion 第13回 Chapter 14 Luxury Tax: Word study and listening practice 第14回 Chapter 14 Luxury Tax: Reading and discussion 第15回 Chapter 1~7についての質問とディスカッション						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。完全な予習には2時間は必要と考える。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	英文の読み方、発音のしかたについての説明と、manaba を用いた小テスト。						
評価基準と評価方法	13回行う manaba を用いた小テストの成績を100点満点に換算して、この授業の成績とする。						
履修上の注意	manaba が使え、オンラインの音声データを利用できるように、スマートフォンの電源を確保しておくこと。						
教科書	宍戸, Murphy, 高橋 _AFP World News Report 4._ 成美堂. (ISBN978-7919-3423-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	E0105B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み・内容を把握する力をつける						
授業の概要	この授業では、英文を正確に読み、内容を適格に把握する力を養成します。授業クラスは、入学時事実施される英語の統一試験の成績をもとに習熟度別に編制し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進度で行う。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化・政治・歴史・社会状況などの背景的な知識の説明も行うことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	ともかく少しでもずんずんと英文が読めることができる。						
授業計画	第1回 イントロ [授業説明・教科書紹介] 第2回 Lesson 1: 洋菓子 vs. 和菓子 第3回 Lesson 2: ワイブ 第4回 Lesson 3: ホワイトデー 第5回 Lesson 4: コインの穴 第6回 Lesson 5: 遠足 / 試験範囲・内容発表 第7回 ここまでの復習 第8回 質疑応答・中間試験 第9回 Lesson 6: マンホールの蓋 第10回 Lesson 7: 耳掻き 第11回 Lesson 8: 音読 第12回 Lesson 9: のし袋 第13回 Lesson 10: 橋名 / 試験範囲・内容発表 第14回 ここまでの復習 第15回 質疑応答・期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	必ず予習をしてきて下さい。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	■定期試験50% 平常点50%						
履修上の注意	■予習は必須です。必ず辞書を引いて予習を万全にしてきて下さい。 ■私語厳禁です。私語を繰り返す人は大迷惑なので退室してもらいます。						
教科書	Gordenker, Alice / Rucynski, John. Surprising Japan! 松柏社, 2013 ISBN: 978-4-88198-675-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	柏本 吉章					科目ナンバ-	E0207A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成する。あわせて、TOEIC対策としての語彙力の強化も目指す。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) TOEICテストなどに頻出する実践的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 Unit 1 A Snowman That Neither Melted Nor Stuck (語彙チェック、Reading前半) 第2回 Unit 1 A Snowman That Neither Melted Nor Stuck (語彙チェック、Reading後半とExercise) 第3回 Unit 2 The Secret Test Pilot (語彙チェック、Reading前半) 第4回 Unit 2 The Secret Test Pilot (語彙チェック、Reading後半とExercise) 第5回 Unit 4 Sleep Habits in the Mammal Kingdom (語彙チェック、Reading前半) 第6回 Unit 4 Sleep Habits in the Mammal Kingdom (語彙チェック、Reading後半とExercise) 第7回 Unit 8 Black Friday (語彙チェック、Reading前半) 第8回 中間試験、Unit 8 Black Friday (Reading後半とExercise) 第9回 Unit 10 The Throw Away Cafe! (語彙チェック、Reading前半) 第10回 Unit 10 The Throw Away Cafe! (語彙チェック、Reading後半とExercise) 第11回 Unit 11 Lost in Translation (語彙チェック、Reading前半) 第12回 Unit 11 Lost in Translation (語彙チェック、Reading後半とExercise) 第13回 Unit 12 The Very Fortunate Four (語彙チェック、Reading前半) 第14回 Unit 12 The Very Fortunate Four (語彙チェック、Reading後半とExercise) 第15回 Unit 8-12の復習と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習： 授業で扱う教科書の当該箇所の予習(詳細は授業内で指示)(学習時間：90分) 授業後学習： 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理(学習時間：60分)						
授業方法	講義(英文講読)と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、語彙チェックテストなどに基づく平常点30%						
履修上の注意	出席が授業回数の3分の2に満たない人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『Reading Wonders』、Robert Juppe/Yukio Umaba著、金星堂、ISBN978-4-7647-3999-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	白川 計子					科目ナンバ-	E0207A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成する。あわせて、TOEIC対策としての語彙力の強化も目指す。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) TOEICテストなどに頻出する実践的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 授業オリエンテーション、Readingの技術、Readingの視点 第2回 Unit 1 A Snowman That Neither Melted Nor Stuck (語彙チェックとReading前半) 第3回 Unit 1 A Snowman That Neither Melted Nor Stuck (Reading後半とExercise) 第4回 Unit 2 The Secret Test Pilot (語彙チェックとReading前半) 第5回 Unit 2 The Secret Test Pilot (Reading後半とExercise) 第6回 Unit 3 The Pub, an Endangered British Species (語彙チェックとReading前半) 第7回 Unit 3 The Pub, an Endangered British Species (Reading後半とExercise) 第8回 Unit 4 Sleep Habits in the Mammal Kingdom (語彙チェックとReading前半) 第9回 Unit 1-3の復習と中間試験 第10回 Unit 4 Sleep Habits in the Mammal Kingdom (Reading後半とExercise) 第11回 Unit 5 The Secret Behind the Image (語彙チェックとReading前半) 第12回 Unit 5 The Secret Behind the Image (Reading後半とExercise) 第13回 Unit 6 The Periodic Cicada, an Amazing Survivor (語彙チェックとReading前半) 第14回 Unit 6 The Periodic Cicada, an Amazing Survivor (Reading後半とExercise) 第15回 Unit 4-6の復習と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習： 授業で扱う教科書の当該箇所の予習(詳細は授業内で指示)(目安とする学習時間：1~2時間) 授業後学習： 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理(目安とする学習時間：1時間程度)						
授業方法	講義(講読)と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、単語テストなどに基づく平常点30%						
履修上の注意	出席が授業回数の3分の2に満たない人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『Reading Wonders』、Robert Juppe/Yukio Umaba著、金星堂、ISBN978-4-7647-3999-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	E0207A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み・内容を把握した上でさらに批判的に考察する力をつける						
授業の概要	この授業では、イギリスに関する英文を読むことで、内容を適格に把握した上で、さらに批判的に考察する力をつける力を養成します。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化・政治・歴史・社会状況などの背景的な知識の説明も行うことによって、より深く内容を理解できるようにします。						
到達目標	少し難しい英文がずらずらと読むことができる。						
授業計画	第1回 イン트로 [授業説明・教科書紹介] 第2回 Chapter 1: The United Kingdom? 第3回 Chapter 2: Multicultural Britain 第4回 Chapter 3: The UK and the EU 第5回 Chapter 4: Tea 第6回 Chapter 5: Social class / 試験範囲・内容発表 第7回 ここまでの復習 第8回 質疑応答・中間試験 第9回 Chapter 11: Food 第10回 Chapter 12: Music and fashion 第11回 Chapter 13: Fantasy and castles 第12回 Chapter 14: The arts 第13回 Chapter 10: Homes, gardens and the countryside / 試験範囲・内容発表 第14回 ここまでの復習 第15回 質疑応答・期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	必ず辞書を引いて予習をしてきて下さい。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	■定期試験50% 平常点50%						
履修上の注意	■予習は必須です。 ■クラスのレベルに合わせて、進度を上回る予定表より早めることがあります。 ■私語厳禁です。私語を繰り返す人は大迷惑なので退室してもらいます。						
教科書	Knight, Tim. Welcome to Britain. Tsurumi Shoten. ISBN: 9784755303838						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIB						
担当教員	白川 計子					科目ナンバ-	E0207B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成する。あわせて、TOEIC対策としての語彙力の強化も目指す。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) TOEICテストなどに頻出する実践的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 Unit 8 Black Friday (語彙チェックとReading前半) 第2回 Unit 8 Black Friday (Reading後半とExercise) 第3回 Unit 9 Getting High on Gardening (語彙チェックとReading前半) 第4回 Unit 9 Getting High on Gardening (Reading後半とExercise) 第5回 Unit 10 The Throw-Away Cafe! (語彙チェックとReading前半) 第6回 Unit 10 The Throw-Away Cafe! (Reading後半とExercise) 第7回 Unit 11 Lost in Translation (語彙チェックとReading前半) 第8回 Unit 8-10の復習と中間試験 第9回 Unit 11 Lost in Translation (Reading後半とExercise) 第10回 Unit 12 The Very Fortunate Four (語彙チェックとReading前半) 第11回 Unit 12 The Very Fortunate Four (Reading後半とExercise) 第12回 Unit 13 Health, A Salty Reality (語彙チェックとReading前半) 第13回 Unit 13 Health, A Salty Reality (Reading後半とExercise) 第14回 Unit 14 First the Mammoth, Next the Elephant? (ReadingとExercise) 第15回 Unit 11-14の復習と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習： 授業で扱う教科書の当該箇所の予習(詳細は授業内で指示)(目安とする学習時間：1~2時間) 授業後学習： 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理(目安とする学習時間：1時間程度)						
授業方法	講義(講読)と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、単語テストなどに基づく平常点30%						
履修上の注意	出席が授業回数の3分の2に満たない人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『Reading Wonders』、Robert Juppe/Yukio Umaba著、金星堂、ISBN978-4-7647-3999-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E0104A
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E0104A
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E0104A
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E0104A
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. Angel					科目ナンバ-	E0104A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	1 Syllabus, ice breakers, classroom language 2 Unit 1 Review classroom language, introductions & greetings, stress, 3 Unit 1 Conv practice, language focus: h/f qs 4 Unit 1 Listening to basic conversations, speaking, workbook unit 1. 5 Unit 3 Food vocabulary, Conversation - going for something to eat 6 Unit 3 Language practice, reading menus - vocab, listening - types of restaurant 7 Unit 3 Eating out, groups - food talk, foods from all over the world 8 Unit 3 Review, Unit 3 Workbook 9 Review Unit 1-3 in student book and workbook, interim assessment 10 Unit 5 Daily activities, phone conv practice 11 Unit 5 Language practice - h/f Qs and As, Listening - daily activities 12 Unit 5 Reading - smart phones & manners, phone conversations - speaking. (Option - write smart phone manners advice sheet) 13 Unit 5 Review 5, workbook unit 5 completion 14 Review 1-3-5, students make and practice conversations 15 Final reviews of 5, practice convs of 1-3-5, final assessment						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	None						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Two Tests and classroom participation = 40% Four quizzes = 30% Reading = 30%						
履修上の注意	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
教科書							
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. Angel					科目ナンバ-	E0104A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking - English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	1 Syllabus, ice breakers, classroom language 2 Unit 1 Review classroom language, introductions & greetings, stress, 3 Unit 1 Conv practice, language focus: h/f qs 4 Unit 1 Listening to basic conversations, speaking, workbook unit 1. 5 Unit 3 Food vocabulary, Conversation - going for something to eat 6 Unit 3 Language practice, reading menus - vocab, listening - types of restaurant 7 Unit 3 Eating out, groups - food talk, foods from all over the world 8 Unit 3 Review, Unit 3 Workbook 9 Review Unit 1-3 in student book and workbook, interim assessment 10 Unit 5 Daily activities, phone conv practice 11 Unit 5 Language practice - h/f Qs and As, Listening - daily activities 12 Unit 5 Reading - smart phones & manners, phone conversations - speaking. (Option - write smart phone manners advice sheet) 13 Unit 5 Review 5, workbook unit 5 completion 14 Review 1-3-5, students make and practice conversations 15 Final reviews of 5, practice convs of 1-3-5, final assessment						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	None						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Two Tests and classroom participation = 40% Four quizzes = 30% Reading = 30%						
履修上の注意	None						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (3rd Edition) Oxford Student Book: ISBN 9780194602648 Workbook: ISBN 9780194602624						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Chatham					科目ナンバ-	E0104A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation The main focus in this course will be on developing students' speaking skills.						
授業の概要	Students will: take part in a variety of fluency developing activities learn, and practice using a variety of high frequency vocabulary items talk and ask about their own experiences and activities using vocabulary and grammar structures covered in class participate in role plays and discussions using vocabulary and grammar structures covered in class						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course overview - syllabus, admin, classroom language, basic class exchanges</li> <li>2. Unit 1 Talking about vacation - vocab, phrases, grammar (simple past)</li> <li>3. Unit 1 Agreeing and disagreeing language, Listening practice</li> <li>4. Unit 1 Intensive reading - vacation, group discussions (challenges), vacation pair chats</li> <li>5. Unit 1 Unit 1 Review, Test</li> <li>7. Unit 3 Free time activities vocab, conversations</li> <li>8. Unit 3 Present perfect grammar - 'have you ever...?', listening and focused listening</li> <li>9. Unit 3 Reading - 'have you ever...?', group discussions, class survey and pair qs</li> <li>10. Unit 3 Review, Test</li> <li>11. Unit 5 Special events vocabulary, descriptions, conversation: weekend/events</li> <li>11. Unit 5 Time expressions, pronunciation, Listening and focused listening</li> <li>12. Unit 5 Reading, adjectives, Group discussions, Speaking - months, events</li> <li>13. Unit 5 Review and Quiz</li> <li>14. Unit 1-3-5 Review activities - vocabulary, expressions</li> <li>15. Consolidation and review, Final assessments</li> </ol> <p>NOTE - Online Practice is used throughout, and the workbook is also used each class.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Role-plays/interviews 30% Quizzes 20% Homework 10% Participation/attendance 10% Self study 30%						
履修上の注意	Students must fulfill all requirements. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported.						
教科書	Smart Choice 2 Student Book (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6 Smart Choice 2 WorkBook (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6 Wilson, K. Oxford						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Chatham					科目ナンバ-	E0104A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation The main focus in this course will be on developing students' speaking skills.						
授業の概要	Students will: take part in a variety of fluency developing activities learn, and practice using a variety of high frequency vocabulary items talk and ask about their own experiences and activities using vocabulary and grammar structures covered in class participate in role plays and discussions using vocabulary and grammar structures covered in class						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course overview - syllabus, admin, classroom language, basic class exchanges</li> <li>2. Unit 1 Talking about vacation - vocab, phrases, grammar (simple past)</li> <li>3. Unit 1 Agreeing and disagreeing language, Listening practice</li> <li>4. Unit 1 Intensive reading - vacation, group discussions (challenges), vacation pair chats</li> <li>5. Unit 1 Unit 1 Review, Test</li> <li>7. Unit 3 Free time activities vocab, conversations</li> <li>8. Unit 3 Present perfect grammar - 'have you ever...?', listening and focused listening</li> <li>9. Unit 3 Reading - 'have you ever...?', group discussions, class survey and pair qs</li> <li>10. Unit 3 Review, Test</li> <li>11. Unit 5 Special events vocabulary, descriptions, conversation: weekend/events</li> <li>11. Unit 5 Time expressions, pronunciation, Listening and focused listening</li> <li>12. Unit 5 Reading, adjectives, Group discussions, Speaking - months, events</li> <li>13. Unit 5 Review and Quiz</li> <li>14. Unit 1-3-5 Review activities - vocabulary, expressions</li> <li>15. Consolidation and review, Final assessments</li> </ol> <p>NOTE - Online Practice is used throughout, and the workbook is also used each class.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Role-plays/interviews 30% Quizzes 20% Homework 10% Participation/attendance 10% Self study 30%						
履修上の注意	Students must fulfill all requirements. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported.						
教科書	Smart Choice 2 Student Book (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6 Smart Choice 2 WorkBook (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6 Wilson, K. Oxford						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	B. Plett					科目ナンバ-	E0104A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course overview - syllabus, admin, holiday chats / ice breakers</li> <li>2. Unit 2 Movies/music - genres vocab, conversations, h/f qs</li> <li>3. Unit 2 -ing, -ed grammar, personal opinions, pair exchange of views - interests, pronun, listenin g</li> <li>4. Unit 2 Intensive reading - movie review, movie survey, read movie reviews (Option: write review)</li> <li>5. Unit 2 Unit 2 Review, Test</li> <li>7. Unit 4 Places: geography/holiday vocabulary, conversations about origin and travel</li> <li>8. Unit 4 Places: Comparatives/superlatives, listening and focused listening</li> <li>9. Unit 4 Reading - Dangerous place, group discussions - dangerous animals, pairs - superlatives geo graphy test</li> <li>10. Unit 4 Review, Test</li> <li>11. Unit 6 'Should' obligations, suggestions, conversation</li> <li>11. Unit 6 Should, hve to (+ve, -ve) practice, pair talk, pronunc, listening</li> <li>12. Unit 6 Reading - stress, discussions about stress and beating stress, lifestyle survey</li> <li>13. Unit 6 Review and Quiz</li> <li>14. Unit 2-4-6 Review activities - vocabulary, expressions, further practice</li> <li>15. Consolidation and review, Final assessments</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	None						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Role-plays/interviews 30% Quizzes 20% Homework 10% Participation/attendance 10% Self study reading 30%						
履修上の注意	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
教科書	Smart Choice 2 Student Book (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6 Smart Choice 2 WorkBook (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6 Wilson, K. Oxford						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	B. Plett					科目ナンバ-	E0104A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking - English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course overview - syllabus, admin, holiday chats / ice breakers</li> <li>2. Unit 2 Movies/music - genres vocab, conversations, h/f qs</li> <li>3. Unit 2 -ing, -ed grammar, personal opinions, pair exchange of views - interests, pronun, listenin g</li> <li>4. Unit 2 Intensive reading - movie review, movie survey, read movie reviews (Option: write review)</li> <li>5. Unit 2 Unit 2 Review, Test</li> <li>7. Unit 4 Places: geography/holiday vocabulary, conversations about origin and travel</li> <li>8. Unit 4 Places: Comparatives/superlatives, listening and focused listening</li> <li>9. Unit 4 Reading - Dangerous place, group discussions - dangerous animals, pairs - superlatives geo graphy test</li> <li>10. Unit 4 Review, Test</li> <li>11. Unit 6 'Should' obligations, suggestions, conversation</li> <li>11. Unit 6 Should, hve to (+ve, -ve) practice, pair talk, pronunc, listening</li> <li>12. Unit 6 Reading - stress, discussions about stress and beating stress, lifestyle survey</li> <li>13. Unit 6 Review and Quiz</li> <li>14. Unit 2-4-6 Review activities - vocabulary, expressions, further practice</li> <li>15. Consolidation and review, Final assessments</li> </ol> <p>NOTE - Online Practice is used throughout, and the workbook is also used ecah class.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	None						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Role plays/interviews 30% Quizzes 20% homework 10% Participation attendance 10% Self study Reading 30%						
履修上の注意	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
教科書	Smart Choice 2 (3rd edition) Student book ISBN 978-0-460271-6 Workbook ISBN 978-0-19-460271-6 Wilson, Oxford						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	C. Tat					科目ナンバー	E0104A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<p>1 Course introduction, syllabus, class language, library books - MReader  2 Unit 2 Jobs vocabulary, 1st meets &amp; personal information sharing - convs  3 Unit 2 H/f w- qs - what do you do, where do you live etc. Jobs, residence listening  4 Unit 2 Reading - student life &amp; p/t jobs. speaking - jobs  5 Unit 2 Workbook grammar reviews, pair speaking  6 Unit 4 Free time activities - vocab, sports/free time pair talk  7 Unit 4 Adverbs of freq, pron -s, listening  8 Unit 4 Reading, fitness survey  9 Review 2,4 interim assessment  10 Unit 6 Past tense - yesterday, conversations  11 Unit 6 Language - was/were, simple past, listening  12 Unit 6 Reading - Beatles/simple past, speaking - class surveys  13 Unit 6 Workbook grammar reviews, pair conv. practice  14 Review 2-4-6 activities, pairs make conversations for tests  15 Review 6, final assessment</p> <p>Note that this is tentative, and changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students need to read lots of graded readers at home, and in class.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on:  30% Reading lots of short library books, tests on M-Reader  70% Participation in class activities, including unit tests and textbook homework</p>						
履修上の注意	<p>Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course.  Students grades may be lowered due to excessive absences.</p>						
教科書	<p>Wilson, K. Smart Choice 1 (3rd Edition)  Oxford  Student Book: ISBN 9780194602648  Workbook: ISBN 9780194602624</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. G. Ueno					科目ナンバ-	E0104A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking - English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	1 Course introduction, syllabus, class language, library books - MReader 2 Unit 2 Jobs vocabulary, 1st meets & personal information sharing - convs 3 Unit 2 H/f w- qs - what do you do, where do you live etc. Jobs, residence listening 4 Unit 2 Reading - student life & p/t jobs. speaking - jobs 5 Unit 2 Workbook grammar reviews, pair speaking 6 Unit 4 Free time activities - vocab, sports/free time pair talk 7 Unit 4 Adverbs of freq, pron -s, listening 8 Unit 4 Reading, fitness survey 9 Review 2,4 interim assessment 10 Unit 6 Past tense - yesterday, conversations 11 Unit 6 Language - was/were, simple past, listening 12 Unit 6 Reading - Beatles/simple past, speaking - class surveys 13 Unit 6 Workbook grammar reviews, pair conv. practice 14 Review 2-4-6 activities, pairs make conversations for tests 15 Review 6, final assessment						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	None						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: 30% Reading lots of short library books, tests on M-Reader 70% Participation in class activities, including unit tests and textbook homework						
履修上の注意	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
教科書	Smart Choice Student Book 1 (3rd ed) ISBN 978-0-19-460264-8 Smart Choice 1 Workbook 1 (3rd ed) ISBN: 978-0-19-460262-4 Ken Wilson Oxford						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E0104B
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. Angel					科目ナンバ-	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking - English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	1 Ice breakers, Review of 1-3-5, Review classroom language, Start Unit 7 2 Unit 7 Clothes vocabulary, clothes likes/dislikes, shopping role play conv 3 Unit 7 Language: comparatives, pronunciation, listening, role plays 4 Unit 7 Review role plays, reading, group clothes/fashion - pair/group Q and A, fashion discussion 5 Unit 9 Places/tourist sites - vocab, language: x because y, language - can, pronunc, listening 6 Unit 9 reading, pair talk convs - 'want to visit', speaking - interesting places to go - use textbook qs, plan convs, (Options: writing about a place, short presentations) 7 Unit 9 Review 7-9 textbook, 7 and 9 in workbook 8 Units 7 and 9 interim assessments 9 Unit 11 Past tense - holidays - phrases, conversations - last week, favourite vacation pair talks 10 Unit 11 Simple past - grammar, listening - vacations 11 Unit 11 Reading - speaking about places to go and why 12 Unit 11 Review and Unit 11 in workbook (Option - tour guide brochure) 13 Review 1-3-5-7-9-11, students make and practice conversations 14 Students create conversations for final assessment, review 7-9-11 15 Final reviews, practice convs of 7-9-11, final assessment						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Two Tests and classroom participation = 40% Four quizzes = 30% Reading = 30%						
履修上の注意	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (3rd Edition) Oxford Student Book: ISBN 9780194602648 Workbook: ISBN 9780194602624						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. Angel					科目ナンバ-	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	1 Ice breakers, Review of 1-3-5, Review classroom language, Start Unit 7 2 Unit 7 Clothes vocabulary, clothes likes/dislikes, shopping role play conv 3 Unit 7 Language: comparatives, pronunciation, listening, role plays 4 Unit 7 Review role plays, reading, group clothes/fashion - pair/group Q and A, fashion discussion 5 Unit 9 Places/tourist sites - vocab, language: x because y, language - can, pronunc, listening 6 Unit 9 reading, pair talk convs - 'want to visit', speaking - interesting places to go - use textb ook qs, plan convs, (Options: writing about a place, short presentations) 7 Unit 9 Review 7-9 textbook, 7 and 9 in workbook 8 Units 7 and 9 interim assessments 9 Unit 11 Past tense - holidays - phrases, conversations - last week, favourite vacation pair talks 10 Unit 11 Simple past - grammar, listening - vacations 11 Unit 11 Reading - speaking about places to go and why 12 Unit 11 Review and Unit 11 in workbook (Option - tour guide brochure) 13 Review 1-3-5-7-9-11, students make and practice conversations 14 Students create conversations for final assessment, review 7-9-11 15 Final reviews, practice convs of 7-9-11, final assessment						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	None						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Two Tests and classroom participation = 40% Four quizzes = 30% Reading = 30%						
履修上の注意	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (3rd Edition) Oxford Student Book: ISBN 9780194602648 Workbook: ISBN 9780194602624						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Chatham					科目ナンバ-	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	1 Syllabus admin, graded readers, icebreakers, Review of semester 1, Introduce Unit 7 - shopping 2 Unit 7 Shopping - departments and items vocab, complaints vocab, conversation pairs - complaints 3 Unit 7 Language - count non-count, adjs, pronunc, listening. 4 Unit 7 Pair talk (p90/102) read and q/a, Reading, pairs - shopping qs - buying habits, speaking - shopping game (Option: Shopping role plays) 5 Unit 7 Review, Test 6 Unit 9 Injuries vocab, sports/injury pair talk 7 Unit 9 Language - past prog, pronunc, listening 8 Unit 9 Reading, speaking - 'have you ever...?' 9 Unit 9 Review, Unit 7-9 Review, Test 10 Unit 11 School/education vocab, schools/activities pair talk 11 Unit 11 Language practice - used to, pronunc, listening 12 Unit 11 Reading, (Option: Reading and write email reply - p 113), Speaking - 'who used to...?' 13 Unit 11 Review and test 14 Unit 7,9,11 review activities - speaking, and pairs plan and enact conversations 15 Review of semester 2, of sem 1 and 2, final assessment						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	None						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Role-plays/interviews 30% Quizzes 20% Homework 10% Participation/attendance 10% Self study reading 30%						
履修上の注意	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
教科書	Smart Choice 2 Student Book (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6 Smart Choice 2 Workbook (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6 Wilson, K. Oxford						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Chatham					科目ナンバ-	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking - English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	1 Syllabus admin, graded readers, icebreakers, Review of semester 1, Introduce Unit 7 - shopping 2 Unit 7 Shopping - departments and items vocab, complaints vocab, conversation pairs - complaints 3 Unit 7 Language - count non-count, adjs, pronunc, listening. 4 Unit 7 Pair talk (p90/102) read and q/a, Reading, pairs - shopping qs - buying habits, speaking - shopping game (Option: Shopping role plays) 5 Unit 7 Review, Test 6 Unit 9 Injuries vocab, sports/injury pair talk 7 Unit 9 Language - past prog, pronunc, listening 8 Unit 9 Reading, speaking - 'have you ever...?' 9 Unit 9 Review, Unit 7-9 Review, Test 10 Unit 11 School/education vocab, schools/activities pair talk 11 Unit 11 Language practice - used to, pronunc, listening 12 Unit 11 Reading, (Option: Reading and write email reply - p 113), Speaking - 'who used to...?' 13 Unit 11 Review and test 14 Unit 7,9,11 review activities - speaking, and pairs plan and enact conversations 15 Review of semester 2, of sem 1 and 2, final assessment						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	None						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Role-plays/interviews 30% Quizzes 20% Homework 10% Participation/attendance 10% Self study reading 30%						
履修上の注意	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
教科書	Smart Choice 2 Student Book (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6 Smart Choice 2 Workbook (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6 Wilson, K. Oxford						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	B. Plett					科目ナンバ-	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation The main focus in this course will be on developing students' speaking skills.						
授業の概要	Students will: take part in a variety of fluency developing activities learn, and practice using a variety of high frequency vocabulary items talk and ask about their own experiences and activities using vocabulary and grammar structures covered in class participate in role plays and discussions using vocabulary and grammar structures covered in class						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course overview - syllabus, admin, holiday chats / ice breakers, personality adjectives - Unit 8</li> <li>2. Unit 8 Personality adjectives (cont.), pair talk - descriptions, preferences, conv - people/dating sites</li> <li>3. Unit 8 Language - relative clauses, listening - self-descriptions, preferences</li> <li>4. Unit 8 Reading - dating ideas, speaking - personal preferences - personality, reasons why</li> <li>5. Unit 8 Unit 8 Workbook language practice, Review, assessment</li> <li>7. Unit 10 Vocabulary - natural disasters, talking about news events</li> <li>8. Unit 10 modals language, pronunc, listening</li> <li>9. Unit 10 listening plus, pair talk (p93/105) - safety instructions</li> <li>10. Unit 10 Reading - storms and vacations, speaking quiz</li> <li>11. Unit 10 Research and present (p.69) - recent natural events or big news story - what happened? Present to class / in small groups</li> <li>11. Unit 8 and 10 Review, Unit 10 Workbook, Unit 10 assessment, Unit 12 residence vocab (p. 76)</li> <li>12. Unit 12 Residence vocab (cont), residence discussion</li> <li>13. Unit 12 Language practice - 'if...' + modals, listening - careers</li> <li>14. Unit 12 Reading, Unit 12 Review and assessment</li> <li>15. Unit 8-10-12 review, Final assessments</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class.</p> <p>Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon.</p> <p>Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading.</p> <p>At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>Role-plays/interviews 30%</p> <p>Quizzes 20%</p> <p>Homework 10%</p> <p>Participation/attendance 10%</p> <p>Self study 30%</p>						
履修上の注意	<p>Students must fulfill all requirements.</p> <p>Strict attendance also is a requirement for passing this course.</p> <p>Students' grades may be lowered due to excessive absences.</p> <p>Absences due to unavoidable circumstances should be reported.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 2 Student Book (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6</p> <p>Smart Choice 2 Workbook (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6</p> <p>Wilson, K.</p> <p>Oxford</p>						

参考書	J/E dictionary
-----	----------------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	B. Plett					科目ナンバ-	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation The main focus in this course will be on developing students' speaking skills.						
授業の概要	Students will: take part in a variety of fluency developing activities learn, and practice using a variety of high frequency vocabulary items talk and ask about their own experiences and activities using vocabulary and grammar structures covered in class participate in role plays and discussions using vocabulary and grammar structures covered in class						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course overview - syllabus, admin, holiday chats / ice breakers, personality adjectives - Unit 8</li> <li>2. Unit 8 Personality adjectives (cont.), pair talk - descriptions, preferences, conv - people/dating sites</li> <li>3. Unit 8 Language - relative clauses, listening - self-descriptions, preferences</li> <li>4. Unit 8 Reading - dating ideas, speaking - personal preferences - personality, reasons why</li> <li>5. Unit 8 Unit 8 Workbook language practice, Review, assessment</li> <li>7. Unit 10 Vocabulary - natural disasters, talking about news events</li> <li>8. Unit 10 modals language, pronunc, listening</li> <li>9. Unit 10 listening plus, pair talk (p93/105) - safety instructions</li> <li>10. Unit 10 Reading - storms and vacations, speaking quiz - Research and present (p.69) - recent natural events or big news story - what happened? Research Class #10, Present next class (Class #11)</li> <li>11. Unit 10 Present to class/in groups, Unit 8 and 10 Review, Unit 10 Workbook, Unit 10 assessment</li> <li>12. Unit 12 Residence vocab, residence discussion</li> <li>13. Unit 12 Language practice - 'if...' + modals, listening - careers</li> <li>14. Unit 12 Reading, Unit 12 Review and assessment</li> <li>15. Unit 8-10-12 review, Final assessments</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class.</p> <p>Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon.</p> <p>Students must take quizzes on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading.</p> <p>At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>Role-plays/interviews 30%</p> <p>Quizzes 20%</p> <p>Homework 10%</p> <p>Participation/attendance 10%</p> <p>Self study 30%</p>						
履修上の注意	<p>Students must fulfill all requirements.</p> <p>Strict attendance also is a requirement for passing this course.</p> <p>Students' grades may be lowered due to excessive absences.</p> <p>Absences due to unavoidable circumstances should be reported.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 2 Student Book (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6</p> <p>Smart Choice 2 WorkBook (3rd Edition) ISBN: 978-0-19-460271-6</p> <p>Wilson, K.</p> <p>Oxford</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	C. Tat					科目ナンバ-	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking - English Conversation (including extensive reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<p>1 Ice breakers, Hols talk pair work, Review of Class language and 2-4-6, Syllabus and inform re graded reader targets, go to library</p> <p>2 Unit 8 Physical descriptions vocab, celeb pair convs</p> <p>3 Unit 8 Language: she is/has, -'s, pronunc, listening</p> <p>4 Unit 8 reading - best friends, best friend talk (Option - short written description w/ sketched picture)</p> <p>5 Unit 8 Perfect partner / Good friend - characteristic matching, writing - describe a friend / family member / HS teacher</p> <p>6 Unit 10 Places in town vocab, asking about places to go - pair convs</p> <p>7 Unit 10 Language practice - there is/are, listening</p> <p>Unit 10 Review 7-9 textbook, 7 and 9 in workbook</p> <p>8 Unit 10 Reading, pair conversation about neighbourhood. (Option - students can write short description of neighbourhood)</p> <p>9 Units 8 and 10 review, Units 8 and 10 in Workbooks</p> <p>10 Units 8 and 10 interim assessments</p> <p>11 Unit 12 Going to go - transport vocabulary, holiday plans pair conv</p> <p>12 Unit 12 Language practice - future qs, pronun- reduction, listening</p> <p>13 Unit 12 Reading, Speaking - transport, future plans with reasons</p> <p>14 Unit 12 Assessment, Review 2-4-6-8-10-12, students make and practice conversations</p> <p>15 Final reviews, practice convs of 7-9-11, final assessment</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	None						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	30% reading short library books, tests on mraeder 70% participation in class activities, including unit tests and textbook answers						
履修上の注意	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (3rd Edition) Oxford Student Book: ISBN 9780194602648 Workbook: ISBN 9780194602624						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. G. Ueno					科目ナンバ-	E0104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking - English Conversation (including Extensive Reading)						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English. A particular focus in this class is to develop students knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students' English conversational abilities, allowing them engage comfortably in everyday situations.						
授業計画	<p>1 Ice breakers, Hols talk pair work, Review of Class language and 2-4-6, Syllabus and inform re grade reader targets</p> <p>2 Unit 8 Physical descriptions vocab, celeb pair convs</p> <p>3 Unit 8 Language: she is/has, -'s, pronunc, listening</p> <p>4 Unit 8 reading - best friends, best friend talk (Option - short written description w/ sketched picture)</p> <p>5 Unit 8 Perfect partner / Good friend - characteristic matching, writing - describe a friend / family member / HS teacher</p> <p>6 Unit 10 Places in town vocab, asking about places to go - pair convs</p> <p>7 Unit 10 Language practice - there is/are, listening</p> <p>Unit 10 Review 7-9 textbook, 7 and 9 in workbook</p> <p>8 Unit 10 Reading, pair conversation about neighbourhood. (Option - students can write short description of neighbourhood)</p> <p>9 Units 8 and 10 review, Units 8 and 10 in Workbooks</p> <p>10 Units 8 and 10 interim assessments</p> <p>11 Unit 12 Going to go - transport vocabulary, holiday plans pair conv</p> <p>12 Unit 12 Language practice - future qs, pronun- reduction, listening</p> <p>13 Unit 12 Reading, Speaking - transport, future plans with reasons</p> <p>14 Unit 12 Assessment, Review 2-4-6-8-10-12, students make and practice conversations</p> <p>15 Final reviews, practice convs of 7-9-11, final assessment</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	None						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	30% reading short library books, tests on MReader 70% participation in class activities, including unit tests and textbook answers						
履修上の注意	Strict 2/3 attendance also is a requirement for passing this course. Students grades may be lowered due to excessive absences.						
教科書	Smart Choice Student Book 1 (3rd ed) ISBN 978-0-19-460264-8 Smart Choice 1 Workbook 1 (3rd ed) ISBN: 978-0-19-460262-4 Ken Wilson Oxford						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバ-	E0206A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use.						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation.						
授業計画	<p>Week 1: Introduction  Week 2: Unit 1A and 1B - Music and movies  Week 3: Unit 1C and 1D - Likes and interests  Week 4: Unit 1E - Introducing yourself  Week 5: Choosing a topic for the poster presentation  Week 6: Unit 2A and 2B - Shopping and clothes  Week 7: Unit 2C and 2D - Habits and routines  Week 8: Unit 2E - Using body language  Week 9: Preparation and practice for poster presentation  Week 10: Final practice for poster presentation  Week 11: In-class poster presentation contest  Week 12: Unit 3A and 3B - Jobs and careers  Week 13: Unit 3C and 3D - Future plans  Week 14: Unit 3E - Presentations  Week 15: Summary, review and test</p> <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%).						
履修上の注意	Students with absences of more than 1/3 of the class sessions automatically fail the course.						
教科書	David Bohlke Keynote - Combo Split 1A with My Keynote Online Gengage Learning ISBN: 978-1-337-10892-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバ-	E0206A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use.						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation.						
授業計画	<p>Week 1: Introduction  Week 2: Unit 1A and 1B - Music and movies  Week 3: Unit 1C and 1D - Likes and interests  Week 4: Unit 1E - Introducing yourself  Week 5: Choosing a topic for the poster presentation  Week 6: Unit 2A and 2B - Shopping and clothes  Week 7: Unit 2C and 2D - Habits and routines  Week 8: Unit 2E - Using body language  Week 9: Preparation and practice for poster presentation  Week 10: Final practice for poster presentation  Week 11: In-class poster presentation contest  Week 12: Unit 3A and 3B - Jobs and careers  Week 13: Unit 3C and 3D - Future plans  Week 14: Unit 3E - Presentations  Week 15: Summary, review and test</p> <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%).						
履修上の注意	Students with absences of more than 1/3 of the class sessions automatically fail the course.						
教科書	David Bohlke Keynote - Combo Split 1A with My Keynote Online Gengage Learning ISBN: 978-1-337-10892-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバ-	E0206A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use.						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation.						
授業計画	<p>Week 1: Introduction  Week 2: Unit 1A and 1B - Music and movies  Week 3: Unit 1C and 1D - Likes and interests  Week 4: Unit 1E - Introducing yourself  Week 5: Choosing a topic for the poster presentation  Week 6: Unit 2A and 2B - Shopping and clothes  Week 7: Unit 2C and 2D - Habits and routines  Week 8: Unit 2E - Using body language  Week 9: Preparation and practice for poster presentation  Week 10: Final practice for poster presentation  Week 11: In-class poster presentation contest  Week 12: Unit 3A and 3B - Jobs and careers  Week 13: Unit 3C and 3D - Future plans  Week 14: Unit 3E - Presentations  Week 15: Summary, review and test</p> <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%).						
履修上の注意	Students with absences of more than 1/3 of the class sessions automatically fail the course.						
教科書	David Bohlke Keynote - Combo Split 1A with My Keynote Online Gengage Learning ISBN: 978-1-337-10892-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバー	E0206B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking IIA. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use.						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest.						
授業計画	<p>Week 1: Introduction  Week 2: Unit 4A and 4B - Abilities and Talents  Week 3: Unit 4C and 4D - Using "can"/"can't"  Week 4: Unit 4E - Recommending things  Week 5: Unit 4 - Workbook exercises  Week 6: Unit Unit 5A and 5B - Technology  Week 7: Unit Unit 5C and 5D - Describing how things work  Week 8: Unit Unit 5E - Using gestures effectively  Week 9: Unit 5 - Workbook exercises  Week 10: Unit Unit 6A and 6B - Challenges  Week 11: Unit Unit 6C and 6D - Describing events  Week 12: Unit Unit 6E - Talking about "dos" and "don'ts"  Week 13: Unit 6 - Workbook exercises  Week 14: Review and practice  Week 15: Summary, review and test</p> <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (80%) and a final test (20%).						
履修上の注意	Students with absences of more than 1/3 of the class sessions automatically fail the course.						
教科書	David Bohlke Keynote - Combo Split 1A with My Keynote Online Cengage Learning ISBN: 978-1-337-10892-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	J. Angel					科目ナンバー	E0208A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs. This course is taught entirely in English.						
到達目標	You will learn to: <ul style="list-style-type: none"> <li>・ write about yourself and your hobbies,</li> <li>・ tell a story</li> <li>・ use different types of language for formal and informal situations.</li> <li>・ write descriptions</li> <li>・ write paragraphs</li> </ul>						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 1: complete sentences 3) Unit 1: paragraph topics 4) Unit 2: topic sentences 5) Unit 2: combining sentences 6) Unit 3: developing paragraphs with descriptive details 7) Unit 3: combining sentences containing adjectives 8) Unit 4: word maps 9) Unit 4: concluding sentences 10) Unit 5: freewriting 11) Unit 5: peer feedback 12) Unit 6: identify opinions and examples 13) Unit 6: using discussion to brainstorm 14) Unit 6: writing a paragraph about your opinions 15) Review						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
履修上の注意	Requirements Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course. You will need paper and a file in which to keep all your work.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	P. J. Mallett					科目ナンバ-	E0208A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	<p>This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.</p> <p>The aim of this course is to review different sorts of words and usage, clauses, sentences, and paragraphs. The ultimate goal is for you to write correct personal and business letters.</p> <p>You will learn how to write about yourself and your hobbies and use different types of language for formal and informal situations. These are essential skills for your study abroad.</p> <p>This course is taught entirely in English.</p>						
到達目標	<p>You will learn to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ write about yourself and your hobbies,</li> <li>・ tell a story</li> <li>・ use different types of language for formal and informal situations.</li> <li>・ write descriptions</li> <li>・ write paragraphs</li> </ul>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) Introduction</li> <li>2) Chapter 1: nouns, verb, adjectives and adverbs</li> <li>3) Chapter 2: adjectives and descriptions</li> <li>4) Chapter 3: countable and uncountable nouns</li> <li>5) Chapter 4: definite and indefinite articles</li> <li>6) Writing a CV</li> <li>7) Chapter 5: the sentence</li> <li>8) Chapter 6: longer sentences; contrasting clauses</li> <li>9) Chapter 6: complex sentences: relative clauses</li> <li>10) Chapter 7: use of 'when' for past actions and for future actions</li> <li>11) Chapter 8: the paragraph; topic sentences</li> <li>12) Chapter 8: the paragraph; supporting and concluding sentences</li> <li>13) Chapter 11: Personal letters</li> <li>14) Chapter 12: Business letters; formal language</li> <li>15) Chapter 12: Business letters; peer-editing for style; envelopes</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports.</p> <p>There will be no test.</p>						
履修上の注意	<p>Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course.</p> <p>You will need paper and a file in which to keep all your work.</p>						
教科書	A re-printed version of 'From Word to Letter' by Peter Mallett and Keiko Yamauchi will be available for purchase at the first lesson. The cost will be less than 1,000 yen.						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	P. J. Mallett					科目ナンバ-	E0208A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	<p>This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.</p> <p>The aim of this course is to review different sorts of words and usage, clauses, sentences, and paragraphs. The ultimate goal is for you to write correct personal and business letters.</p> <p>You will learn how to write about yourself and your hobbies and use different types of language for formal and informal situations. These are essential skills for your study abroad.</p> <p>This course is taught entirely in English.</p>						
到達目標	<p>You will learn to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ write about yourself and your hobbies,</li> <li>・ tell a story</li> <li>・ use different types of language for formal and informal situations.</li> <li>・ write descriptions</li> <li>・ write paragraphs</li> </ul>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) Introduction</li> <li>2) Chapter 1: nouns, verb, adjectives and adverbs</li> <li>3) Chapter 2: adjectives and descriptions</li> <li>4) Chapter 3: countable and uncountable nouns</li> <li>5) Chapter 4: definite and indefinite articles</li> <li>6) Writing a CV</li> <li>7) Chapter 5: the sentence</li> <li>8) Chapter 6: longer sentences; contrasting clauses</li> <li>9) Chapter 6: complex sentences: relative clauses</li> <li>10) Chapter 7: use of 'when' for past actions and for future actions</li> <li>11) Chapter 8: the paragraph; topic sentences</li> <li>12) Chapter 8: the paragraph; supporting and concluding sentences</li> <li>13) Chapter 11: Personal letters</li> <li>14) Chapter 12: Business letters; formal language</li> <li>15) Chapter 12: Business letters; peer-editing for style; envelopes</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports.</p> <p>There will be no test.</p>						
履修上の注意	<p>Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course.</p> <p>You will need paper and a file in which to keep all your work.</p>						
教科書	A re-printed version of 'From Word to Letter' by Peter Mallett and Keiko Yamauchi will be available for purchase at the first lesson. The cost will be less than 1,000 yen.						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	B. Plett					科目ナンバー	E0208A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs. This course is taught entirely in English.						
到達目標	You will learn to: <ul style="list-style-type: none"> <li>・ write about yourself and your hobbies,</li> <li>・ tell a story</li> <li>・ use different types of language for formal and informal situations.</li> <li>・ write descriptions</li> <li>・ write paragraphs</li> </ul>						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 1: complete sentences 3) Unit 1: paragraph topics 4) Unit 2: topic sentences 5) Unit 2: combining sentences 6) Unit 3: developing paragraphs with descriptive details 7) Unit 3: combining sentences containing adjectives 8) Unit 4: word maps 9) Unit 4: concluding sentences 10) Unit 5: freewriting 11) Unit 5: peer feedback 12) Unit 6: identify opinions and examples 13) Unit 6: using discussion to brainstorm 14) Unit 6: writing a paragraph about your opinions 15) Review						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
履修上の注意	Requirements Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course. You will need paper and a file in which to keep all your work.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	J. Angel					科目ナンバー	E0208B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs.						
到達目標	You will learn to: <ul style="list-style-type: none"> <li>・ writing about yourself and your hobbies,</li> <li>・ telling a story</li> <li>・ using different types of language for formal and informal situations.</li> <li>・ descriptions</li> <li>・ increasing vocabulary</li> <li>・ writing paragraphs</li> </ul>						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 7: cause and effect 3) Unit 7: explanations and excuses 4) Unit 8: expressing personal feelings 5) Unit 8: logical order 6) Unit 9: expressions of time 7) Unit 9: narrative 8) Unit 10: comparisons 9) Unit 10: comparisons of situations and events 10) Unit 11: cause and effect relationships 11) Unit 11: beginning paragraphs with a question; pair interviews for brainstorming 12) Unit 12: review of brainstorming techniques 13) Unit 12: review of transition expressions 14) Unit 12: writing about the future 15) Review						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test						
履修上の注意	Requirements Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course. You will need paper and a file in which to keep all your work.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	B. Plett					科目ナンバ-	E0208B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs.						
到達目標	<p>You will learn to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ writing about yourself and your hobbies,</li> <li>・ telling a story</li> <li>・ using different types of language for formal and informal situations.</li> <li>・ descriptions</li> <li>・ increasing vocabulary</li> <li>・ writing paragraphs</li> </ul>						
授業計画	<p>The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Introduction</li> <li>2) Unit 7: cause and effect</li> <li>3) Unit 7: explanations and excuses</li> <li>4) Unit 8: expressing personal feelings</li> <li>5) Unit 8: logical order</li> <li>6) Unit 9: expressions of time</li> <li>7) Unit 9: narrative</li> <li>8) Unit 10: comparisons</li> <li>9) Unit 10: comparisons of situations and events</li> <li>10) Unit 11: cause and effect relationships</li> <li>11) Unit 11: beginning paragraphs with a question; pair interviews for brainstorming</li> <li>12) Unit 12: review of brainstorming techniques</li> <li>13) Unit 12: review of transition expressions</li> <li>14) Unit 12: writing about the future</li> <li>15) Review</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
履修上の注意	<p>Requirements Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course. You will need paper and a file in which to keep all your work.</p>						
教科書	<p>Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5</p>						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	予備登録					科目ナンバ-	E01030
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	予備登録					科目ナンバ-	E01030
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	F. Shiobara					科目ナンバ-	E01030
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammarは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。Students will be able to speak and write accurately using basic English grammar.						
到達目標	In this class you will be able to review grammar that has been taught in Junior High School and High School. You will be able to practice using this grammar in a practical way through speaking and writing activities.						
授業計画	第1回 Unit 30-34 Modals 第2回 Unit 35-37 Would You Like? 第3回 Unit 38-40 There and it 第4回 Unit 41-45 too, either 第5回 Review units 30 - 45 Test 1 & Grammar games 第6回 Unit 46-50 Wh questions 第7回 Unit 53-56 I want.... 第8回 Unit 58-59 Do and make 第9回 Unit 60-65 pronouns 第10回 Review units 46- 65 Test 2 & Grammar games 第11回 Unit 66-71 a & the 第12回 Unit 72-73, 76-77 I like I hate, some, any 第13回 Unit 78-81 somebody, everything nowhere 第14回 Review units 46- 65 Test 3 & Grammar games 第15回 Evaluation and review Grammar quiz game.  Note that changes are possible owing to student learning requirements						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	テスト [3回] (60%), 宿題 (40%)						
履修上の注意	単位の認定には、2/3以上の出席が不可欠です。						
教科書	The same textbook as first semester will be used.						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバ-	E01030
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammarは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。Students will be able to speak and write accurately using basic English grammar.						
到達目標	In this class you will be able to review grammar that has been taught in Junior High School and High School. You will be able to practice using this grammar in a practical way through speaking and writing activities.						
授業計画	<p>第1回 Unit 30-34 Modals  第2回 Unit 35-37 Would You Like?  第3回 Unit 38-40 There and it  第4回 Unit 41-45 too, either  第5回 Review units 30 - 45 Test 1 &amp; Grammar games  第6回 Unit 46-50 Wh questions  第7回 Unit 53-56 I want....  第8回 Unit 58-59 Do and make  第9回 Unit 60-65 pronouns  第10回 Review units 46- 65 Test 2 &amp; Grammar games  第11回 Unit 66-71 a &amp; the  第12回 Unit 72-73, 76-77 I like I hate, some, any  第13回 Unit 78-81 somebody, everything nowhere  第14回 Review units 46- 65 Test 3 &amp; Grammar games  第15回 Evaluation and review Grammar quiz game.</p> <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	テスト [3回] (60%), 宿題 (40%)						
履修上の注意	単位の認定には、2/3以上の出席が不可欠です。						
教科書	The same textbook as first semester will be used.						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバ-	E01030
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	<p>中学・高校で習得した英文法の復習と英文法知識の定着。</p> <p>英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。</p>						
授業の概要	<p>中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>用例を中心に文法の解説を行い、練習問題で学習内容を整理する。</p>						
到達目標	<p>中学・高校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。</p>						
授業計画	<p>第1回：文法 Unit 11 助動詞 Chapter 5-5 夏休み報告レポート</p> <p>第2回：文法 Unit 12 名詞 Chapter 3-3 海外留学の勧め</p> <p>第3回：文法 Unit 13 &amp; 14 形容詞と副詞</p> <p>第4回：文法 Unit 15 動名詞と不定詞</p> <p>第5回：文法 Unit 16 &amp; 17 前置詞</p> <p>第6回：文法 Unit 18 比較 復習テスト</p> <p>第7回：文法 Unit 19 受動態と能動態</p> <p>第8回：文法 Unit 20 接続詞</p> <p>第9回：文法 Unit 21 関係代名詞</p> <p>第10回：文法 Unit 22 関係副詞 復習テスト</p> <p>第11回：文法 Unit 23 話法</p> <p>第12回：文法 Unit 24 仮定法</p> <p>第13回：文法のまとめ</p> <p>第14回：口頭発表演習</p> <p>第15回 まとめと復習テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。</p> <p>事後学習：学習内容を整理・復習する。</p>						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が60%、出席や授業に対する積極性などの平常点が40%の総合評価。						
履修上の注意	十分な予習・復習が必要。						
教科書	<p>『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版</p> <p>『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	郡司 隆男					科目ナンバ-	E01030
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	<p>中学・高校で習得した英文法の復習と英文法知識の定着。</p> <p>英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。</p>						
授業の概要	<p>中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>用例を中心に文法の解説を行い、練習問題で学習内容を整理する。</p>						
到達目標	<p>中学・高校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。</p>						
授業計画	<p>第1回：文法 Unit 11 助動詞 Chapter 5-5 夏休み報告レポート</p> <p>第2回：文法 Unit 12 名詞 Chapter 3-3 海外留学の勧め</p> <p>第3回：文法 Unit 13 &amp; 14 形容詞と副詞</p> <p>第4回：文法 Unit 15 動名詞と不定詞</p> <p>第5回：文法 Unit 16 &amp; 17 前置詞</p> <p>第6回：文法 Unit 18 比較 復習テスト</p> <p>第7回：文法 Unit 19 受動態と能動態</p> <p>第8回：文法 Unit 20 接続詞</p> <p>第9回：文法 Unit 21 関係代名詞</p> <p>第10回：文法 Unit 22 関係副詞 復習テスト</p> <p>第11回：文法 Unit 23 話法</p> <p>第12回：文法 Unit 24 仮定法</p> <p>第13回：文法のまとめ</p> <p>第14回：口頭発表演習</p> <p>第15回 まとめと復習テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。</p> <p>事後学習：学習内容を整理・復習する。</p>						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が60%、出席や授業に対する積極性などの平常点が40%の総合評価。						
履修上の注意	十分な予習・復習が必要。						
教科書	<p>『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版</p> <p>『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	E01030
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	<p>中学・高校で習得した英文法の復習と英文法知識の定着。</p> <p>英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。</p>						
授業の概要	<p>中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>用例を中心に文法の解説を行い、練習問題で学習内容を整理する。</p>						
到達目標	<p>中学・高校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。</p>						
授業計画	<p>第1回：文法 Unit 11 助動詞 Chapter 5-5 夏休み報告レポート</p> <p>第2回：文法 Unit 12 名詞 Chapter 3-3 海外留学の勧め</p> <p>第3回：文法 Unit 13 &amp; 14 形容詞と副詞</p> <p>第4回：文法 Unit 15 動名詞と不定詞</p> <p>第5回：文法 Unit 16 &amp; 17 前置詞</p> <p>第6回：文法 Unit 18 比較 復習テスト</p> <p>第7回：文法 Unit 19 受動態と能動態</p> <p>第8回：文法 Unit 20 接続詞</p> <p>第9回：文法 Unit 21 関係代名詞</p> <p>第10回：文法 Unit 22 関係副詞 復習テスト</p> <p>第11回：文法 Unit 23 話法</p> <p>第12回：文法 Unit 24 仮定法</p> <p>第13回：文法のまとめ</p> <p>第14回：口頭発表演習</p> <p>第15回 まとめと復習テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。</p> <p>事後学習：学習内容を整理・復習する。</p>						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が60%、出席や授業に対する積極性などの平常点が40%の総合評価。						
履修上の注意	<p>オフィスアワー：月曜 13:10~14:40 (13号館2階研究室)</p> <p>教員の連絡先：kenjiro[at]shoin.ac.jp ※[at]を@に置き換える。</p>						
教科書	<p>『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版</p> <p>『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad Preparation III / 中期留学スキルズ						
担当教員	S. Bibby					科目ナンバ-	E22090
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Skills, cultural awareness and language required for successful study abroad						
授業の概要	This course will further develop the students' ability to function in an English-speaking society and university environment during their semester abroad.						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. To enable students to take a full-part in their academic life overseas.</li> <li>2. To develop academic reading and listening skills, and the ability to respond orally to such input in the classroom.</li> <li>3. To give students the English ability they need to deal successfully with commonly-encountered, daily-life situations in an English-speaking country, especially in homestay.</li> </ol>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course Introduction / A Geography Lesson</li> <li>2. Homestay Conversations: Arriving</li> <li>3. Homestay Conversations: House Rules</li> <li>4. Homestay Topic: My Family and I</li> <li>5. Homestay Topic: Where are you from?</li> <li>6. English on Campus: First Day</li> <li>7. English on Campus: Health and Safety</li> <li>8. Let's Go</li> <li>9. Homestay Conversations: See You Later!</li> <li>10. Homestay Conversations: Housework</li> <li>11. Homestay Topic: Japanese Culture (Preparation)</li> <li>12. English on Campus: Information &amp; Instructions</li> <li>13. Homestay Topic: Japanese Culture (Presentations)</li> <li>14. English on Campus: Participating in Class</li> <li>15. Group Interviews</li> </ol>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	Read and understand textbook conversations and handout exercises before class						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on class participation (20%), 3 short tests (50%) and a presentation (30%).						
履修上の注意	この授業と、2年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、あなたの英語能力をさらに高めることができるようになります。						
教科書	Prints provided						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad Preparation III / 中期留学スキルズ						
担当教員	A. E. Jackson					科目ナンバ-	E22090
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Skills required for successful study abroad						
授業の概要	This course will build on progress made in TOEFLと海外留学 A,B to further develop the students' ability to function in an English-speaking society and university environment during their semester abroad.						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. To enable students to take a full-part in their academic life overseas.</li> <li>2. To develop academic reading and listening skills, and the ability to respond orally to such input in the classroom.</li> <li>3. To give students the English ability they need to deal successfully with commonly-encountered, daily-life situations in an English-speaking country, especially in homestay.</li> </ol>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course Introduction / A Geography Lesson</li> <li>2. Arriving</li> <li>3. People</li> <li>4. House Rules</li> <li>5. Orientation</li> <li>6. First Lesson Day</li> <li>7. Activities and Trips</li> <li>8. Housework</li> <li>9. Food and Drink</li> <li>10. Health and Safety</li> <li>11. Money and Shopping</li> <li>12. Talking about Japan: Hometown</li> <li>13. Information</li> <li>14. Farewell</li> <li>15. Group Interviews</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Read and understand textbook conversations and handout exercises before class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on class participation (50%) and a group interview (50%).						
履修上の注意	この授業と、2年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、あなたの英語能力をさらに高めることができるようになります。						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad Preparation III／中期留学スキルズ						
担当教員	A. E. Jackson					科目ナンバ-	E22090
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Skills required for successful study abroad						
授業の概要	This course will build on progress made in TOEFLと海外留学 A,B to further develop the students' ability to function in an English-speaking society and university environment during their semester abroad.						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. To enable students to take a full-part in their academic life overseas.</li> <li>2. To develop academic reading and listening skills, and the ability to respond orally to such input in the classroom.</li> <li>3. To give students the English ability they need to deal successfully with commonly-encountered, daily-life situations in an English-speaking country, especially in homestay.</li> </ol>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course Introduction / A Geography Lesson</li> <li>2. Arriving</li> <li>3. People</li> <li>4. House Rules</li> <li>5. Orientation</li> <li>6. First Lesson Day</li> <li>7. Activities and Trips</li> <li>8. Housework</li> <li>9. Food and Drink</li> <li>10. Health and Safety</li> <li>11. Money and Shopping</li> <li>12. Talking about Japan: Hometown</li> <li>13. Information</li> <li>14. Farewell</li> <li>15. Group Interviews</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Read and understand textbook conversations and handout exercises before class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on class participation (50%) and a group interview (50%).						
履修上の注意	この授業と、2年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、あなたの英語能力をさらに高めることができるようになります。						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングA/Advanced Speaking A						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E2317A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	
授業方法	
評価基準と評価方法	
履修上の注意	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンススピーキングA/Advanced Speaking A						
担当教員	E. Dean					科目ナンバー	E2317A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' oral communication skills from a ' daily conversation ' level to an intermediate level of ability						
到達目標	Class activities will help students use English appropriately to share personal information and experiences, formulate and express opinions, and initiate and maintain exchanges. Public speaking practice will include the making of poster presentations.						
授業計画	1 Food part 1 - Talking about food & street food 2 Food part 2 - Agreeing & disagreeing 3 Food part 3 - Expansion activities 4 Presentation 1 - Food 5 Introduction to Poster Presentations 6 Planning poster presentations 7 Editing poster presentations 8 Poster Presentations 9 Festivals part 1 - Talking about festivals in your city & unusual festivals 10 Festivals part 2 - Making and responding to suggestions 11 Festivals part 3 - Expansion activities 12 Presentations - Festivals 13 Jobs part 1 - Talking about jobs & future careers 14 Jobs part 2 - Making predictions about the future 15 Jobs part 3 - Expansion activities						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Project/presentation preparation						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
履修上の注意	Students must attend at least 12 classes and will be expected to speak English during class. In order to pass this class, they must complete all projects and presentations.						
教科書	Inspire Student Book 2 By Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon Published by: National Geographic and Cengage Learning Student book 2 ISBN: 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンススピーキングA/Advanced Speaking A						
担当教員	J. G. Ueno					科目ナンバ-	E2317A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation and Verbal Communication, Speaking, and Listening						
授業の概要	This course has been designed to develop the following skills for spoken English: listening, improving pronunciation, expressing clear and coherent ideas verbally, responding appropriately and in a timely manner in conversation, understanding discourse markers, and making oral presentations. The aim of this course is for students to be able to participate in English conversation more naturally and with more successful communication, to be able to give a short presentation in English, and to be able to conduct and respond to an interview.						
到達目標	Students will be able to: *express agreement and disagreement *make and respond to suggestions *talk about problems / participate in conflict resolution *make predictions about the future *state reasons *demonstrate increased vocabulary *demonstrate improved fluency in verbal communication *give a short presentation *give and respond to an oral interview						
授業計画	Week 1) Unit 1: Talking about Food Week 2) Unit 1: Agreeing and Disagreeing Week 3) Unit 1: Restaurant Vocabulary and Expressions Week 4) Unit 2: Talking about Festivals Week 5) Unit 2: Making and Responding to Suggestions Week 6) Unit 2: Organizing an Event Week 7) Unit 3: Talking about Places Week 8) Unit 3: Discussing Problems / Conflict Resolution Week 9) Unit 3: Urban Issues Week 10) Unit 4: Talking about Jobs Week 11) Unit 4: Making Predictions about the Future Week 12) Unit 4: Interviewing Someone Week 13) Unit 5: Talking about Music Week 14) Unit 5: Giving Reasons Week 15) Unit 5: Song Lyrics						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	You will have to prepare short homework assignments, take vocabulary quizzes, give three or more presentations, and conduct and respond to an interview.						
授業方法	Lecture. This class will include discussions, role playing, conversations, group work, presentations, and interviews.						
評価基準と評価方法	100% of the grade is based on class participation, homework assignments, quizzes, presentations, and interview participation. Evaluation is continual, so students are advised not to be absent. Students who miss 4 or more classes cannot pass this class.						
履修上の注意	Regular attendance (11 or more classes) is required to pass this class. You must also complete all assignments, including homework, quizzes, presentations, and interviews.						
教科書	Inspire 2 Pamela Hartman, Nancy Douglas, and Andrew Boon National Geographic Learning / Cengage Learning 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングB/Advanced Speaking B						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E2317B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンススピーキングB/Advanced Speaking B						
担当教員	E. Dean					科目ナンバ-	E2317B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' oral communication skills from a ' daily conversation ' level to an intermediate level of ability						
到達目標	Class activities will help students use English appropriately to share personal information and experiences, formulate and express opinions, and initiate and maintain exchanges. Public speaking practice will include the making and presenting of English speeches.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Nature part 1 - Talking about adventure travel</li> <li>2. Nature part 2 - Talking about Pros &amp; Cons</li> <li>3. Nature part 3 - Expansion activities</li> <li>4. Presentation 1 - Nature</li> <li>5. Introduction to Public Speaking</li> <li>6. Planning and writing a speech</li> <li>7. Editing and practicing speeches</li> <li>8. Speech Presentations</li> <li>9. Conservation part 1 - Talking about endangered animals</li> <li>10. Conservation part 2 - Talking about problems &amp; solutions</li> <li>11. Conservation part 3 - Expansion activities</li> <li>12. Presentations 2 - Conservation</li> <li>13. Happiness part 1 - Talking about happiness &amp; happy places</li> <li>14. Happiness part 2 - Comparing &amp; contrasting</li> <li>15. Happiness part 3 - Expansion activities</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	project/presentation preparations						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
履修上の注意	Students must attend at least 12 classes and will be expected to speak English during class. In order to pass this class, they must complete all projects and presentations.						
教科書	Inspire Book 2 By Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon Published by: National Geographic and Cengage Learning Student book 2 ISBN: 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンススピーキングB/Advanced Speaking B						
担当教員	J. G. Ueno					科目ナンバ-	E2317B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation and Verbal Communication, Speaking, and Listening						
授業の概要	This course has been designed to develop the following skills for spoken English: listening, improving pronunciation, expressing clear and coherent ideas verbally, responding appropriately and in a timely manner in conversation, understanding discourse markers, and making oral presentations. The aim of this course is for students to be able to participate in English conversation more naturally and with more successful communication, to be able to give a short persuasive presentation in English, to participate in discussion or debate, to make an announcement, and to be able to conduct and respond to an interview.						
到達目標	Students will be able to: *talk about dreams and aspirations *convincingly demonstrate interest in conversation *talk about pros and cons *compare and contrast two things *talk about problems and solutions *demonstrate increased vocabulary *demonstrate improved fluency in verbal communication *give a short persuasive presentation *make an announcement *give and respond to an oral interview *participate in a discussion or debate						
授業計画	Week 1) Unit 6: Talking about Travel Week 2) Unit 6: Talking about Dreams and Aspirations Week 3) Unit 6: Planning a Vacation or Expedition Week 4) Unit 7: Talking about Family Week 5) Unit 7: Expressing Interest in Conversation Week 6) Unit 7: Debate Week 7) Unit 8: Talking about Adventures Week 8) Unit 8: Discussing Pros and Cons Week 9) Unit 8: Making Announcements Week 10) Unit 10: Talking about Endangered Species Week 11) Unit 10: Talking about Problems and Solutions Week 12) Unit 10: Giving a Persuasive Presentation Week 13) Unit 9: Talking about Happiness Week 14) Unit 9: Comparing and Contrasting Week 15) Unit 9: Making Suggestions						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	You will have to prepare short homework assignments, take vocabulary quizzes, give three or more persuasive presentations, participate in discussion or debate, make an announcement, and conduct and respond to an interview.						
授業方法	Lecture. This class will include discussions and debates, role playing, conversations, group work, presentations, and interviews.						
評価基準と評価方法	100% of the grade is based on class participation, homework assignments, quizzes, presentations, and interview participation. Evaluation is continual, so students are advised not to be absent. Students who miss 4 or more classes cannot pass this class.						
履修上の注意	Regular attendance (11 or more classes) is required to pass this class. You must also complete all assignments, including homework, quizzes, presentations, and interviews.						
教科書	Inspire 2 Pamela Hartman, Nancy Douglas, and Andrew Boon National Geographic Learning / Cengage Learning 978-1-133-96368-4						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA/Advanced Writing A						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E2318A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA/Advanced Writing A						
担当教員	S. Bibby					科目ナンバ-	E2318A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English research and academic writing skills						
授業の概要	The course provides an introduction to academic writing, builds on the composition skills students learned in earlier courses and introduces research skills. The focus is on writing paragraphs. The course is designed to offer a bridge between early classes which focused on writing sentences and paragraphs, and on accuracy, and the 4th year requirement to write a full research paper. *This course is taught entirely in English*						
到達目標	Students will improve: * sentence structure * tense control Students will learn: * key lexical items to start sentences and paragraphs, and to link ideas *how to link sentences to create coherent, cohesive paragraphs Students will practice: *writing sentences and paragraphs about a range of topics, in different genres *writing 'topic sentences' - to introduce the main idea of a paragraph						
授業計画	<p>1. Introductions, getting started with ICT tools (Google Drive)</p> <p>2. Making questionnaires</p> <p>3. Editing questionnaires (2)</p> <p>4. What is a topic sentence?</p> <p>5. Writing topic sentences (2)</p> <p>6. Good interviews</p> <p>7. Interviewing</p> <p>8. What are supporting sentences?</p> <p>9. Supporting sentences (2)</p> <p>10. Concluding sentences</p> <p>11. Research project (1) learn software usage, design questionnaire instrument</p> <p>12. Research project (2) finish questionnaire, send out using appropriate software(s), collate and analyse data</p> <p>13. Research project (3) write up findings</p> <p>14. Research project (4) finish research paper, and submit slideshow of key points</p> <p>15. Review</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	You will have to do some writing work at home in preparation for class. You will be expected to revise and rewrite, based on your own corrections, peer feedback and teacher feedback. All work is done using Google Drive tools.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	100% effective completion of the writing project(s)						
履修上の注意	Students must attend 2/3+ of all classes. Late (= after the bell) counts as 0.5 absent. You will need to do all the homework as required to be ready for class.						
教科書	Research and Write: Essential Skills for Academic Writing by Andy Boon Macmillan Publishing ISBN 978-4-7773-6516-6						
参考書	You should have access to a good dictionary - hard copy or digital.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA/Advanced Writing A						
担当教員	P. J. Mallett					科目ナンバ-	E2318A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English composition						
授業の概要	This course will build on the composition skills you have previously learned and provide an introduction to academic writing. You will learn to write good paragraphs and build them into an essay. The course will be particularly useful if you are going to write a graduation thesis in English. The course is taught entirely in English.						
到達目標	This course will teach you to write paragraphs and build them into essays. You will learn to write descriptions and processes and express opinions.						
授業計画	<p>The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. Student input in the content of this course is welcome.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Introduction</li> <li>2) Process writing/Getting ready to write</li> <li>3) Writing topic sentences</li> <li>4) What is a paragraph?</li> <li>5) Using a thesaurus. Book reports</li> <li>6) The development of a paragraph</li> <li>7) Concluding sentences</li> <li>8) Descriptive and process paragraphs</li> <li>9) Opinion paragraphs - facts and opinions</li> <li>10) Opinion paragraphs; Transition words</li> <li>11) Correcting and Peer Editing; Problem-solution paragraphs</li> <li>12) Problem-solution paragraphs</li> <li>13) Cause and effect paragraphs</li> <li>14) Comparison and contrast paragraphs</li> <li>15) Review</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	You will sometimes have to write at home. You will be expected to revise and rewrite work after it has been marked. You will also have to read in English to improve your vocabulary.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Final grades (100%) will be based on work in class and written assignments. There will be at least one book report and one major writing project before the end of the semester. There will be no exam.						
履修上の注意	Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course. Students will be expected to improve their writing style and vocabulary by reading and writing book reports. You will need paper and a file in which to keep all your work.						
教科書	Writing Essays: From Paragraph to Essay Dorothy E. Zemach (Macmillan Languagehouse) ISBN: 978-0-2304-1592-8						
参考書	Please bring an English dictionary to this class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA/Advanced Writing A						
担当教員	山内 啓子					科目ナンバ-	E2318A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	学術的な英文ライティング						
授業の概要	アカデミックな文書を書くために1,2年次で培ったパラグラフライティングの能力を発展させます。この授業では基本である文法上の規則を再認識することから始め、メモ書き・下書き・見直し・編集を経て、より良い文書作成へと進めてゆきます。その際に様々なライティングのルールや方法を学び、幅広いテーマについて、記述、物語、論証などの様々な文体を書く能力を身につけます。						
到達目標	パラグラフの書き方のルールが分かり、前期にはトピックセンテンスの機能、導入、主要部が明快になったパラグラフが書けるようになります。						
授業計画	<p>アカデミック文書を書くための方法や約束事を学び、それらを習熟するために様々な文章を書き、点検し実力をつけていきます。 そのためにテキストを活用しながら授業を行います。</p> <p>前期: Stage 1: unit 1-4</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction: 単語レベルの確認 (品詞等) 語彙の充実</li> <li>2. unit 1: 段落vsパラグラフ 1- differences</li> <li>3. unit 1: 段落vsパラグラフ 2 - paragraph construction rules</li> <li>4. unit 2: パラグラフの構造 I- topic sentence</li> <li>5. unit 2: パラグラフの構造 I- topic sentence revision</li> <li>6. revise unit 1&amp;2 + test</li> <li>7. unit 3: パラグラフの構造 II- development of a paragraph - support sentences</li> <li>8. unit 3: パラグラフの構造 II- development of a paragraph - more support sentences + revision</li> <li>9. unit 4: パラグラフの構造 III - development of a paragraph - concluding sentence</li> <li>10. unit 4: パラグラフの構造 III - development of a paragraph - overall revision</li> <li>11. revise unit 3&amp;4 + test</li> <li>12. unit 5: パラグラフ演習 I - character description</li> <li>13. unit 5: パラグラフ演習 II - descriptive paragraph revision</li> <li>14. term end test + revision</li> <li>15. Overall Review</li> </ol>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	<p>授業前学習: テキストを読み、書かれている内容を理解しておくこと。 授業後学習: 課題を作成し、必ず次の授業で提出すること。</p>						
授業方法	授業中には個人の書く文章を個別に添削したり、板書で手本を示し、分かり易い丁寧な授業を行います。ほぼ毎週ワープロの打ち出し原稿提出の課題があります。						
評価基準と評価方法	授業への積極参加、小テスト、提出物等の累積評価を試験に加味します。 提出課題50%, 平常小テスト20%, 期末課題20%, 積極的 授業参加10%						
履修上の注意	出席重視、予習と復習の徹底を重視します。積み重ねが重要ですので、全出席の心構えで臨むこと。熱意と誠意に欠ける学生は歓迎しません。 また、パソコン・プリンターは必需です。自宅にない場合は大学の機器に精通してください。						
教科書	静哲人著 『Writing Facilitator 構造から学べるパラグラフライティング入門』 松柏社 ISBN4-88198-537-X						
参考書	授業中にプリントで配布します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB/Advanced Writing B						
担当教員	担当者未定					科目ナンバ-	E2318B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	
授業方法	
評価基準と評価方法	
履修上の注意	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB/Advanced Writing B						
担当教員	予備登録					科目ナンバー	E2318B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB/Advanced Writing B						
担当教員	S. Bibby					科目ナンバ-	E2318B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English research and academic writing						
授業の概要	The course provides an introduction to academic writing, builds on the composition skills students learned in earlier courses and introduces research skills. The focus is on writing paragraphs. The course is designed to offer a bridge between early classes which focused on writing sentences and paragraphs, and on accuracy, and the 4th year requirement to write a full research paper. This course builds on and extends the writing practice of 'Advanced Writing A'. *This course is taught entirely in English*						
到達目標	Students will progress from the linked 'Writing A' and continue to improve: * sentence structure * tense control Students will learn: * key lexical items to start sentences and paragraphs, and to link ideas * how to link sentences to create coherent, cohesive paragraphs Students will practice: * writing sentences and paragraphs about a range of topics, in different genres * writing 'topic sentences' - to introduce the main idea of a paragraph In the second part of this A/B course, students will also * examine introductions and conclusions * practice further genres * write creative Halloween-themed output * write a 'mini-thesis' to practice key skills (research, writing, formatting, structure) in preparation for the 4th-year graduation thesis						
授業計画	The course content is subject to change depending on student level and is necessarily tentative. Student input into course content is welcome.  1. What is a paragraph? 2. From paragraph to essay 3. Using secondary data 4. Referencing 5. Citing and referencing 6. Paraphrasing writing 7. Paraphrasing and summarizing 8. What is an argumentative essay? 9. Writing an argumentative essay 10. The argumentative essay: re-writing and editing 11. Research and 'mini-thesis' writing (1): research questions and questionnaire instrument 12. Research and 'mini-thesis' writing (2): finish questionnaire, send out, collect data 13. Research and 'mini-thesis' writing (3): analyst data, start write-up 14. Research and 'mini-thesis' writing (4): complete write-up 15. Complete 'mini-thesis', peer checks, review research and writing skills						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Some research and written work is required out of class. You will need to do this to be prepared for class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	20% participation and attendance 80% research and writing assignments There is no exam outside (after) class time.						
履修上の注意	Attendance at more than 2/3+ of classes is required. Late (=after the bell) counts as 0.5 late. You will need to keep your writing materials organised.						
教科書	Research and Write: Essential Skills for Academic writing by Andy Boon ISBN 978-4-7773-6516-6						

参考書	You should have access to a good dictionary.
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB/Advanced Writing B						
担当教員	山内 啓子					科目ナンバー	E2318B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	学術的な英文ライティング						
授業の概要	アカデミックな文書を書くために1,2年次で培ったパラグラフライティングの能力を発展させます。この授業では前期学んだパラグラフライティングの知識を用いて、様々なスタイルのライティングができるように学びます。						
到達目標	パラグラフの書き方のルールが分かり、後期には比較検討、意見文など論証の文章が書けるようになります。						
授業計画	<p>前期に引き続き、アカデミック文書を書くための方法や約束事を学び、それらを習熟するために様々な文章を書き、点検し実力をつけていきます。そのためにテキストを活用しながら授業を行います。</p> <p>後期: Stage 2: unit 5-12</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction + revision</li> <li>2. unit 5: 説明文 explanation</li> <li>3. unit 5: 説明文 2 推敲</li> <li>4. unit 6: 小テスト + 描写文 description</li> <li>5. unit 6: 描写文 2 推敲</li> <li>6. unit 7: 小テスト + 意見文 opinion</li> <li>7. unit 8: 指示文 instruction</li> <li>8. unit 9: 小テスト + 比較検討文 compare and contrast</li> <li>9. unit 9: 比較検討文 2 推敲</li> <li>10. unit 10: 小テスト + 日本文化の説明 explaining Japanese culture</li> <li>11. unit 11: データ説明 describing data expressed in graphs</li> <li>12. unit 12: サマリー</li> <li>13. unit 12: サマリー 2 推敲</li> <li>14. term end test + revision</li> <li>15. Overall Review</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	<p>授業前学習: テキストを読み、書かれている内容を理解しておくこと。</p> <p>授業後学習: 課題を作成し、必ず次の授業で提出すること。</p>						
授業方法	<p>授業中には個人の書く文章を個別に添削したり、板書で手本を示し、分かり易い丁寧な授業を行います。</p> <p>ほぼ毎週ワープロの打ち出し原稿提出の課題があります。</p>						
評価基準と評価方法	<p>授業への積極参加、小テスト、提出物等の累積評価を試験に加味します。</p> <p>提出課題50%, 平常小テスト20%, 期末テスト20%, 積極的 授業参加10%</p>						
履修上の注意	<p>出席重視、予習と復習の徹底を重視します。積み重ねが重要ですので、全出席の心構えで臨むこと。熱意と誠意に欠ける学生は歓迎しません。</p> <p>また、パソコン・プリンターは必需です。自宅にない場合は大学の機器に精通してください。</p>						
教科書	<p>静哲人著 『Writing Facilitator 構造から学べるパラグラフライティング入門』 松柏社 ISBN4-88198-537-X</p>						
参考書	<p>授業中にプリントで配布します。</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	歌・ドラマで学ぶ英語A/English through Music and Drama A						
担当教員	C. Tat					科目ナンバー	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Introduction to popular culture, music and literature in different time periods in countries where the primary spoken language is English.						
授業の概要	The goal of this course is to introduce students to different aspects of popular culture, music and literature in different time periods in countries where the primary spoken language is English. Students will experience top hits from popular musicians in the 80's and 90's in the UK, US and Canada. Students will have the opportunity to introduce their own favorite musicians or groups through individual short presentations in Week 7. Famous works in English literature will also be introduced through movies, cartoons, or musicals, as well as through short, easy graded reader passages. To help the students with the reading, the movies will be viewed in class prior to the reading assignments.						
到達目標	After finishing this course you will have a better understanding of popular culture, music and literature in different time periods in countries where the primary spoken language is English.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introductions: Explaining course outline and expectations</li> <li>2. Introduction to 80's music: US vs. the UK</li> <li>3. Alice in Wonderland Disney: Part 1</li> <li>4. Alice in Wonderland Disney: Part 2</li> <li>5. Alice in Wonderland Disney : Part 3</li> <li>6. Introduction to 90's music: Top artists in the UK, US, and Canada</li> <li>7. Presentations</li> <li>8. Oliver Twist: Part 1</li> <li>9. Oliver Twist: Part 2</li> <li>10. Oliver Twist: Part 3</li> <li>11. The Jungle Books Part 1</li> <li>12. The Jungle Books: Part 2</li> <li>13. The Jungle Books: Part 3</li> <li>14. Teen dramas in the US: Ugly Betty</li> <li>15. Group presentations</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Reading assignments before coming to class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Regular attendance and punctuality will be considered when deciding grades. participation 20%, presentations 30%, weekly quizzes 20%, homework assignments 30%						
履修上の注意	Reading assignments before coming to class.						
教科書	Handouts and materials will be provided by the instructor.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	歌・ドラマで学ぶ英語B/English through Music and Drama B						
担当教員	C. Tat					科目ナンバ	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	A look at famous works of literature through movies in the UK, the US and Canada.						
授業の概要	Students will be introduced to some famous works of literature in Canada, the US and the UK through movies and easy level readings. Famous musicians in English speaking countries in the 00`s and their most representative songs and lyrics will also be introduced.						
到達目標	The goal of this course is to introduce students to some classic works of literature in the UK, the US and Canada through different types of media. All works feature various female lead characters, which the students will discuss and analyze at the end of the course in group presentations in Week 15.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introductions</li> <li>2. Top hits music chart in the 00`s: US vs. the UK</li> <li>3. A classic Canadian tale: Anne of Green Gables Part 1</li> <li>4. A classic Canadian tale: Anne of Green Gables Part 2</li> <li>5. An American classic: The Wizard of Oz Part 1</li> <li>6. An American classic: The Wizard of Oz Part 2</li> <li>7. An American classic: The Wizard of Oz Part 3</li> <li>8. A Nightmare Before Christmas Part 1</li> <li>9. A Nightmare Before Christmas Part 2</li> <li>10. Teen dramas in the US: Gossip Girl</li> <li>11. The Golden Compass Part 1</li> <li>12. The Golden Compass Part 2</li> <li>13. The Golden Compass Part 3</li> <li>14. Preparation for final presentations</li> <li>15. Group presentations</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Reading assignments before class.						
授業方法	Practical.						
評価基準と評価方法	20% attendance, 20% quizzes, 30% homework, 30% group presentations						
履修上の注意	Reading assignments before class. Attendance and punctuality will be strictly observed.						
教科書	All handouts and materials will be provided by the instructor.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	エアラインイングリッシュ						
担当教員	最所 千依					科目ナンバー	E22290
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	エアライン（航空業界）で頻出する英単語や表現を学ぶことで、英語を用いたコミュニケーション能力の習得を目指す。						
授業の概要	この授業では、航空業界での面接試験対策を学期を通して行うと共に、エアライン業界のみならず他業界（ホテル業界、旅行業界等）など、英語でのコミュニケーションが必須となる業界での就職、就業において有益となるよう学習を進める。						
到達目標	①英語を使って様々な質問に答えることができるようになる。 ②エアラインにおいて想定される様々な状況において、英語で対応できるようになる。 ③英文履歴書、カバーレターなどの書類を作成できるようになる。 ④英語を使って異文化の中で働くことを理解できる。 ⑤チームワークやリーダーシップなど、エアライン業界で必須の能力を向上できる。						
授業計画	第1回 Introduction (Tell us about yourself! Let's get to know each other!) 第2回 Basic aviation knowledge 第3回 The interview process 第4回 模擬面接 ① 第5回 Service items and cabin service 第6回 Safety and emergency 第7回 Health and medical issues 第8回 Safety and emergencies 第9回 Cultural differences 第10回 Teamwork and leadership 第11回 Politeness and handling the difficult customer 第12回 Public announcement 第13回 Resume and cover letter 第14回 模擬面接 ② 第15回 授業内容のまとめ・そう復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前準備学習： 各授業毎に発表（第1回では、自己紹介文を1分程度にまとめて発表準備すること）（学習時間90分） 授業後学習：授業で学んだところを（新出単語や表現）など確認。授業でとりあげた題材について、自分の意見をまとめ作文（日本語可）（学習時間90分）						
授業方法	講義形式の授業の他に、ディスカッションやプレゼンテーションなど、生徒の積極的な参加が求められる授業形式						
評価基準と評価方法	平常点（授業態度や小テスト、レポートなど） 30% プレゼンテーション、ディスカッションなどのアクティビティでの積極性 30% 期末試験（学んだ英単語や表現、専門用語など） 40%						
履修上の注意	出席回数が開講日数の2/3に満たないものには、原則単位認定を行わない。 20分以上の遅刻の場合は欠席とする。 積極的に授業に参加する学生の受講を期待する。						

教科書	ハンドアウトを授業毎に配布。
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	エアラインイングリッシュ						
担当教員	最所 千依					科目ナンバ-	E22290
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	エアライン（航空業界）で頻出する英単語や表現を学ぶことで、英語を用いたコミュニケーション能力の習得を目指す。						
授業の概要	この授業では、航空業界での面接試験対策を学期を通して行うと共に、エアライン業界のみならず他業界（ホテル業界、旅行業界等）など、英語でのコミュニケーションが必須となる業界での就職、就業において有益となるよう学習を進める。						
到達目標	①英語を使って様々な質問に答えることができるようになる。 ②エアラインにおいて想定される様々な状況において、英語で対応できるようになる。 ③英文履歴書、カバーレターなどの書類を作成できるようになる。 ④英語を使って異文化の中で働くことを理解できる。 ⑤チームワークやリーダーシップなど、エアライン業界で必須の能力を向上できる。						
授業計画	第1回 Introduction (Tell us about yourself! Let's get to know each other!) 第2回 Basic aviation knowledge 第3回 The interview process 第4回 模擬面接 ① 第5回 Service items and cabin service 第6回 Safety and emergency 第7回 Health and medical issues 第8回 Safety and emergencies 第9回 Cultural differences 第10回 Teamwork and leadership 第11回 Politeness and handling the difficult customer 第12回 Public announcement 第13回 Resume and cover letter 第14回 模擬面接 ② 第15回 授業内容のまとめ・そう復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前準備学習： 各授業毎に発表（第1回では、自己紹介文を1分程度にまとめて発表準備すること）（学習時間90分） 授業後学習：授業で学んだところを（新出単語や表現）など確認。授業でとりあげた題材について、自分の意見をまとめ作文（日本語可）（学習時間90分）						
授業方法	講義形式の授業の他に、ディスカッションやプレゼンテーションなど、生徒の積極的な参加が求められる授業形式						
評価基準と評価方法	平常点（授業態度や小テスト、レポートなど） 30% プレゼンテーション、ディスカッションなどのアクティビティでの積極性 30% 期末試験（学んだ英単語や表現、専門用語など） 40%						
履修上の注意	出席回数が開講日数の2/3に満たないものには、原則単位認定を行わない。 20分以上の遅刻の場合は欠席とする。 積極的に授業に参加する学生の受講を期待する。						

教科書	ハンドアウトを授業毎に配布。
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語学概論A						
担当教員	柏本 吉章					科目ナンバ-	E2103A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	さまざまな視点から英語の成り立ちを概観する						
授業の概要	国際社会の中での英語の位置づけ、英語の歴史、英語の音韻、語の形態など、英語の姿をとらえるいくつかの通時的側面、共時的側面について紹介し、英語学の基本的な考え方への導入を図る。英語教育関係を進路とする人に限らず、「英語ってどんな言語」と関心を持つ人、英語をより身近なものにしたいと考える人を対象に、英語学の基本的な考え方に親しんでもらうことを目指す。						
到達目標	(1) 英語の特色を知り、英語への興味・関心をより具体的なものとして意識することができる。 (2) 英語の特性を英語学の基本的な考え方をを用いて他者にわかりやすく説明することができる。 (3) 英語の特性を理解し、英語学習をより効率的なものにする方策を身につける。						
授業計画	第1回 英語について考える視点 第2回 世界のなかの英語1 世界語としての英語 第3回 世界のなかの英語2 英語の方言、アメリカ英語とイギリス英語 第4回 英語の歴史1 イギリスの歴史、英語の始まり 第5回 英語の歴史2 古期英語の姿 第6回 英語の歴史3 中期英語 への変遷 第7回 英語の歴史4 近代英語への流れ 第8回 音韻論1 発音のしくみと音の種類 第9回 音韻論2 音素の考え方、音節の構造 第10回 音韻論3 音の連続と音変化 第11回 音韻論4 強勢とイントネーション 第12回 形態論1 形態論の考え方 第13回 形態論2 語を作る要素 第14回 形態論3 語形成のしくみ 第15回 授業内容のまとめ・総復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前準備学習：各回授業で扱う教科書の当該箇所の予習（詳細は授業内で指示）（学習時間：90分） 授業後学習：授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理。また、松蔭manabaで提示する各回授業のキーワードとその解説を授業前後に確認すること（学習時間：90分）						
授業方法	講義（各回のテーマへの導入を図る練習問題による演習をふまえ、設定されたテーマについて講義を行う）						
評価基準と評価方法	<b>評価基準と評価方法</b> 平常点30%：各回提出のリアクションペーパー（講義内容についてのコメント・質問・事例提案）などにより評価する。到達目標(1)および(3)に関する到達度の確認。 期末試験70%：授業で扱った英語学の考え方に対する理解度、英語に対する自らの興味・関心の明確性・具体性について評価する。到達目標(1)および(2)に関する到達度の確認。  <b>課題に対するフィードバックの方法</b> リアクションペーパーによるコメント・質問等について、翌週授業で紹介・解説する。						
履修上の注意	1. 練習問題のプリントは、各回の出席者のみ配布する（欠席の時は、翌週授業時に限り再配布）。 2. 出席が授業回数数の3分の2に満たない人は期末試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『新 えいご・エイゴ・英語学』、稲木昭子・堀田知子・沖田知子著、松柏社、ISBN978-4-7754-0004-3						
参考書	『最新英語学・言語学用語辞典』、開拓社、ISBN978-4-7589-2215-9						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語学概論B						
担当教員	柏本 吉章					科目ナンバ-	E2103B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語という言語の性質を理解するための基礎的概念を概観する。						
授業の概要	英語学の分野のうち、英語の文法構造、意味のあり方、対人関係の中での機能、ことばと社会の関係など、現代英語を構成するさまざまな形式的、機能的側面を取り上げ、英語研究への更なる関心を導き出すことを目指す。英語学の基礎的概念の理解だけではなく、言語を観察、分析するための方法論についても紹介し、科学的な視点からの英語の観察法や分析法に親しむ機会を提供する。 さまざまな視点から「英語の成り立ちと働き」を概観する授業です。英語教育関係を進路とする人のほか、色々な分野で英語と深く付き合っていくみなさんにとって、その活動の土台となる知識を提供する。						
到達目標	(1) 英語の特色を知り、英語への興味・関心をより具体的なものとして意識することができる。 (2) 英語の特性を英語学の基本的な考え方をを用いて他者にわかりやすく説明することができる。 (3) 英語の特性を理解し、英語学習をより効率的なものにする方策を身につける。						
授業計画	第1回 はじめに：文のしくみ、意味のしくみ、コミュニケーションのしくみ 第2回 統語論1 文の分析方法 第3回 統語論2 文の構造と意味 第4回 統語論3 英文法と普遍文法 第5回 意味論1 意味の多様性 第6回 意味論2 意味の変化と意味関係 第7回 意味論3 意味の意味 第8回 語用論1 発話としてのことばの意味 第9回 語用論2 会話のルールとていねいさ、テキストと談話 第10回 語用論3 テキストと談話 第11回 文体論1 文体と使用域 第12回 文体論2 英語のスタイル 第13回 コミュニケーションの成立、動物のコミュニケーションと人間言語のちがひ 第14回 言語と社会、言語と文化 第15回 学期のまとめと総復習、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前準備学習：各回授業で扱う教科書の当該箇所の予習（詳細は授業内で指示）（学習時間：90分） 授業後学習：授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理。また、松蔭manabaで提示する各回授業のキーワードとその解説を授業前後に確認すること（学習時間：90分）						
授業方法	講義（各回のテーマへの導入を図る練習問題による演習をふまえ、設定されたテーマについて講義を行う）						
評価基準と評価方法	<b>評価基準と評価方法</b> 平常点30%：各回提出のリアクションペーパー（講義内容についてのコメント・質問・事例提案）などにより評価する。到達目標(1)および(3)に関する到達度の確認。 期末試験70%：授業で扱った英語学の考え方に対する理解度、英語に対する自らの興味・関心の明確性・具体性について評価する。到達目標(1)および(2)に関する到達度の確認。  <b>課題に対するフィードバックの方法</b> リアクションペーパーによるコメント・質問等について、翌週授業で紹介・解説する。						
履修上の注意	1. 練習問題のプリントは、各回の出席者のみ配布する（欠席の時は、翌週授業時に限り再配布）。 2. 出席が授業回数数の3分の2に満たない人は期末試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『新 えいご・エイゴ・英語学』、稲木昭子・堀田知子・沖田知子著、松柏社、ISBN978-4-7754-0004-3						
参考書	『最新英語学・言語学用語辞典』、開拓社、ISBN978-4-7589-2215-9						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化概論A／Introduction to English-Speaking Culture						
担当教員	F. Shiobara					科目ナンバ-	E2102A
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English-speaking cultures: how they developed and how they became diverse.						
授業の概要	英語圏の文化概論Aではイギリス英語の歴史や発展を考察した後、アメリカ英語誕生の経緯を観察し、さらには、イギリス英語とアメリカ英語というもっとも影響力のある2種類の英語について、その比較をおこなう。This course will introduce students to the English Language, language families and how English developed into what it is today.						
到達目標	Students will gain knowledge of English-speaking cultures in their diversity. Students will develop reading, writing and listening skills.						
授業計画	第1回 : Course information; overview of English Around the World 第2回 : Indo-European 第3回 : Old English 第4回 : Middle English (Chaucer) 第5回 : Modern English (Shakespeare) 第6回 : The British Empire 第7回 : Review Weeks 1-6 第8回 : Review and Mid-term test 第9回 : British urban cultures: Brummie, Geordie, Scouse 第10回 : Cockney language and culture 第11回 : Irish and Welsh English 第12回 : Scottish English 第13回 : Review weeks 9 - 12 第14回 : Revision, Final test and course evaluation. 第15回 : Madame in New York movie						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Before the course, students should make themselves familiar with world geography in order to understand and references to countries in class activities.						
授業方法	Lecture This class will be taught only in English.						
評価基準と評価方法	50% Classroom quizzes 50% Mid-term and final examination.						
履修上の注意	70 % attendance is the minimum necessary. Active participation is required.						
教科書	None (handouts are used)						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化概論B／Introduction to English-Speaking Culture						
担当教員	F. Shiobara					科目ナンバ-	E2102B
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English-speaking cultures: how they developed and how they became diverse.						
授業の概要	This course will introduce a variety of different Englishes from all over the world. The aim is for students to appreciate the wide variety of Englishes in the world.						
到達目標	Students will gain knowledge of English-speaking cultures in their diversity. Students will develop reading, writing and listening skills.						
授業計画	第1回 : Review of where English is spoken around the world 第2回 : English goes to America 第3回 : Slavery Pidgin & Creole 第4回 : Immigration and other Languages' influence on English 第5回 : Louisiana Cajun 第6回 : Australian English 第7回 : New Zealand English 第8回 : Indian English 第9回 : Singaporean English 第10回 : Revision and Kahoot quiz weeks 2-9 第11回 : Review and Final Test 第12回 : PowerPoint Slide Preparation 第13回 : Christmas Around the World 第14回 : Presentation practice 第15回 : PowerPoint Presentations						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Before the course, students should make themselves familiar with world geography in order to understand and references to countries in class activities.						
授業方法	Lecture This class will be taught only in English.						
評価基準と評価方法	50% Classroom quizzes 50% Tests.						
履修上の注意	Minimum 70% attendance.						
教科書	None (handouts are used)						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化特論A/Special Lecture on English-Speaking Cult						
担当教員	P. J. Mallett					科目ナンバ-	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	An introduction to Britain and its people.						
授業の概要	In this course we will look at Britain and its society to discover what it means to be British and live in Britain today. The course will be taught by lecture, using a workbook and handouts, with readings in English, DVDs and film. This course is taught entirely in English.						
到達目標	You will learn about Britain and the British people and make comparisons with Japan and Japanese society.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) Introduction</li> <li>2) What is Britain and Who are the British?</li> <li>3) An Introduction to Britain (Text book: Unit 1)</li> <li>4) Multicultural Britain</li> <li>5) The Class System.</li> <li>6) British Cinema: My Fair Lady</li> <li>7) Schools (Text book: Unit 2). Vocabulary. Curriculum.</li> <li>8) Schools (Text book: Unit 2). Opinions. Comparison with Japanese schools.</li> <li>9) The English Language</li> <li>10) British Food (Text book: Unit 3). Vocabulary. Eating habits.</li> <li>11) British Food (Text book: Unit 3). Popular British dishes and food history.</li> <li>12) British Cinema: Billy Elliot. Background.</li> <li>13) British Cinema: Billy Elliot. Worksheet review.</li> <li>14) Revision</li> <li>15) Review and Test</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Sometimes you will be required to read or do worksheets at home.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Test (80%) and Homework (20%) Poor attendance will affect your grade and failure to attend the required number of classes may result in failure.						
履修上の注意	<p>The class is taught by lecture, audio-visual presentations, readings and worksheets. You will be expected to participate in group discussions and to make short presentations in class. You must bring paper and your file to every class.</p> <p>Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course.</p>						
教科書	Window on Britain (Activity Book), Richard MacAndrew, Oxford University Press ISBN: 0-19-459038-0 Prints. You must buy a clear file in which to keep all prints and the work you do.						
参考書	Please bring a dictionary to class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化特論B/Special Lecture on English-Speaking Cult						
担当教員	E. Dean					科目ナンバ-	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	An introduction to the people and culture of Britain						
授業の概要	This course will build on the introduction of Special Lecture on English-Speaking Cultures A, looking in more detail at aspects of British life and culture. You will be expected to make comparisons with Japan and Japanese society. The course will be taught by lecture, using a workbook and handouts, with readings in English, DVDs and film. This course is taught entirely in English.						
到達目標	This course will give you an insight into British society today and help you make comparisons with Japan and Japanese society. You will make a presentation during this class.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) Review/ The British Home (Text book: Unit 4). Vocabulary.</li> <li>2) The British Home (Text book: Unit 4). Differences between British and Japanese homes.</li> <li>3) The Royal Family</li> <li>4) British Cinema: The Queen. Background and history</li> <li>5) British Cinema: The Queen. Worksheet review.</li> <li>6) Sport (Text book: Unit 5). Vocabulary.</li> <li>7) Sport (Text book: Unit 5). Famous British sports and sportsmen.</li> <li>8) Pop Music (Text book: Unit 7)</li> <li>9) London (Text book: Unit 8)</li> <li>10) Oral Presentations</li> <li>11) Oral Presentations/ Festivals: Christmas (Text book: Unit 6)</li> <li>12) Other Festivals (Text book: Unit 6)</li> <li>13) Marriage</li> <li>14) Marriage/British Cinema: Four Weddings and a Funeral</li> <li>15) Review and Test</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Sometimes you will be required to read or do worksheets at home.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Oral Presentation (20%) Test (80%)						
履修上の注意	The class is taught by lecture, audio-visual presentations, readings and worksheets. You will be expected to participate in group discussions and to make short presentations in class. You must bring paper and your file to every class. Regular attendance (at least 12 classes), active participation in class and completion of all assignments are essential for passing this course.						
教科書	Window on Britain (Activity Book), Richard MacAndrew, Oxford University Press ISBN: 0-19-459038-0 Prints. You must buy a clear file in which to keep all prints and the work you do.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論A						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバ-	E2101A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	映画で学ぶ英語 音声変化の法則の修得						
授業の概要	世界的に大ヒットした映画『タイタニック』を観ながら、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力の養成を目標とする。 ただ映画を鑑賞してシナリオを読むのではなく、音声変化の法則を体系的に学び、映画の聴き取りで確認していく。聴き取った場面を音読やロールプレイで練習した後は、パッセージの読解演習も行い、英語の4技能を効果的に伸ばすことを目指す。 また、受講生による、映画の発表を取り入れ、「プレゼンテーション力」を養う。						
到達目標	英語圏の映画を通じて、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力を養成することができる。						
授業計画	第1回：音声変化（音の連結） My heart will go on 第2回：Unit 1 The woman in the picture 第3回：音声変化の複合 I don't want to miss a thing 第4回：Unit 1 の映画の視聴とディクテーション 第5回：Unit 2 Back to Titanic 音の同化 Don't look back in anger 第6回：Unit 3 Leaving Port 破裂音の脱落 A whole new world 第7回：Unit 4 Don't do it 第8回：Unit 5 Do you love him? 助動詞の肯定型と否定型の聴き分け (can と can't) 第9回：Unit 6 I can't see him 第10回：Unit 7 I am flying 第11回：受講生の発表① 文法とペアワーク 第12回：受講生の発表② 映画の視聴とディクテーション 第13回：受講生の発表③ 質疑応答 第14回：受講生の発表④ まとめと復習 第15回：質疑応答と期末テスト						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	しっかり予習をして授業に臨むこと。宿題・課題をこなした上での受講が前提条件である。						
授業方法	講義形式および受講者のプレゼンテーションなどの演習						
評価基準と評価方法	試験（定期試験と復習テスト）7割とプレゼンテーション・課題の出来栄等を受講状況3割の総合評価。						
履修上の注意	途中入退室・電源を切らない携帯電話は厳禁。マナーを守った受講態度を期待する。教材として編集された英語ではなく、ナチュラル・スピードの英語で話される教材を用いるので、英語力に自信のある学生の履修が望ましい。 通年で2冊のテキストを使うので、できれば、通年での履修が望ましい。						
教科書	Learn English with TITANIC 角山照彦・Simon Capper 著 成美堂 978-4-7919-6024-8 English wit Hit Songs 角山照彦・Simon Capper 著 成美堂 978-4-7919-3086-9						
参考書	『ビデオで女性学』井上輝子ほか著、有斐閣 その他、参考文献を授業中に指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論B						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバ-	E2101B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	映画で学ぶ英語						
授業の概要	世界的に大ヒットした映画『タイタニック』を観ながら、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力の養成を目標とする。 映画を鑑賞してシナリオを読むだけではなく、音声変化の法則を体系的に学び、映画の聴き取りで確認していく。TOEIC形式の演習問題や受講生による発表を取り入れる。						
到達目標	英語圏の映画を通じて、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力を養成する。						
授業計画	第1回：Unit 8 Iceberg is ahead 第2回：Unit 9 An honest Thief 第3回：Unit 10 Goodbye Mother 第4回：助動詞の弱形 Kiss of life 第5回：Unit 11 Get in the boat 機能語の発音 第6回：Unit 12 Two tragic bullets ~ingの発音 第7回：Unit 13 Promise me 第8回：Unit 14 Rose's Secret 第9回：TOEIC形式の演習問題 第10回：受講生のプレゼンテーション① 第11回：リーディングと質疑応答① 第12回：受講生のプレゼンテーション② 第13回：リーディングと質疑応答② 第14回：受講生のプレゼンテーション③ 質疑応答と復習 第15回：まとめと期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	しっかり予習をして授業に臨むこと。 宿題の出来栄が成績に反映する。						
授業方法	講義形式および受講者のプレゼンテーションなどの演習						
評価基準と評価方法	試験（定期試験と復習テスト）7割とプレゼンテーション課題の出来栄などの受講状況3割の総合評価。						
履修上の注意	途中入退室・電源を切らない携帯電話は厳禁。マナーを守った受講態度を期待する。 前期に引き続き、英語力に自信のある学生の履修が望ましい。 前期のテキストを後期で引き続き使用する。						
教科書	Learn English with TITANIC 角山照彦・Simon Capper 著 成美堂 978-4-7919-6024-8 English with Hit Song 角山照彦・Simon Capper 著 成美堂 978-4-7919-3086-9						
参考書	『ビデオで女性学』井上輝子ほか著、有斐閣 その他、参考文献を授業中に指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーションゼミ/Seminar in English Communication						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	
学期	通年/Full Year	曜日・時限	水曜2	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	コミック大調査						
授業の概要	コミックについて、グループで資料を集め、分析し、プレゼンテーションを行います。ポップカルチャーへの理解を深めると同時に、プレゼンテーションの経験を積み、プレゼン技能の習得に努めます。テーマはコミックに関するものであれば、コミックであれば英語でも日本語でも構いませんし、テーマも授業に適当なものであれば何でもOKです。						
到達目標	学生がマンガ文化への理解を深め、きちんとしたプレゼンができる。						
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 授業紹介  第2回 グループ分け、メールの出し方、Manabaの使い方  第3回 プレゼンテーションの方法  第4回 ハンドアウトの書き方  第5回 アイデア発表 1  第6回 アイデア発表 2  第7回 中間発表 1  第8回 中間発表 2  第9回 中間発表 3  第10回 最終発表 1  第11回 最終発表 2  第12回 最終発表 3  第13回 最終発表 4  第14回 最終発表 5  第15回 まとめと復習</p> <p>【後期】</p> <p>第16回 オリエンテーション、グループ分け  第17回 前期のプレゼンの反省  第18回 アイデア発表 1  第19回 アイデア発表 2  第20回 アイデア発表 3  第21回 中間発表 1  第22回 中間発表 2  第23回 中間発表 3  第24回 中間発表 4  第25回 最終発表 1  第26回 最終発表 2  第27回 最終発表 3  第28回 最終発表 4  第29回 最終発表 5  第30回 まとめと復習</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	丹念な発表準備（調査、議論、発表資料作成、リハーサル）						
授業方法	講義と発表						
評価基準と評価方法	プレゼンテーションの出来具合（パワーポイントの出来具合、ハンドアウトの出来具合、発想、発表の4点から評価）50%、および他グループのプレゼンへのコメント50%						
履修上の注意	■私語厳禁。出席をしないとコメント点が取れずに、単位を落とすことになります。						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション特論A/Special Lecture on Communication St						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバ-	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画で学ぶ英語と文化：「家族」と文化について						
授業の概要	アメリカ3大ネットワークの1つであるABCで2009年から放送されている人気番組『モダン・ファミリー』を観ながら、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力の養成を目標とします。 また、受講生自身が選んだ映画を通して「家族」と文化について理解を深めることも目指します。						
到達目標	英語圏の映画を通じて、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力を養うことができる。 「家族」と文化について、映画を通じて理解し、発表力をつけることができる。						
授業計画	第1回：Unit 1 打ち明ける表現 第2回：Unit 2 強調する表現 第3回：Unit 3 比較する表現 第4回：Unit 4 励ます表現 第5回：Unit 5 丁寧に依頼するための表現 第6回：受講生の発表① 第7回：フィードバック① 第8回：受講生の発表② 第9回：フィードバック② 第10回：受講生の発表③ 第11回：フィードバック③ 第12回：まとめと復習テスト 第13回：グループ発表と質疑応答 第14回：プレゼンテーションの技法とレポート作成について 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	しっかり予習をして授業に臨むこと。						
授業方法	講義形式および受講者のプレゼンテーションなどの演習						
評価基準と評価方法	試験（定期テスト・復習テスト7割）とプレゼンテーションなどの受講状況が3割の総合評価。						
履修上の注意	途中入退室・電源を切らない携帯電話は厳禁です。マナーを守った受講態度を期待します。						
教科書	『モダン・ファミリー』 角山照彦・Simon Capper 著 松柏社 978-4-88198-708-7						
参考書	『ビデオで女性学』 井上輝子ほか著、有斐閣 その他、参考文献を授業中に指示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション特論B/Special Lecture on Communication St						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバ-	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画で学ぶ英語と文化：「家族」と文化について						
授業の概要	アメリカ3大ネットワークの1つであるABCで2009年から放送されている人気番組『モダン・ファミリー』を観ながら、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力の養成を目標とします。 また、受講生自身が選んだ映画を通して「家族」と文化について理解を深め、発表力を養うことも目指します。						
到達目標	英語圏の映画を通じて、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力を養うことができる。 「家族」と文化について理解を深め、発表力を養うことができる。						
授業計画	第1回：Unit 6 情報を聞き出すための表現 第2回：Unit 7 相手の様子を尋ねるための表現 第3回：Unit 8 話題を変えるための表現 第4回：Unit 9 提案するための表現 第5回：Unit 10 依頼を断るための表現 第6回：受講生の発表① 第7回：フィードバック② 第8回：受講生の発表② 第9回：フィードバック② 第10回：復習テストと質疑応答 第11回：受講生の発表③ 第12回：ディスカッション 第13回：グループ発表 第14回：プレゼンテーションの技法とレポート作成について 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	しっかり予習をして授業に臨むこと。						
授業方法	講義形式および受講者のプレゼンテーションなどの演習						
評価基準と評価方法	試験（定期テスト・復習テスト7割）とプレゼンテーションなどの受講状況が3割の総合評価。						
履修上の注意	途中入退室・電源を切らない携帯電話は厳禁です。マナーを守った受講態度を期待します。						
教科書	『モダン・ファミリー』 角山照彦・Simon Capper 著 松柏社 978-4-88198-708-7						
参考書	『ビデオで女性学』 井上輝子ほか著、有斐閣 その他、参考文献を授業中に指示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ概論A						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	E2105A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	コンピュータで遊ぼう！
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デスクトップまわりをカスタマイズ</li> <li>・ メールの使い方---大学生ならPCのメールを使おう！大学のウェブメールの設定、iPhone での設定など。</li> <li>・ iPhoneを使いこなそう---iPhoneはPCと連携してこそちゃんと使える。</li> <li>・ iTunes を使いこなそう---iTunes は高校生も使ってるけど、ちゃんとした使い方を学ぼう。</li> <li>・ Podcast 知ってる？---これもiTunes の知られざる魅力のひとつです。英語の教材がすごい！</li> <li>・ Let's play GarageBand!--- GarageBandは音楽の部品を組み合わせでオリジナルな音楽を作らせてくれるソフトウェアです。基本操作を学んで音楽を作り、iPhone の着信音にしよう！</li> <li>・ iMovie を活用しよう --- iMovie は写真や動画を組み込んで自分だけのムービーを作ることができるソフトウェアです。iMovie の基本から、応用してマルチメディア英語教材を作ってみよう♪</li> </ul>
到達目標	コンピュータのさわり方から始めて、音楽を作ったり、マルチメディアの英語教材を作ったり --- コンピュータでおしゃれに遊ぼう！。
授業計画	<p>Week 1: Mac に慣れよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デスクトップ、Windows との共通点・相違点 (OSについて)</li> <li>・ ハードウェアとソフトウェア</li> <li>・ 「ディスク」「フォルダ」「ファイル」の扱い</li> </ul> <p>Week 2: メールを設定しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神戸松蔭のウェブメールを活用するための設定</li> </ul> <p>Week 3: iPhoneとiTunes を使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ iPhone を活用するためにはPCのiTunes を使いこなす必要があります</li> </ul> <p>Week 4: iTunes を使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Podcast を活用しよう</li> </ul> <p>Week 5: iTunes を使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Podcast から書き取りの練習</li> </ul> <p>Week 6: Let's Play GarageBand! (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GarageBand の使い方</li> </ul> <p>Week 7: Let's Play GarageBand! (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Create your original music!</li> </ul> <p>Week 8: Let's Play GarageBand! (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GarageBand で作成した音楽をiPhone の着信音に♪</li> </ul> <p>Week 9: マルチメディア英語教材に挑戦しよう(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声教材を編集する</li> </ul> <p>Week 10: マルチメディア英語教材に挑戦しよう(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語教材に使う写真をアレンジする</li> </ul> <p>Week 11: マルチメディア英語教材に挑戦しよう(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声ファイルと写真を組み合わせてムービーにする</li> </ul> <p>Week 12: マルチメディア英語教材に挑戦しよう(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声と画像のタイミングを合わせる</li> </ul> <p>Week 13: マルチメディア英語教材に挑戦しよう(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「共有」→ムービーを書き出す</li> </ul> <p>Week 14: 作品完成！</p> <p>Week 15: まとめと復習</p>
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	日常的にコンピュータを使用する。
授業方法	実習と講義
評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 詳細は教室で説明します。

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・以下の注意を確認するために、1回目の授業には必ず出席すること。</li><li>・このクラスは実習が中心となり、毎回スキルを学ぶので、出席（欠席しないこと）が非常に重要です。</li><li>・欠席すると前のクラスで習ったことがわからないし、それを補っていると授業が止まり、他の受講者にとって迷惑でもあります。</li><li>・課題の提出は出席して説明を聞いた上でやってもらうことです。欠席した授業の課題提出を後で行うことは原則認めません。</li></ul>
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ概論B						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	E2105B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	<p>リスニング教材を選び、その内容に合った背景写真を選びます。それらと音声をiMovieで組み合わせ、テーマ機能、トランジション機能を利用してリスニング教材のムービーにします。</p> <p>英語の意味と発音、リズムをよく考えないとできない作業です。</p> <p>次に、Word を使ってきちんとした英語の文章を書く練習をします。        気をつけるのは次のようなことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英文を書くのに適したフォントを使っているか</li> <li>・ちゃんとパンクチュエーション (punctuation) の規則を守っているか</li> <li>・スタイル機能を活用してちゃんとした文章に。</li> </ul> <p>最後にPowerPointを使ってマルチメディア英語教材を作ります。        効果的な教材の提示方法を考えよう。</p>						
到達目標	この授業では、iMovie を使って英語リスニング教材のムービーを作ることを通して音声と映像のデジタル処理の基礎を学び、同時に英語の総合的な学習にも役立てます。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Mac のデスクトップ、ブラウザ、メールの設定           <ul style="list-style-type: none"> <li>*ファイルの扱いと情報の概念の基礎</li> <li>*メールのなりたちとネットワークの基礎</li> </ul> </li> <li>2. 英語リスニングのムービーを作る(1)           <ul style="list-style-type: none"> <li>*リスニング教材を選び、内容に合った背景写真を選ぶ</li> </ul> </li> <li>3. 英語リスニングのムービーを作る(2)           <ul style="list-style-type: none"> <li>*音声のデジタル・ファイル (mp3) を GarageBandを使って分割する</li> <li>*さまざまなデジタル・メディアについて</li> </ul> </li> <li>4. 英語リスニングのムービーを作る(3)           <ul style="list-style-type: none"> <li>*画像の扱い方</li> </ul> </li> <li>5. 英語リスニングのムービーを作る(4)           <ul style="list-style-type: none"> <li>*iMovie でムービーにつなぎあわせ、テーマ機能で歌詞を書き込む</li> </ul> </li> <li>6. 英語リスニングのムービーを作る(5)           <ul style="list-style-type: none"> <li>*iMovie でムービーにつなぎあわせ、テーマ機能で歌詞を書き込む</li> </ul> </li> <li>7. ムービーを「共有」できるフォーマットに変換、YouTubeに           <ul style="list-style-type: none"> <li>*著作権 (知的財産権) など情報倫理について説明します</li> </ul> </li> <li>8. Word で英語をきちんと書こう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を書くときに使うフォント</li> <li>・英語のパンクチュエーション (punctuation)</li> </ul> </li> <li>9. Word で英語をきちんと書こう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・Podcast の英語教材を書き取ってみよう</li> </ul> </li> <li>10. Word の文書に画像を入れよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・Photoshop で画像をアレンジ♪</li> <li>・CG について</li> </ul> </li> <li>11. PowerPoint を使ってマルチメディア英語教材           <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な単語、表現の提示</li> </ul> </li> <li>12. PowerPoint を使ってマルチメディア英語教材           <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的なテキスト表示</li> <li>・音声も入れてマルチメディア英語教材</li> </ul> </li> <li>13. 人工知能とロボット           <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にことばの処理に関連して</li> </ul> </li> <li>14. ウェブサイトとかんたんプログラミング</li> <li>15. 授業のまとめと復習</li> </ol>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						

評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 詳細は教室で説明します。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・以下の注意を確認するために、1回目の授業には必ず出席すること。</li><li>・このクラスは実習が中心となり、毎回スキルを学ぶので、出席（欠席しないこと）が非常に重要です。</li><li>・欠席すると前のクラスで習ったことがわからないし、それを補っていると授業が止まり、他の受講者にとって迷惑でもあります。</li><li>・課題の提出は出席して説明を聞いた上でやってもらうことです。欠席した授業の課題提出を後で行うことは原則認めません。</li></ul>
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ特論A						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	E2206A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	<p>*iMovie を使って英語の歌のカラオケや歌詞表示のムービーを作ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞の意味をよく考えてふさわしい背景写真を選び、ムービーの素材にします。</li> <li>・ Photoshop を使って写真を加工し、歌詞を書き込みます。</li> <li>・ iMovie を使って画像と音楽をつなぎ合わせ、カラオケまたは歌詞表示のムービーに。</li> </ul> <p>*音声分析 MP3 とは何か？音声をデジタル化することによって、音声分析のソフトを使って、英語の発音の秘密を明らかにすることができます。</p>						
到達目標	コンピュータを使って、英語、そしてことば全体について考える方法を学ぶことができる。 特にマルチメディアとその活用について学ぶことができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. この授業についての全体的な紹介と注意事項</li> <li>2. マルチメディア英語教材のムービーを作る(1) *著作権上問題のない音源を提供し、内容に合った背景写真を選ぶ *あわせて著作権について学びます</li> <li>3. マルチメディア英語教材のムービーを作る(2) *Photoshop で写真を加工し、歌詞を書きます。</li> <li>4. マルチメディア英語教材のムービーを作る(3) *Photoshop による作業続行</li> <li>5. マルチメディア英語教材のムービーを作る(4) *iMovie で画像と音楽をムービーにつなぎあわせませす。</li> <li>6. マルチメディア英語教材のムービーを作る(5) *iMovie で作業続行</li> <li>7. ムービーを「共有」できるフォーマットに変換、提出 *YouTube と著作権について</li> <li>8. MP3 って何？ *MP3のしくみとオーディオ・エディタの活用</li> <li>9. オーディオ・エディタを使って英語教材を編集してみる(1) ・オーディオ・ファイルを分割する</li> <li>10. オーディオ・エディタを使って英語教材を編集してみる(2) ・分割したファイルを利用して書き取りをやってみよう</li> <li>11. オーディオ・エディタで見る英語の発音の秘密(1) ・英語の子音のヒミツにせまろう</li> <li>12. オーディオ・エディタで見る英語の発音の秘密(2) ・英語の二重母音のヒミツ</li> <li>13. 英語の発音をムービーで表現！(1) ・オーディオ・ファイルと写真を組み合わせてムービーをつくろう</li> <li>14. 英語の発音をムービーで表現！(2) ・タイミングを合わせませす</li> <li>15. 授業のまとめ</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						
評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 詳細は教室で説明します。						

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・以下の注意を確認するために、1回目の授業には必ず出席すること。</li><li>・このクラスは実習が中心となり、毎回スキルを学ぶので、出席（欠席しないこと）が非常に重要です。</li><li>・欠席すると前のクラスで習ったことがわからないし、それを補っていると授業が止まり、他の受講者にとって迷惑でもあります。</li><li>・課題の提出は出席して説明を聞いた上でやってもらうことです。欠席した授業の課題提出を後で行うことは原則認めません。</li></ul>
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ特論B						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	E2206B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	<p>Word をちゃんと使って、きれいな英文やレポートを書く練習をします。ちゃんとしたフォントやスタイル機能を使ってきれいな文章を書く、さらに画像を取り込んだり、表機能を活用して文書をきれいに配置するテクニックを学びます。</p> <p>Html の基本を学んできれいなウェブサイトを作る練習をします。Html の基本的なコマンドの使い方、画像やカラーの基本、表を利用した配置、さらにスタイル・ファイルを使ったきれいなサイトを作ります。あわせてウェブサイトのしくみと知的財産権について学びます。Photoshop を使ってロゴなどの素材を作り、音声も取り込んだマルチメディアのサイトを作るところまで学びます。</p>						
到達目標	この授業のポイントは Word とウェブサイト作りです。Word と HTML を学ぶことで、「構造のある文書」の概念を学びます。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の概要について</li> <li>2. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタイル機能を活用してきれいな英文を書く</li> </ul> </li> <li>3. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> <li>・画像を取り込んできれいな文書を作る</li> </ul> </li> <li>4. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> <li>・表機能を活用してきれいな文書を作る</li> </ul> </li> <li>5. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業続行・完成</li> </ul> </li> <li>6. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・エディタのインストールと html の基本</li> <li>・ウェブサイトの規格・概要</li> </ul> </li> <li>7. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・html: リスト、表、リンク</li> </ul> </li> <li>8. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・html: 画像、カラーを使ってみる</li> <li>・知的財産権-使えない画像について</li> </ul> </li> <li>9. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタイル・ファイル (CSS) を使ってみる</li> </ul> </li> <li>10. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタイルの活用</li> </ul> </li> <li>11. ロゴや素材を作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・Photoshop を使ってロゴやボタンなどの素材を作ってみよう</li> </ul> </li> <li>12. ロゴや素材を作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・Photoshop を使って作業続行</li> </ul> </li> <li>13. ウェブサイトに音声を組み込む <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的財産権について注意</li> </ul> </li> <li>14. ウェブサイトに音声を組み込む <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品完成!</li> </ul> </li> <li>15. 授業のまとめ</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						
評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。詳細は教室で説明します。						

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・以下の注意を確認するために、1回目の授業には必ず出席すること。</li><li>・このクラスは実習が中心となり、毎回スキルを学ぶので、出席（欠席しないこと）が非常に重要です。</li><li>・欠席すると前のクラスで習ったことがわからないし、それを補っていると授業が止まり、他の受講者にとって迷惑でもあります。</li><li>・課題の提出は出席して説明を聞いた上でやってもらうことです。欠席した授業の課題提出を後で行うことは原則認めません。</li></ul>
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニング						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバー	E22150
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Introduction. Using Anki. Week 2: Using Praat. How English sounds are made. Week 3: Overview vowels of English Week 4: Overview consonants of English Week 5: Using the phonetic alphabet Week 6: Practice: low vowels, a, u, o Week 7: Practice: 'er' ; word, world, work etc. Week 8: Stress: stressed and unstressed words Week 9: Sentence practice: intonation Week 10: Sentence practice: questions Week 11: Practice: r vs. l Week 12: Practice: clusters with r and l Week 13: Practice: th vs. s, th vs. z Week 14: Practice: s vs. sh before i Week 15: Repeat and review						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
履修上の注意	Regular attendance is required. All assignments must be handed in.						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニング						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバー	E22150
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Introduction. Using Anki. Week 2: Using Praat. How English sounds are made. Week 3: Overview vowels of English Week 4: Overview consonants of English Week 5: Using the phonetic alphabet Week 6: Practice: low vowels, a, u, o Week 7: Practice: 'er' ; word, world, work etc. Week 8: Stress: stressed and unstressed words Week 9: Sentence practice: intonation Week 10: Sentence practice: questions Week 11: Practice: r vs. l Week 12: Practice: clusters with r and l Week 13: Practice: th vs. s, th vs. z Week 14: Practice: s vs. sh before i Week 15: Repeat and review						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
履修上の注意	Regular attendance is required. All assignments must be handed in.						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングA/English Pronunciation A						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバ-	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Introduction. Using Anki. Week 2: Using Praat. How English sounds are made. Week 3: Overview vowels of English Week 4: Overview consonants of English Week 5: Using the phonetic alphabet Week 6: Practice: low vowels, a, u, o Week 7: Practice: 'er' ; word, world, work etc. Week 8: Stress: stressed and unstressed words Week 9: Sentence practice: intonation Week 10: Sentence practice: questions Week 11: Practice: r vs. l Week 12: Practice: clusters with r and l Week 13: Practice: th vs. s, th vs. z Week 14: Practice: s vs. sh before i Week 15: Repeat and review						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
履修上の注意	Regular attendance is required. All assignments must be handed in.						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングA/English Pronunciation A						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバー	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Introduction. Using Anki. Week 2: Using Praat. How English sounds are made. Week 3: Overview vowels of English Week 4: Overview consonants of English Week 5: Using the phonetic alphabet Week 6: Practice: low vowels, a, u, o Week 7: Practice: 'er' ; word, world, work etc. Week 8: Stress: stressed and unstressed words Week 9: Sentence practice: intonation Week 10: Sentence practice: questions Week 11: Practice: r vs. l Week 12: Practice: clusters with r and l Week 13: Practice: th vs. s, th vs. z Week 14: Practice: s vs. sh before i Week 15: Repeat and review						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
履修上の注意	Regular attendance is required. All assignments must be handed in.						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングB/English Pronunciation B						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバー	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Review sound system Week 2: Review phonetic alphabet Week 3: Repeat: r vs. l Week 4: Repeat: th vs. s, th vs. z Week 5: Repeat and review Week 6: Practice: i vs. yi Week 7: Practice: u vs. wu Week 8: Practice: v vs. b Week 9: Repeat and review Week 10: Practice: words ending in n, m, ng Week 11: Practice: words beginning with p, t, k Week 12: Practice: 'can' or 'can' t' Week 13: Practice: word final sounds Week 14: Sentence practice: joining words Week 15: Repeat and review						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
履修上の注意	Regular attendance is required. All assignments must be handed in.						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語プロフェッショナル演習/English Professional Seminar						
担当教員	A. E. Jackson					科目ナンバ-	
学期	通年/Full Year	曜日・時限	月曜2	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	British Studies with the theme "London Life"						
授業の概要	This course aims to familiarize students with various aspects of life in Britain's capital London. Classwork will comprise a series of reading passages accompanied by comprehension questions, listening exercises, vocabulary work and discussion. Students will also view scenes from 2 films set in London as a basis for report writing.						
到達目標	To (a) acquire an understanding of modern British society, and (b) develop all four language skills.						
授業計画	1st semester 1 Introduction / Images of London 2 London People 3 Japan in London 4 Social Class 5 The Royal Family 6 History 7 Review Test 1 / Bend It Like Beckham A 8 Bend It Like Beckham B 9 Bend It Like Beckham C 10 Houses and Gardens 11 Chelsea Flower Show 12 Pub Life 13 Pub Entertainment 14 London Sights 15 Course Summary / Review Test 2			2nd semester 1 Sports and Annual Events 2 The London Year 3 London Style and Fashion 4 London's Markets 5 Crime and Punishment 6 Henry VIII 7 Review Test 3 / Notting Hill A 8 Notting Hill B 9 Notting Hill C 10 The City 11 Gambling 12 Student Life 13 Student Accommodation 14 London's Museums 15 Course Summary / Review Test 4			
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Read and understand textbook articles before class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on 4 tests (80%) and film reports (20%).						
履修上の注意	Students must attend class regularly, participate actively, and complete assignments on time. Students who attend fewer than 2/3 of classes cannot take the final exam.						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語プロフェッショナル演習/English Professional Seminar						
担当教員	清水 陽子					科目ナンバ-	
学期	通年/Full Year	曜日・時限	火曜1	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	通訳者・翻訳者養成のトレーニング方法を活用しての実践的な英語運用能力開発						
授業の概要	<p>通訳・翻訳が出来るようになるには総合的英語・日本語能力がまず必要です。このクラスでは特に英語の4技能を高めるトレーニングを中心に行います。</p> <p>また良い通訳・翻訳を行うには、情報のインプット側としては理解力・情報処理力・情報保持力が必要であり、またアウトプット側としては表現力・迅速な訳出能力・デリバリー等の技術を学んで身につけなくてはなりません。これらの要素を鍛えるトレーニング方法をクラス内で紹介し、実践します。</p> <p>さらに良質な通訳・翻訳をするためには英語・日本語間にある言語的ずれの克服、文化的差異の認知とそれに対する柔軟な対応が求められます。このクラスでは異文化知識と歴史・社会的教養を深める教材や、時事問題を扱った教材を用いて、広範な語彙の獲得と、様々なケースに対応できる即時的応用力を高めます。</p> <p>そしてコミュニケーションのプロとしてに何よりも大切な感受性、双方の気持ち・状況を推し量れる感性を磨く時間としての授業を履修生全員で進めていきたいと思ひます。</p>						
到達目標	英語・日本語間の直訳ではなく、双方の文化・慣習状況をふまえて、訳出する能力が身に付きます。簡単な逐次通訳、翻訳を臆せずできるようになります。						
授業計画	<p>第1回 Unit 1 &amp; 逐次通訳と同時通訳</p> <p>第2回 Unit 1 &amp; ビジネス翻訳と文芸翻訳</p> <p>第3回 Unit 2 &amp; ラギング</p> <p>第4回 Unit 2 &amp; シャドウイング</p> <p>第5回 Unit 3 &amp; プロソディー・リーディング</p> <p>第6回 Unit 3 &amp; 発音矯正</p> <p>第7回 Unit 4 &amp; ミニプレゼンテーション</p> <p>第8回 Unit 4 &amp; リプロダクション</p> <p>第9回 Unit 5 &amp; サイトトランスレイション</p> <p>第10回 Unit 5 &amp; パラフレージング</p> <p>第11回 Unit 6 &amp; デリバリー</p> <p>第12回 Unit 6 &amp; スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>第13回 Unit 7 &amp; スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>第14回 Unit 7 &amp; スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>第15回 質疑 応答と試験</p> <p>第16回 Unit 8 &amp; ビジネス翻訳 英-日</p> <p>第17回 Unit 8 &amp; ビジネス翻訳 日-英</p> <p>第18回 Unit 9 &amp; フォーマル表現 (1) レセプション・パーティー</p> <p>第19回 Unit 9 &amp; フォーマル表現 (2) 会議通訳</p> <p>第20回 Unit 10 &amp; フォーマル表現 (3) 商談</p> <p>第21回 Unit 10 &amp; フォーマル表現 (4) 公演</p> <p>第22回 Unit 11 &amp; ミニプレゼンテーション</p> <p>第23回 Unit 11 &amp; 放送通訳</p> <p>第24回 Unit 12 &amp; 大統領の英語</p> <p>第25回 Unit 12 &amp; 同時通訳下準備</p> <p>第26回 Unit 13 &amp; 同時通訳</p> <p>第27回 Unit 13 &amp; スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション</p> <p>第28回 Unit 14 &amp; スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション</p> <p>第29回 Unit 14 &amp; スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション</p> <p>第30回 質疑 応答と試験</p> <p>尚スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーションの実施回は履修生の人数により多少流動的です。</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	宿題ディクテーションの提出、配布教材の音読復習プレゼンテーション準備などが有ります。スピーチ通訳プレゼンテーションの準備は、主に授業外で行います。						
授業方法	講義と演習 テキスト、配布プリント教材を用いてのトレーニングを組み合わせで行います。 CALL教室にてヘッドセットを使用、ペアを組んでの通訳演習とプレゼンテーション、グループによる討議等バラエティに富んだトレーニングを組み合わせで進めます。						
評価基準と評価方法	平常点20% 提出物20% スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション30% 期末試験30% 前期10回、後期10回以上の出席がないと、受講資格を失います。						

履修上の注意	TOEIC 500点程度以上の人を対象とします。 英語と異文化間コミュニケーションに興味を持ち、積極的に授業に参加して、実用的な英語運用能力を高める意欲のある方を対象とします。 ※質問は授業の前後で受け付けます。
教科書	Developing English fluency through Shadowing シャドーイングで学ぶ英語-インプットとをアウトプットにつなぐ 門田修平 長谷尚弥 氏木道人 ショーン・ホワイト 南雲堂 ISBN978-4-523-17670-1 C0082
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニング						
担当教員	郡司 隆男					科目ナンバ-	E22160
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画を通して英語の音になじむ						
授業の概要	英語の映画を（字幕なしで）理解できるようになることを目標とします。 一本の映画を半年かけて見ることにより、英語の音になれるだけでなく、英語特有の言い回し、英語らしい話の展開などについても習熟することを旨とします。特に背景となる文化面（アメリカのハイスクール）の理解も進めたいと思います。						
到達目標	(1) 英語の映画の内容が理解できる。 (2) 英語の字幕を見ながら原語の表現が聞きとれる。 (3) 日本語の字幕を見ながら原語の表現が聞きとれる。 (4) 字幕なしでも原語の表現が聞きとれる。 (5) 映画の文化的背景を理解する。						
授業計画	以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。 第1回 導入、『いまを生きる』(1990)の前半観賞。 第2回 『いまを生きる』の後半観賞、A New Semester「新学期」 第3回 Seize the Day 「“その日をつかめ”」 第4回 An Invitation to Poetry「詩へのいざない」 第5回 Free Thinkers「自由思想家」 第6回 Dead Poets Society「“死せる詩人の会”復活」 第7回 Your Own Voice「自分自身の言葉」 第8回 Poetry Class「詩作の授業」 第9回 Conformity vs. Individuality「順応性と自分らしさ」 第10回 Time for Action「行動の時」 第11回 Father and Son「父と息子」 第12回 A Midsummer Night's Dream「“真夏の夜の夢”」 第13回 The End of the Society「“死せる詩人の会”終結」 第14回 Betrayal「密告」 第15回 Oh, Captain! My Captain!「“船長”への敬意」、まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	予習の段階でスクリプトに目を通しておいた方が理解は深まると思いますが、授業中に集中して聴くことの方が大事です。スクリプトを暗記してこようなどとは思わない方がよいですが、知らない単語があった場合には辞書を引いておいた方がよいでしょう。						
授業方法	まず、はじめの1回半で日本語の字幕付で通して映画を見て、映画の内容を頭に入れてもらいます。2回目の後半からは、ストーリーにそって少しずつ見直し、セリフを聞きとる練習をしていきます。						
評価基準と評価方法	毎週の宿題小テスト（50%）、授業中の取り組み具合（20%）、および学期末の試験ないしレポート（30%）により成績をつけます。						
履修上の注意	辞書を授業中に引いている時間はないと思いますが、いちおうもってきた方がよいでしょう。病気などの理由でやむを得ず欠席する場合には授業前に gunji@shoin.ac.jp に連絡してください。						
教科書	『いまを生きる』---Dead Poets Society 田中長子・本多浩子・山本厚子・Benedict Rowlett・中垣恒太郎 編著 音羽書房鶴見書店 ISBN：978-4-7553-0368-5						
参考書	授業中に指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングA						
担当教員	郡司 隆男					科目ナンバ-	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画を通して英語の音になじむ						
授業の概要	英語の映画を（字幕なしで）理解できるようになることを目標とします。 一本の映画を半年かけて見ることにより、英語の音になれるだけでなく、英語特有の言い回し、英語らしい話の展開などについても習熟することを旨とします。特に背景となる文化面（欧米のファッション業界）の理解も進めたいと思います。						
到達目標	1. 英語の映画の内容が理解できる。 2. 英語の字幕を見ながら原語の表現が聞きとれる。 3. 日本語の字幕を見ながら原語の表現が聞きとれる。 4. 字幕なしでも原語の表現が聞きとれる。 5. 映画の文化的背景を理解する。						
授業計画	以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。 第1回 導入、『ブラダを着た悪魔』（2006）の前半観賞。 第2回 『ブラダを着た悪魔』の後半観賞。 第3回 Job Interview 第4回 First Day on the Job 第5回 Hurricane on the Weekend 第6回 Andy's Makeover 第7回 Andy Meets Christian 第8回 Miranda's Request 第9回 Nate's Birthday 第10回 Andy's Decision 第11回 Breakup with Nate 第12回 The Dream Job 第13回 Announcement at the Party 第14回 Andy's Final Choice 第15回 まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	予習の段階でスクリプトに目を通しておいた方が理解は深まると思いますが、授業中に集中して聴くことの方が大切です。スクリプトを暗記して来ようなどとは思わない方がよいですが、知らない単語があった場合には辞書を引いておいた方がよいでしょう。						
授業方法	まず、はじめの2回で日本語の字幕付で通して映画を見て、映画の内容を頭に入れてもらいます。3回目からはストーリーにそって少しずつ見直し、セリフを聞きとる練習をしていきます。						
評価基準と評価方法	毎週の宿題小テスト（50%）、授業中の取り組み具合（20%）、および学期末の試験ないしレポート（30%）などにより成績をつけます。。						
履修上の注意	辞書は、授業中に引くのではなく、あらかじめ家などで引いてくること。 授業中は集中してください。授業中になるべく一回以上あたるようにします。頻繁にあてていくので、あてられてから教科書のどこをやっているかを聞きかえすことのないように。また、あてられたときに寝ていることがわかった場合には、出席への寄与を半分程度としますので、寝ないように心がけてください。 進行状況、提出すべき課題は、manaba に提示するので、やむを得ず欠席する場合は、授業前にgunji@shoin.ac.jp にメールで連絡するとともに、自分で追いついておき、かつ出された課題を期日までにmanaba で提出すること。授業期間を通じての宿題小テストの比重が大きいので、出し洩れがないように気をつけること。提出しないままほっておいても、学期末に救済措置はとりません。						
教科書	Communicate in English with The Devil Wears Prada---『ブラダを着た悪魔』で学ぶコミュニケーション英語 Aline Brosh McKenna 著 角山照彦・Simon Capper 編著, 松柏社, 2016, ISBN: 9784881987124						
参考書	授業中に指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングA						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	歌を通して英語のリスニングを学ぶ						
授業の概要	英語のポップソングを聴くことを通して、英語のリスニング、さらに表現や文化を学ぶ。						
到達目標	学生が英語の自然な音声現象に慣れ、学生が英語の自然発話を聞き取ることができる。						
授業計画	第1回 イントロ 第2回 Hey Jude 第3回 Top of the world 第4回 I will always love you 第5回 Tom's Diner 第6回 Alone again 第7回 質疑応答と中間試験 第8回 Killing me softly with his song 第9回 How deep is your love 第10回 Ob-la-di ob-la-da 第11回 Your song 第12回 Please Mr. postman 第13回 Happy Xmas 第14回 I'll be there 第15回 質疑応答と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	必ず予習と復習をすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験（中間試験＋期末試験）60%＋授業参加点40%						
履修上の注意	■私語厳禁。注意しても私語を続ける人は教室から退室を命じます。						
教科書	Kanel, Kim R. 「エンジョイ・ポップソング」（成美堂） ISBN: 978-4-7919-4541-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングB						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	自然な英語の聞き取り能力を身につける						
授業の概要	英語のヒットソングを聴きながら、英語自然発話で良く見られる音声現象を学び、その聞き取り方法を学ぶ。同時に現代英語のさまざまな表現を学び、それらが使えるようにする。						
到達目標	学生が英語の聞き取り能力の向上させ、学生が多彩な表現を使うことができる。						
授業計画	第1回 イントロ 第2回 Complicated 第3回 S. O. S. 第4回 You are not alone 第5回 Don't wanna lose you 第6回 How crazy are you? 第7回 質疑応答と中間試験 第8回 Sunday morning 第9回 I want it that way 第10回 Suddenly I see 第11回 How am I supposed to live without you? 第12回 Save the best for last 第13回 Last Christmas 第14回 Torn 第15回 質疑応答と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	必ず予習と復習をすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験2回（60%）＋授業参加（40%）						
履修上の注意	私語厳禁。繰り返し私語を注意された学生は、直ちに教室からの退室を命じます。						
教科書	角山照彦・Simon Capper 「ヒットソングで学ぶ総合英語」（成美堂） ISBN: 978-4-7919-3387-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英米文学概論A						
担当教員	白川 計子					科目ナンバ-	E2104A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文学とは何か、文学研究とは何か						
授業の概要	この授業では文学とは何か、文学研究とは何かを講義する。娯楽としての読書、教養としての読書から、深く人間や社会について考えるきっかけとしての読書への導入をおこなう。 英米の小説や詩を紹介し、分析の実例を講義する。						
到達目標	(1) 文学テキストを研究対象として注意深く読むことができるようになる。 (2) 課題として与えられた文学テキストに対し、読書感想文ではない、客観的な批評文が書けるようになる。						
授業計画	第1回：文学とは何か、文学批評とは何か 第2回：ジェイムス・ジョイス紹介 第3回：「アラビー」紹介 第4回：「アラビー」鑑賞 第5回：「アラビー」鑑賞と批評 第6回：「アラビー」批評の実践とフィードバック 第7回：シルビア・プラスとテッド・ヒューズ紹 第8回：シルビア・プラスの生涯 第9回：シルビア・プラスの詩の鑑賞と批評介 第10回：テッド・ヒューズの詩の鑑賞と批評 第11回：詩の批評の実践 第12回：レイモンド・カーバー短編小説鑑賞 第13回：レイモンド・カーバー短編小説批評 第14回：作家と社会 第15回：文学批評レポートの書き方指導						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：与えられた作品を読む。（目安とする学習時間：1時間） 授業後学習：批評レポートを完成させる。（目安とする学習時間：3時間程度）						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点（授業中の提出物）50% 最終レポート50%						
履修上の注意	出席を重視する。						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英米文学概論B						
担当教員	白川 計子					科目ナンバ-	E2104B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化テキストとしての英米文学						
授業の概要	この授業では文学を芸術作品としてだけでなく、文化テキストとして読む方法を紹介する。すなわち、文学のある特定の時代の、特定の社会に生きた個人から発声された1つの現象として捉える姿勢を学ぶ。近代から現代の英米の文学作品を紹介し、作品への様々なアプローチについて講義する。文学が、われわれ自身、社会、世界のありようを問い直す力を潜在的にもっているものであることを伝えたい。						
到達目標	(1) 近代から現代にいたる社会と人間観の変容を知る。 (2) その変容が文化表象としての文学テキストにいかんにか反映しているかを理解する。 (3) 現代批評における文学へのアプローチの多様性を理解する。 (4) 文学と批評の社会的価値を理解する。						
授業計画	第1回：ジェイン・オースティン紹介 第2回：「高慢と偏見」鑑賞 第3回：「高慢と偏見」鑑賞と批評の仕方 第4回：「高慢と偏見」批評実践 第5回：D. H. ロレンス紹介 第6回：ロレンス「菊の香り」精読 第7回：ロレンス「菊の香り」精読と批評 第8回：ロレンスの動物詩の鑑賞と批評 第9回：『チャタレイ夫人の恋人』紹介 第10回：フィリップ・ラーキン紹介 第11回：ラーキンの社会詩鑑賞 第12回：『ブリジッド・ジョーンズの日記』紹介 第13回：『ブリジッド・ジョーンズの日記』批評 第14回：時代と作家と作品について 第15回：文学批評のレポートの書き方指導						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：与えられた作品を読む。（目安とする学習時間：1時間） 授業後学習：批評レポートを完成させる。（目安とする学習時間：3時間程度）						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点（授業中の提出物）50%、最終レポート50%						
履修上の注意	出席を重視する。						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	教室英語A						
担当教員	久保田 真紀子					科目ナンバ-	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	英語で指導する上で必要なclassroom Englishやskillsを習得し、それを駆使する。						
授業の概要	この授業は将来何らかの形で英語を教えたいと思う学生にそのskillsを教えることを目標とする。また、指導だけのためではなく、学んだことを日常生活の中でcommunicationの手段として使えるようにする。現場で使える様々なactivityを学び、それを活用、実践していく。						
到達目標	英語で指導することに自信をもつことができる。 英語を学ぶいろいろな年齢層の生徒と楽しくcommunicationできる。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Warm Up・Closing Remarks 第3回 Classroom Commands (Distributing handouts, Group organization) 第4回 Classroom Commands (Moving, Taking Turns) 第5回 Presentation (Starting the class, Ending the class) 第6回 Performance Activities (Songs, Letters, Textbooks) 第7回 Performance Activities (Test, Homework, Story) 第8回 Interactions with ALT 第9回 Games (Sugoroku, Bingo) 第10回 Games (Cards) 第11回 Presentation (One activity, One song) 第12回 Total Physical Response (Movement of hands, arms, and shoulders) 第13回 Total Physical Response (Movement of feet and legs) 第14回 Presentation (Festivals) 第15回 定期試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	毎回の授業で学んだ表現を復習し、次の授業で活用できること。						
授業方法	演習形式の授業なので積極的に授業に参加すること。グループでディスカッションやプレゼンテーションをします。						
評価基準と評価方法	平常点(プレゼンテーション、課題、小テスト)50% 定期試験 50%						
履修上の注意	1. 教員を目指す学生だけでなく、学んできた英語を活用したいと思う学生も受講してください。 2. 授業内で学生同士でdiscussionする機会はたくさんありますが、授業と関係のない私語は厳禁。携帯の使用も厳禁。 3. 遅刻は3回で1回の欠席と見なします。出席は2/3以上ないと定期試験は受けられません。						

教科書	Bright and Early, Classroom English for Teachers of Children Junko Matsuzaki Carreira 南雲堂 ISBN978-4-523-17628-2
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	教室英語B						
担当教員	久保田 真紀子					科目ナンバ-	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	英語で指導する上で必要なclassroom Englishやskillを習得し、それを駆使する。						
授業の概要	この授業は将来何らかの形で英語を教えたいと思う学生にそのskillを教えることを目標とする。また、指導だけのためではなく、学んだことを日常生活の中でcommunicationの手段として使えるようにする。現場で使える様々なactivityを学び、それを活用、実践していく。概要も目的もAと同じですが、Aで学んだことをさらにステップアップするのでAとBを続けて履修して欲しい。						
到達目標	英語で指導をすることに自信をもつことができる。 英語を学ぶいろんな年齢層の生徒と楽しくcommunicationできる。						
授業計画	第1回 Coloring・Drawing・Making 第2回 Festivals and Events 第3回 School Life, Play 第4回 Sports 第5回 Presentation 第6回 Animals and Insects 第7回 Birds & Creatures Living in the Sea and River (Birds) 第8回 Birds & Creatures Living in the Sea and River (Creatures living in the sea and river) 第9回 Daily Life of Children 第10回 Group Presentation 第11回 Reading in English 第12回 Writing in English 第13回 Telling Stories 第14回 Presentation (15 minute presentation) 第15回 定期試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	毎回の授業で学んだ表現を復習し、次の授業で活用できること。						
授業方法	演習形式の授業なので積極的に授業に参加すること。グループワークやディスカッション、個人でのプレゼンテーションもします。						
評価基準と評価方法	平常点(プレゼンテーション、課題、小テスト) 50% 定期試験 50%						
履修上の注意	1. 教員を目指す学生だけでなく、学んできた英語を活用したいと思う学生も受講してください。 2. 授業内で学生同士でdiscussionする機会はたくさんありますが、授業と関係のない私語は厳禁。携帯の使用も厳禁。 3. 遅刻は3回で1回の欠席と見なします。出席は2/3以上ないと定期試験は受けられません。						

教科書	Bright and Early, Classroom English for Teachers of Children Junko Matsuzaki Carreira 南雲堂 ISBN978-4-523-17628-2
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	予備登録					科目ナンバ-	E01010
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	
授業方法	
評価基準と評価方法	
履修上の注意	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	予備登録					科目ナンバ-	E01010
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	F. Shiobara					科目ナンバ-	E01010
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の修得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	<p>大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って、学習に取り組むことができるようになる。  Students will understand how to use the facilities in Kobe Shoin Women's University.  Students will be able to touch type at an average speed.  Students will review grammar learned in High School and be able to use it in a practical way.</p>						
授業計画	第1回： Orientation, school tour, sending email to teacher 第2回： Course explanation and schedule. Explanation of exam procedure. Touch typing. Textbook units 1-3 Very to be 第3回： Study abroad university introductions. Touch typing. Textbook units 4-5 Present tense 第4回： Library Guidance 第5回： Computer skills, use of Manaba, submitting assignments online. Touch typing. Textbook units 6-7 I don't, Do you? 第6回： Internet search skills. How to search, how to find good sites. Touch typing. Textbook units 8-9 Present continuous 第7回： Introduction to PowerPoint slides. Creating PowerPoint slides on a good place to visit. Touch typing. Textbook units 10-11 simple past tense 第8回： PowerPoint slides creation. Touch typing. Textbook units 12-13 Past continuous 第9回： Touch typing. Textbook units 14-16 Present perfect tense 第10回： Touch typing. Textbook units 17-19 For, since, ago 第11回： Touch typing. Textbook units 20-22 Is done, was done 第12回： Touch typing. Textbook units 23-25 Is being done, has been done 第13回： Touch typing. Textbook units 26-29 Future aspect 第14回： Revision and Final Test 第15回： Review						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Students need to read the textbook and practice skills at home.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Class assignments 70% Final Test 30%						
履修上の注意	Students must attend a minimum of 2/3 of all classes. Students over 30 minutes late will be marked as absent. Students must bring the textbook to every class and complete all assigned homework.						
教科書	Raymond Murphy マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版 (Basic Grammar in Use) Cambridge University Press ISBN-13: 978-4889967654						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバ	E01010
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の修得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	<p>大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って、学習に取り組むことができるようになる。  Students will understand how to use the facilities in Kobe Shoin Women's University.  Students will be able to touch type at an average speed.  Students will review grammar learned in High School and be able to use it in a practical way.</p>						
授業計画	<p>第1回： Orientation, school tour, sending email to teacher  第2回： Course explanation and schedule. Explanation of exam procedure. Touch typing. Textbook units 1-3 Very to be  第3回： Study abroad university introductions. Touch typing. Textbook units 4-5 Present tense  第4回： Library Guidance  第5回： Computer skills, use of Manaba, submitting assignments online. Touch typing. Textbook units 6-7 I don't, Do you?  第6回： Internet search skills. How to search, how to find good sites. Touch typing. Textbook units 8-9 Present continuous  第7回： Introduction to PowerPoint slides. Creating PowerPoint slides on a good place to visit. Touch typing. Textbook units 10-11 simple past tense  第8回： PowerPoint slides creation. Touch typing. Textbook units 12-13 Past continuous  第9回： Touch typing. Textbook units 14-16 Present perfect tense  第10回： Touch typing. Textbook units 17-19 For, since, ago  第11回： Touch typing. Textbook units 20-22 Is done, was done  第12回： Touch typing. Textbook units 23-25 Is being done, has been done  第13回： Touch typing. Textbook units 26-29 Future aspect  第14回： Revision and Final Test  第15回： Review</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Students need to read the textbook and practice skills at home.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Class assignments 70% Final Test 30%						
履修上の注意	Students must attend a minimum of 2/3 of all classes. Students over 30 minutes late will be marked as absent. Students must bring the textbook to every class and complete all assigned homework.						
教科書	Raymond Murphy マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版 (Basic Grammar in Use) Cambridge University Press ISBN-13: 978-4889967654						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバ-	E01010
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	<p>中学・高校で習得した英文法の復習と英文法知識の定着。</p> <p>英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。</p>						
授業の概要	<p>中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>用例を中心に文法の解説を行い、練習問題で学習内容を整理する。</p>						
到達目標	<p>中学・高校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。</p>						
授業計画	<p>第1回：文法 Unit 11 助動詞 Chapter 5-5 夏休み報告レポート</p> <p>第2回：文法 Unit 12 名詞 Chapter 3-3 海外留学の勧め</p> <p>第3回：文法 Unit 13 &amp; 14 形容詞と副詞</p> <p>第4回：文法 Unit 15 動名詞と不定詞</p> <p>第5回：文法 Unit 16 &amp; 17 前置詞</p> <p>第6回：文法 Unit 18 比較 復習テスト</p> <p>第7回：文法 Unit 19 受動態と能動態</p> <p>第8回：文法 Unit 20 接続詞</p> <p>第9回：文法 Unit 21 関係代名詞</p> <p>第10回：文法 Unit 22 関係副詞 復習テスト</p> <p>第11回：文法 Unit 23 話法</p> <p>第12回：文法 Unit 24 仮定法</p> <p>第13回：文法のまとめ</p> <p>第14回：口頭発表演習</p> <p>第15回 まとめと復習テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。</p> <p>事後学習：学習内容を整理・復習する。</p>						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が60%、出席や授業に対する積極性などの平常点が40%の総合評価。						
履修上の注意	十分な予習・復習が必要。						
教科書	<p>『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版</p> <p>『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	郡司 隆男					科目ナンバ-	E01010
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。						
授業計画	第1回：ガイダンス：自己紹介 Chapter 1-1, 1-2 第2回：シラバスを見よう Chapter 1-3 第3回：図書館を使いこなす Chapter 1-4 第4回：スマートデバイス活用（日常編）Chapter 1-5 第5回：相談 Chapter 2 Chapter 3—1課外活動 文法 Unit 1 英語の基本語順 第6回：スタディスキルズ Chapter 4-1 受講の心得 4-2 ノートの取り方 文法 Unit 2 自動詞と他動詞 第7回：スタディスキルズ Chapter 4-3 資料整理技法 文法 Unit 3 二重目的語 第8回：スタディスキルズ Chapter 4-4 スマートデバイス活用（学習編）文法 Unit 4 補語 第9回：スタディスキルズ Chapter 5 理解と表現（音読の勧め・文章表現と作文・デザインことはじめ） 第10回：読書レポート作成 文法 Unit 5 疑問文 Unit 6 否定形 第11回：リサーチ（レポート作成手順・グラフ）Chapter 6 文法 Unit 7 現在形と現在進行形 第12回：口頭発表演習 Chapter 6-3 文法 Unit 8 過去形 第13回：口頭発表演習 文法 Unit 9 完了形 第14回：Chapter 5-5 夏休み予定レポート 文法 Unit 10 未来形 第15回 まとめと復習テスト						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。 事後学習：学習内容を整理・復習する。						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が50%、出席や授業に対する積極性などの平常点が50%の総合評価。						
履修上の注意	十分な予習・復習が必要。						
教科書	『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版 『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	E01010
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。						
授業計画	第1回：ガイダンス：自己紹介 Chapter 1-1, 1-2 第2回：シラバスを見よう Chapter 1-3 第3回：図書館を使いこなす Chapter 1-4 第4回：スマートデバイス活用（日常編）Chapter 1-5 第5回：相談 Chapter 2 Chapter 3-1課外活動 文法 Unit 1 英語の基本語順 第6回：スタディスキルズ Chapter 4-1 受講の心得 4-2 ノートの取り方 文法 Unit 2 自動詞と他動詞 第7回：スタディスキルズ Chapter 4-3 資料整理技法 文法 Unit 3 二重目的語 第8回：スタディスキルズ Chapter 4-4 スマートデバイス活用（学習編）文法 Unit 4 補語 第9回：スタディスキルズ Chapter 5 理解と表現（音読の勧め・文章表現と作文・デザインことはじめ） 第10回：読書レポート作成 文法 Unit 5 疑問文 Unit 6 否定形 第11回：リサーチ（レポート作成手順・グラフ）Chapter 6 文法 Unit 7 現在形と現在進行形 第12回：口頭発表演習 Chapter 6-3 文法 Unit 8 過去形 第13回：口頭発表演習 文法 Unit 9 完了形 第14回：Chapter 5-5 夏休み予定レポート 文法 Unit 10 未来形 第15回 まとめと復習テスト						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。 事後学習：学習内容を整理・復習する。						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が50%、出席や授業に対する積極性などの平常点が50%の総合評価。						
履修上の注意	オフィスアワー：月曜 13:10~14:40（13号館2階研究室） 教員の連絡先 kenjiro[at]shoin.ac.jp ※[at]を@に置き換える。						
教科書	『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版 『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルインターンシップ1						
担当教員	福田 洋子					科目ナンバ-	E23370
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国内外での各自のキャリアに関連した就業体験を行い、グローバルなビジネスの実態を知る。(国内)						
授業の概要	①社会に出てグローバルに働くことの意義とその働き方について考える。 ②様々な業界・業種の実態や職場のルール、マナーを学び、実際に業務体験実習(インターンシップ)を行う。 ③社会人としての心構えを学び、研修を通して豊かな自己表現力を身につける。自己分析につなげる。 ④自分に適した職業選択ができることや「キャリアでデザイン」ができるようになることを目指す。 ⑤前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力、などの社会人基礎力の必要性について考える。						
到達目標	①就業体験を通じて、自立心を養い、自己のキャリアを主体的に考えて実行できるようになる。 ②働くことの意義を自分なりに定義し、自己PRや志望動機につなげることができる。 ③社会で「グローバルに働く」ことを考えることができる。						
授業計画	【5月19日(土)】事前学習Ⅰ(2限と3限の2コマ=3時間) 1. 実習先の事業内容の確認 2. 実習先への提出書類の作成  【7月7日(土)】事前学習Ⅱ(2限、3限、4限の3コマ=4.5時間) 3. 社会人としての心構え: グローバルな仕事の基本 4. ビジスマナー、実習先での自己紹介の仕方 5. 来客対応、電話対応、など  【夏休み期間中】一企業により異なるが8月、9月中旬の期間の2週間(80時間以上)の実習 6. 企業での現地実習 7. 企業での現地実習 8. 企業での現地実習 9. 企業での現地実習 10. 企業での現地実習 11. 企業での現地実習 12. 企業での現地実習 13. 企業での現地実習  【10月20日(土)】事後学習(2限と3限の2コマ=3時間) 14. 実習報告のまとめと整理 15. 実習報告会: プレゼンテーション						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	①グローバルインターンシップを通して自分は何を得ようとしているのか、参加目的を常に明確にする。 ②日本の文化と他国の文化との違いと共通点を考え、双方を受け入れるようにする。 ③社会で起こる事象に関心を持ち、自分の意見を持つように心がける。ニュースなどで社会の動きを知る。						
授業方法	集中講義(事前学習、企業での実習、事後学習と発表)						
評価基準と評価方法	単位認定科目						
履修上の注意	①2年生終了時に62単位以上履修済みであること。 ②事前学習・事後学習に必ず参加すること。 ③エントリーシート、誓約書を提出すること。 ④申し込み・参加に際し、保証人の同意が得られること。 ⑤心身共に、健康上の問題のないこと。 ⑥希望者多数の場合は選考をすることがある。 ⑦実習中は派遣先の指導に従うこと。 ⑧実習に伴う交通費などは自己負担となる。						
教科書	プリント配付						

参考書	『実践キャリア考 ー体験からキャリアを考えるー』、全国大学実務教育協会編修、実教出版 ISBN978-4-407-33226-1 C3034
-----	---

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルインターンシップ2						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	E23370
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	海外で各自のキャリアに関連した就業体験を行い、実務の実態を知る。						
授業の概要	<p>①社会に出て働くことの意義とその働き方について考える。(アルバイト、フリーター、正社員との違い)</p> <p>②様々な業界・業種の実態や職場のルール、マナーを学び、実際に企業やその他の組織で業務体験実習(インターンシップ)を行う。</p> <p>③社会人としての心構えを学び、体験を通して豊かな自己表現力を身につける(自己分析にもつながる)</p> <p>④自分に適した職業選択ができることやキャリアデザイン(人生設計)が組み立てられるようになることを目指す。</p> <p>⑤前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力といった社会人基礎力の必要性について考える。</p>						
到達目標	<p>①就業体験を通じて、自立心を養い、自己のキャリアを主体的に考えて実行できる。</p> <p>②働くことの意義を自分なりに定義し、自己PRや志望動機につなげることができる</p>						
授業計画	<p>【事前学習 担当：松田 謙次郎】</p> <p>①インターンシップについて考える</p> <p>②最適な就業体験先を決定する。</p> <p>③就業先企業・団体の情報を収集する。</p> <p>④現地で調査する項目を考える。</p> <p>⑤ビジネスマナーについて学ぶ。</p> <p>【実習】</p> <p>各企業・団体での実習、日報執筆</p> <p>【事後学習 担当：松田 謙次郎】</p> <p>プレゼンテーション(報告書のまとめ方)</p> <p>プレゼンテーション～報告会～授業外における学習(準備学習の内容)</p> <p>現地・企業についての知識を摂取する。</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	<p>①グローバルインターンシップを通して、自分は何を得ようとしているのか、参加目的を常に明確にする。</p> <p>②日本の文化、他国の文化の違いと共通点を考え、双方を受け入れるようにする。</p> <p>③社会で起こる事象に関心を持ち、自分の意見を持つように心がける。ニュースなどを見る。</p>						
授業方法	集中講義(事前学習、企業での実習、事後学習)						
評価基準と評価方法	事前・事後レポート(20%)、プレゼンテーション(20%)、学習態度、研修先での評価、などの総合評価(60%)						
履修上の注意	<p>①2年生で62単位以上履修済みであること。</p> <p>②事前学習・事後学習に必ず参加すること。</p> <p>③エントリーシート、誓約書を提出すること。</p> <p>④申し込み・参加に際し、保証人の同意が得られること。</p> <p>⑤心身共に、健康上の問題のないこと。</p> <p>⑥希望者多数の場合は選考をすることがある。</p> <p>⑦自習中は派遣先の指導に従うこと。</p> <p>⑧実習に伴う交通費などは自己負担となる。</p>						
教科書	プリント配付						
参考書	随時紹介する						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルコミュニケーション演習／Global Communication Seminar						
担当教員	S. Bibby					科目ナンバ-	
学期	通年／Full Year	曜日・時限	水曜3	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	Culture and Intercultural Communication: UK and Japan						
授業の概要	<p>Semester one offers theoretical background to inform class discussions comparing cultures and languages. Ways to analyse cultures are provided as tools to help us see and understand differences and similarities.</p> <p>Semester two offers more direct comparisons between aspects of UK and Japanese cultures</p> <p><b>** NOTE: Course is taught entirely in English **</b></p>						
到達目標	<p>Students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* learn about Britain through an examination of a great number of different aspects of British people and their culture(s).</li> <li>* reflect on the similarities and differences in cultures and behaviours, and compare and contrast with life here in Japan.</li> <li>* write, discuss and present about these different cultural aspects</li> </ul>						
授業計画	<p>This is a rough plan, considering general interests. This is tentative, and is likely to change.</p> <p>SEMESTER 1</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Getting started, course introductions.</li> <li>2. Aspects of culture (1) Understanding the term 'culture' (and 'interculture')</li> <li>3. Aspects of culture (2) Symbols and events J/E</li> <li>4. Aspects of culture (3) Icons, artifacts, popular music J/E</li> <li>5. Aspects of culture (4) Famous people J/E</li> <li>6. Aspects of culture (5) Festivals, beliefs, religions J/E</li> <li>7. Review activities and interim assessment</li> <li>8. Group Presentations (1) Research, prepare about 1-5 above</li> <li>9. Group Presentations (2) Present</li> <li>10. Analyzing cultures: Hofstede, Hall</li> <li>11. Language (1) - What is language? Language and communication, human v animal communication</li> <li>12. Language (2) - Language, languages, Sapir-Whorf, English and Japanese</li> <li>13. Language (3) History of English language (1) Research</li> <li>14. Language (4) History of English language (1) Present</li> <li>15. Review activities, assessments</li> </ol> <p>SEMESTER 2</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Semester 1 Review, UK Overview inc. Geography, Flags</li> <li>2. Reviewing aspects of 'culture'</li> <li>3. Politics and Political Systems</li> <li>4. Education Systems</li> <li>5. Law and Justice</li> <li>6. Customs and traditions</li> <li>7. Royal Family / Imperial Family</li> <li>8. Food and drink, leisure time</li> <li>9. British heritage and heritage sites</li> <li>10. Music, Literature, Poetry</li> <li>11. Presentations - research</li> <li>12. Britain in the 21st century</li> <li>13. Christmas celebrations and British &amp; Japanese end-year traditions comparisons</li> <li>14. New Year's resolutions, Comparative customs and celebrations</li> <li>15. Final reviewing, and summary</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	<p>Students are required to do the reading and the preparation and be ready for class. When students are scheduled to present, they must be practiced and ready. Discussions in class are in English only, so students should be ready to use English in all class work and discussion.</p>						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>40% Unit quizzes 30% Presentations 30% Interim and end assessment</p>						

履修上の注意	2/3 attendance required
教科書	Handouts will be provided for semester 1.
参考書	A good dictionary is advisable - hard copy or electronic. In addition to the textbook, handouts will be given and posted online.

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルコミュニケーション演習／Global Communication Seminar						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	
学期	通年／Full Year	曜日・時限	水曜2	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	コミック大調査						
授業の概要	コミックについて、グループで資料を集め、分析し、プレゼンテーションを行います。ポップカルチャーへの理解を深めると同時に、プレゼンテーションの経験を積み、プレゼン技能の習得に努めます。テーマはコミックに関するものであれば、コミックであれば英語でも日本語でも構いませんし、テーマも授業に適当なものであれば何でもOKです。						
到達目標	学生がマンガ文化への理解を深め、きちんとしたプレゼンができる。						
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 授業紹介  第2回 グループ分け、メールの出し方、Manabaの使い方  第3回 プレゼンテーションの方法  第4回 ハンドアウトの書き方  第5回 アイデア発表 1  第6回 アイデア発表 2  第7回 中間発表 1  第8回 中間発表 2  第9回 中間発表 3  第10回 最終発表 1  第11回 最終発表 2  第12回 最終発表 3  第13回 最終発表 4  第14回 最終発表 5  第15回 まとめと復習</p> <p>【後期】</p> <p>第16回 オリエンテーション、グループ分け  第17回 前期のプレゼンの反省  第18回 アイデア発表 1  第19回 アイデア発表 2  第20回 アイデア発表 3  第21回 中間発表 1  第22回 中間発表 2  第23回 中間発表 3  第24回 中間発表 4  第25回 最終発表 1  第26回 最終発表 2  第27回 最終発表 3  第28回 最終発表 4  第29回 最終発表 5  第30回 まとめと復習</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	丹念な発表準備（調査、議論、発表資料作成、リハーサル）						
授業方法	講義と発表						
評価基準と評価方法	プレゼンテーションの出来具合（パワーポイントの出来具合、ハンドアウトの出来具合、発想、発表の4点から評価）50%、および他グループのプレゼンへのコメント50%						
履修上の注意	■私語厳禁。出席をしないとコメント点が取れずに、単位を落とすこととなります。						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルコミュニケーション演習／Global Communication Seminar						
担当教員	山内 啓子					科目ナンバ-	
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜3	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	小学校などで英語を教えることのできる、児童英語教育指導者の能力養成と演習						
授業の概要	<p>本授業では以下の4項を目標にしています：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語能力の向上 (TOEIC 700を目標とします)</li> <li>2. 国際理解教育 (自己啓発と共に、指導者として活用する教材の探究を行います)</li> <li>3. 指導案・教材制作 (作成することで、教材の活用・応用を体得します)</li> <li>4. 模擬授業演習</li> </ol> <p>指導者としての英語の認識を深め、理解度を高めるだけでなく「表現力」をつけます。そのためには単に英語が話せるだけでなく、異文化理解を促し、真の表現者となるべく研鑽を積みます。理論の上に実践を重ね、具体的な能力を身につけるためのゼミです。</p>						
到達目標	小学校の授業サポートができる能力が持てるようになります。また広く異文化を理解する寛容な態度を身につけることができます。						
授業計画	<p>このゼミでは以下のように授業を進めます：</p> <p>前期：教科書＋国際理解・英語絵本研究 後期：教科書＋教案作成・教材制作・模擬授業</p> <p>「前期」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際理解教育の意義Ⅰ (国際理解とは＋世界地理学習)</li> <li>2. 国際理解教育の意義Ⅱ (異文化理解と国際理解＋世界地理学習Ⅱ)</li> <li>3. 教科書unit 1: Essentialism: warm up &amp; vocabulary (世界地理学習確認テスト)</li> <li>4. 教科書unit 1: Essentialism 講読</li> <li>5. 教科書unit 2: Non-essentialism</li> <li>6. 教科書unit 3: Socialization: warm up &amp; vocabulary 異文化理解1. (世界の宗教)</li> <li>7. 教科書unit 3: Socialization 講読 異文化理解2. (宗教と死生観)</li> <li>8. 教科書unit 4. Cultural Identity: warm up &amp; vocabulary 異文化理解3. (宗教とタブー)</li> <li>9. 教科書unit 4. Cultural Identity: 講読 異文化の多面性 (食文化)</li> <li>10. 確認テスト (教科書unit 1-4) 国際理解発表Ⅰ</li> <li>11. 国際理解発表Ⅱ</li> <li>12. 教科書unit 5. Cultural Hybridity</li> <li>13. 教科書unit 6. Stereotypes</li> <li>14. 教科書unit 7. Representation</li> <li>15. まとめと期末テスト</li> </ol> <p>「後期」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>16. 復習と復習テスト</li> <li>17. 指導教案とは 教材制作 (教材と資料)</li> <li>18. 指導教案作成 模擬授業とは</li> </ol>						

授業計画	<p>19. ・模擬授業実践 1</p> <p>20. ・模擬授業実践 2 &amp; 総括と評価</p> <p>21. ・教科書unit 8</p> <p>22. ・教科書unit 9</p> <p>23. ・教科書unit 10</p> <p>24. ・教科書確認テスト(unit 8-10) 改善指導案作成</p> <p>25. ・教科書unit 11 ・改善模擬授業 I</p> <p>26. ・教科書unit 12 ・改善模擬授業 II</p> <p>27. ・教科書unit 13 ・改善模擬授業 III</p> <p>28. ・教科書 (確認テストunit 11-13) ・改善模擬授業 IV</p> <p>29. ・教科書unit 14</p> <p>30. ・総まとめ</p>
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	<p>テキストを事前予習して授業に臨むこと。授業中に訳読はしませんので、注意して下さい。 また国際ニュースもチェックし、世界情勢を把握しておくこと。 国際理解発表や模擬授業に先立っては授業外で十分練習を行うこと。</p>
授業方法	<p>演習形式に時折講義形式が混じります。</p>
評価基準と評価方法	<p>積極的なクラス参加、確認テスト、レポート提出、発表・模擬授業、授業態度等で総合評価を行います。 発表累計40%、テスト類30%、レポート類30%</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指定の教科書外にも教材制作に若干の費用が必要になります。</li> <li>●校外研究を行うことがあります。</li> </ul>
教科書	<p>Exploring Landscapes of Culture &amp; Communication ISBN978-4-88198-739-1</p>
参考書	<p>三浦 孝、弘山 貞男、中嶋 洋一編著『だから英語は教育なんだ』(研究社) ISBN978-4-327-41060-5 江利川 春雄「日本人は英語をどう学んできたか」(研究社) ISBN978-4-327-41068-1 "English for Primary Teachers" Mary Slattery &amp; Jane Willis (Oxford) ISBN 978-0-19-437563-4 その他は授業中に紹介します</p>

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際コミュニケーション研究B/International Communication Studies						
担当教員	A. E. Jackson					科目ナンバ-	E23360
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	仕事場で異文化理解とコミュニケーションスキルを応用すること						
授業の概要	このコースは2年次に海外留学をした学生に向けたもので、学生は英語の4技能を使って課題を達成する作業(task-based work)を個人、そしてグループで行う。各セットの授業では課題に関する情報を集め、ディスカッションを通して、レポートとプレゼンの形での発表を行う。						
到達目標	このコースでは学生は a) 留学中に習得したスキルと知識をさまざまな仕事の場面に応用することができる。 b) 様々な情報源から情報を集め、その情報を考察し、話し合い、レポートまたはプレゼンの形で調査結果を発表することができる。 c) 異文化理解をさらに深め、コミュニケーションスキルを磨くことができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Kobe International: Is Kobe an International City?</li> <li>2. Tour Guide: Karuizawa</li> <li>3. Tour Guide: Poster Presentation</li> <li>4. Women and Work: Work-Life Balance</li> <li>5. Women and Work Movie: Parts One and Two</li> <li>6. Women and Work Movie: Parts Three, Four and Five</li> <li>7. Women and Work Movie: Parts Six and Seven</li> <li>8. Getting a Job Using English: Advertisement / Resume / Application Letter</li> <li>9. Getting a Job Using English: Job Interview Preparation</li> <li>10. Getting a Job Using English: Job Interview Performance</li> <li>11. A New Employee: Directions</li> <li>12. A New Employee: Apartment Information</li> <li>13. An International Chain Store: Tully's / Claire's</li> <li>14. An International Chain Store: PowerPoint Presentation A</li> <li>15. An International Chain Store: PowerPoint Presentation B</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前に授業用資料をよく読み、不明の語彙を調べておくこと。プレゼンの準備を遅れずにすること。						
授業方法	Seminar / Practical						
評価基準と評価方法	成績は2つの短いレポート(40%)、スキット(20%)、2つのプレゼン(40%)から成る。						
履修上の注意	学生は授業に規則的に出席し、授業に積極的に参加し、締め切りを守って課題を提出することが求められる。このクラスを履修登録するためには、学生はTOEIC430点以上、またはそれに相当する能力を有していなければならない。						
教科書	プリント						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際コミュニケーション研究A/International Communication Studies						
担当教員	A. E. Jackson					科目ナンバ-	E23350
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	海外留学を回想すること						
授業の概要	このコースは2年次に海外留学をした学生に向けたもので、学生は英語の4技能を使って課題を達成する作業(task-based work)を個人、そしてグループで行う。各セットの授業では課題に関する情報を集め、ディスカッションを通して、レポートとプレゼンの形での発表を行う。						
到達目標	このコースでは学生は a) 各自の留学経験を振り返り、話し合うことができる。 b) 様々な情報源から情報を集め、その情報を考察し、話し合い、レポートまたはプレゼンの形で調査結果を発表することができる。 c) 異文化理解をさらに深め、コミュニケーションスキルを磨くことができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction</li> <li>2. Daily Life Abroad: Ups and Downs / Homestay Family</li> <li>3. Daily Life Abroad: Cultural Differences</li> <li>4. Daily Life Abroad: Living Abroad - Now &amp; Then</li> <li>5. Culture Shock: Reading, Part One</li> <li>6. Culture Shock: Reading, Part Two</li> <li>7. An Annual Event: Guy Fawkes</li> <li>8. An Annual Event: PowerPoint Preparation</li> <li>9. An Annual Event: PowerPoint Presentation</li> <li>10. Multicultural London Movie: Part One</li> <li>11. Multicultural London Movie: Parts Two and Three</li> <li>12. Multicultural London Movie: Part Four / Bollywood / Sikhism</li> <li>13. Explaining Statistics: Problems, Causes and Solutions</li> <li>14. Explaining Statistics: Poster Preparation</li> <li>15. Explaining Statistics: Poster Presentation</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前に授業用資料をよく読み、不明の語彙を調べておくこと。プレゼンの準備を遅れずにすること。						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	成績は3つの短いレポート(60%)と2つのプレゼン(40%)から成る。						
履修上の注意	学生は授業に規則的に出席し、授業に積極的に参加し、締め切りを守って課題を提出することが求められる。このクラスを履修登録するためには、学生はTOEIC430点以上、またはそれに相当する能力を有していなければならない。						
教科書	プリント						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際秘書概論A						
担当教員	平井 拓己					科目ナンバ-	E2224A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として必要な知識と実務能力の習得(基礎編)						
授業の概要	国際化社会、情報化社会の中で変化するビジネス環境、企業組織において、国際秘書として効果的な役割を果たすために必要な職能、資質、知識、技能などについて学習し、必要な専門的知識と実務能力の習得を目指す。国際秘書の職務に関連する分野は極めて広範囲にわたるが、本科目では、国際秘書の現状、地位、職能、資質、対人関係に関してはコミュニケーション能力、マナー、ホスピタリティ等について考えていく。						
到達目標	国際秘書としての業務の基本的な内容を知り、それに必要な知識を習得する。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション:国際秘書について</li> <li>2. 日本企業の国際化:国際秘書の現状</li> <li>3. 国際企業の組織:国際秘書の役割(1)組織における役職</li> <li>4. 秘書の専門分化:国際秘書の役割(2)組織構造</li> <li>5. 国際企業で求められる知識と技能:国際秘書の職能</li> <li>6. 国際企業で求められる人材:国際秘書の資質</li> <li>7. 国際秘書の職業観とキャリア(1)職業人としての基礎力</li> <li>8. 国際秘書の職業観とキャリア(2)国際企業におけるキャリア</li> <li>9. 国際秘書の言語コミュニケーション能力</li> <li>10. 国際秘書の非言語コミュニケーション能力</li> <li>11. 国際秘書のマナーと接遇</li> <li>12. 国際秘書のプロトコル</li> <li>13. 国際秘書のホスピタリティ</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 質疑応答、期末試験</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	<p>授業前: 経済紙などを読み、企業活動について把握する。</p> <p>授業後: 学んだ内容を復習し、機会を捉えて実践する。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	<p>平常点(毎回提出物があります) 40%</p> <p>中間レポート及び期末試験 60%</p>						
履修上の注意	<p>授業は定刻に開始するため受講者には時間厳守を求めます。遅刻は減点の対象となります。</p> <p>講義中の携帯電話などの使用は厳禁とします。</p> <p>教室内では帽子を脱いで下さい。</p> <p>以上守っていただけない場合及び他の受講者に迷惑となる行為を行う受講生は、退出していただきます。</p>						
教科書	なし(資料を配付します)						
参考書	講義中に指示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際秘書概論B						
担当教員	福田 洋子					科目ナンバ-	E2224B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際社会、情報社会のなかで国際秘書として必要な知識と実務能力の習得(応用編)						
授業の概要	この授業では、国際秘書の知識、技能について考える。国際秘書に求められるのは、国際経営、金融、国際関係に関する専門的知識、商取引に関する法制度についての専門的知識、情報収集能力を含めた情報一般に関する専門的知識などとそれぞれの分野における高い実務能力である。授業では、これらのトピックについてできるかぎり具体例を用いて解説する。						
到達目標	国際秘書としての業務の基本的な内容をもとに、より専門的な知識、技能についての理解を深める。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション:国際秘書について</li> <li>2. 秘書の国際化と専門分化</li> <li>3. 国際秘書に必要な経済、金融についての知識</li> <li>4. 国際秘書に必要な商取引、貿易取引についての知識</li> <li>5. 国際秘書に必要な法制度、規制についての知識</li> <li>6. 国際秘書に必要な事務管理能力</li> <li>7. 国際秘書と異文化理解・プレゼンテーション能力</li> <li>8. 国際秘書とマーケティング</li> <li>9. 国際秘書と情報社会</li> <li>10. 国際秘書のコンプライアンスへの対応</li> <li>11. 国際企業のリスク管理への対応</li> <li>12. 国際秘書の外部メディアへの対応</li> <li>13. 国際秘書の情報収集能力と情報倫理への対応</li> <li>14. 国際秘書とビジネス社会・まとめ</li> <li>15. 質疑応答・期末試験</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前: 経済紙などを読み、企業活動について把握する。 授業後: 学んだ内容を復習し、機会を捉えて実践する。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	講義への出席(毎回提出物があります) 40% レポート及び期末試験 60%						
履修上の注意	授業は定刻に開始するため受講者には時間厳守を求めます。遅刻は減点の対象となります。 講義中の携帯電話などの使用は厳禁とします。 教室内では帽子を脱いで下さい。 以上守っていただけない場合及び他の受講者に迷惑となる行為を行う受講生は、退出していただきます。						
教科書	なし(資料を配付します)						
参考書	講義中に必要に応じて指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスコミュニケーションA/International Business Communicat						
担当教員	S. Bibby					科目ナンバ-	E2327A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	English for International Business Communication						
授業の概要	<p>Within this course students work within a believable, "real-life" English-speaking business environment in the classroom across the whole academic year.</p> <p>Students 'are' new employees at an international company, where you work together in small groups to perform various simulated practical (and fun!) business-type tasks in English.</p> <p>*This course is conducted entirely in English*</p>						
到達目標	<p>Students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* improve their overall communicative ability</li> <li>* learn language expressions to use in multiple business situations</li> <li>* get better at small talk</li> <li>* practice presentations and group project work</li> <li>* learn more about different tasks in different departments in the business environment</li> <li>* learn to better appreciate aspects of 'intercultural' interactions and avoid causing offence</li> </ul>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course admin, icebreakers, Unit 1 Meeting,</li> <li>2. Unit 1 talking about roles</li> <li>3. Unit 2 Customer qs on telephone,</li> <li>4. Unit 2 Asking qs</li> <li>5. Unit 3 Changing orders - dealing on phone, email</li> <li>6. Unit 3 Orders - emails</li> <li>7. Unit 4 Taking messages - take and confirm message</li> <li>8. Unit 4 May I, Giving messages</li> <li>9. Unit 5 Helping customers, explaining products</li> <li>10. Unit 5 Explaining products, Emails about products</li> <li>11. Unit 6 This way - looking after clients</li> <li>12. Unit 6 Small talk, offering refreshments, business emails</li> <li>13. Unit 7 Managing complaints - emails, and person-to-person</li> <li>14. Unit 8 Filling out forms, instruction language</li> <li>15. Review, and Assessments 1 and 2</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Students will need to complete some work outside class, but most of the course is designed to be completed within class time.						
授業方法	Practical Seminar						
評価基準と評価方法	<p>Appropriacy and effectiveness of language and behaviour in a business setting is assessed. In addition, when language homework is set, this is included in the assessment.</p> <p>100% of assessment is thus via class work and homework.</p> <p>There is no final external exam.</p>						
履修上の注意	<p>Students should attend all classes. Missing classes lets your team down.</p> <p>Late (meaning: after the bell rings) = 0.5 absence.</p>						
教科書	<p>Business Encounters by MP Critchley Nanundo 978-4-523-17715-9</p>						
参考書	Use an electronic dictionary (on your smartphone is okay).						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスコミュニケーションB/International Business Communicat						
担当教員	S. Bibby					科目ナンバ-	E2327B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	International Business Communication						
授業の概要	<p>Within this course students work within a believable, "real-life" English-speaking business environment in the classroom across the whole academic year.</p> <p>Students 'are' new employees at an international company, where you work together in small groups to perform various simulated practical (and fun!) business-type tasks in English.</p> <p>*This course is conducted entirely in English*</p>						
到達目標	<p>Students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* improve their overall communicative ability</li> <li>* learn language expressions to use in multiple business situations</li> <li>* get better at small talk</li> <li>* practice presentations and group project work</li> </ul>						
授業計画	<p>1 Unit 9 Welcome to Japan - meeting at airport, small talk  2 Unit 9 Asking about needs, there is/are  3 Unit 10 Background - more small talk, repetition of language  4 Unit 10 Timelines, Start Unit 11 - schedule  5 Unit 11 Explaining schedules  6 Unit 11 - Making schedules - weekend in Kansai  7 Unit 11 Explaining complex schedules  8 Unit 12 Checking guests - hotels, transportation  9 Unit 12 Inviting / refusing invitations  10 Unit 13 Presentations - explaining product  11 Unit 14 Inviting opinions about product  12 Group decisions - products, giving feedback  13 Unit 16 Media strategy - suggesting  14 Unit 16 Discussing social media, connecting with customers  15 Review 9-16, Assesments 3 and 4.</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Some homework preparation will be required, and this should be done.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>Appropriacy and effectiveness of language and behaviour in a business setting is assessed. In addition, when language homework is set, this is included in the assessment. 100% of assessment is thus via class work and homework. There is no final external exam.</p>						
履修上の注意	<p>Students should attend all classes. Missing classes lets your team down. Late (meaning: after the bell rings) = 0.5 absence.</p>						
教科書	<p>Business Encounters  by MP Critchley  Nanundo  978-4-523-17715-9</p>						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスマネジメントA/International Business Management A						
担当教員	平井 拓己					科目ナンバー	E2228A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	We will study in depth the structure of the business firm and the environment in which it operates.						
授業の概要	We will first look at the structure of the economy paying close attention to the issues related to the operation of the firm. From there we will explore the structure and establishment of the firm within its economic environment.						
到達目標	To understand the how and why people establish businesses within their economic framework, with a focus on the HOW TO of setting up a business.						
授業計画	<p>Module One: The Economy</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Economy Overview, The division of Labor</li> <li>2. Trade: history, methods and financing</li> <li>3. Comparative advantage</li> <li>4. Markets: origins and types</li> <li>5. Money: history and uses of money, types of money</li> <li>6. Banking and Finance</li> <li>7. Labor: labor as the fundamental currency of economy</li> <li>8. Regulation: regulatory issues for business</li> </ol> <p>Module Two: The Firm</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. What is a firm: types and purposes</li> <li>10. The role of the firm: Structure and purpose</li> <li>11. Establishing a business: purpose, structure, division of responsibility, paid-in-capital</li> <li>12. Functions of the firm</li> <li>13. Establishing the firm: choosing the structure, arranging capital, determining ownership, naming, registration etc.</li> <li>14. Products and Services: Choosing your product, determining your service</li> <li>15. Financing</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Participants are expected be familiar with current topics regarding the economy and business, by reading newspapers and/or through other sources.						
授業方法	The class will combine lecture, class discussion and group exercises. We will try to add practical exercises where possible. This class will be heavily favored toward English, so ability in English is required. However, Japanese support will be available in class. *I will be available for questions immediately before or after class.						
評価基準と評価方法	Class participation 40% Assignments 10% Final exam (presentation) 50%						
履修上の注意	This class will be heavily favored toward English, so ability in English is required. However, Japanese support will be available in class.						
教科書	Materials will be distributed in class.						
参考書	Will be introduced during classes.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスマネジメントB/International Business Management B						
担当教員	平井 拓己					科目ナンバー	E2228B
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	We will study in greater depth the establishment and operation of the business firm.						
授業の概要	This course will focus on the establishment and operation of the business firm within the global economy.						
到達目標	To understand the how and why people establish businesses within their economic framework, with a focus on the HOW TO of setting up a business.						
授業計画	<p>Module Three: Entrepreneurship v Management</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) What is an entrepreneur? What are the risks? What is the goal? What is the motivation?</li> <li>2) Defining the product: product definition, product costs, competition, and differentiation.</li> <li>3) Selling: What are you selling, prepping for sales, the presentation.</li> <li>4) Making the sales presentation</li> <li>5) Production: costs, timing and the schedule</li> <li>6) Management: personnel, legal, operations.</li> <li>7) Operational issues: human resources, contracts, accounting.</li> </ol> <p>Module Four: Building the Business Plan</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Defining the Product</li> <li>2) Researching the Market</li> <li>3) Defining the Business Model 4) Defining the Business Model 5) Writing the Offering</li> <li>6) Personnel Plan</li> <li>7) Financing the Business</li> <li>8) Presenting the Plan</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Participants are expected be familiar with current topics regarding the economy and business, by reading newspapers and/or through other sources.						
授業方法	The class will combine lecture, class discussion and group exercises. We will try to add practical exercises where possible.						
評価基準と評価方法	Class participation 40% Assignments 10% Final exam (presentation) 50%						
履修上の注意	This class will be heavily favored toward English, so ability in English is required. However, Japanese support will be available in class.						
教科書	Materials will be distributed in class.						
参考書	Will be introduced during classes.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際マナー入門						
担当教員	岡部 浩子					科目ナンバ-	E22300
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	海外の国々の文化・習慣・価値観の違いなどを学びながら、状況に応じて適切なコミュニケーションができ、良い人間関係が築けるようにします。						
授業の概要	国際マナーの基本的な考え方から、挨拶、紹介、異文化理解などの具体的な事柄を学びます。日本人として、また社会人として、恥ずかしくないマナーの習得を目指します。						
到達目標	初対面の人への正しい対応ができること 食事のマナーを習得すること 異なる文化や習慣を理解し、円滑なコミュニケーションを行えること						
授業計画	第1回 Introduction: Mannerとは何か 第2回 挨拶と紹介 第3回 コミュニケーションのマナー 第4回 レディーファースト 第5回 食事のマナー① 概要 第6回 食事のマナー② 洋食 第7回 食事のマナー③ 和食 第8回 お酒のマナー① 歴史 第9回 お酒のマナー② ワインと日本酒 第10回 宗教とマナー 第11回 国際儀礼① 服装 第12回 国際儀礼② 国旗等 第13回 パーティー 第14回 ホームパーティーへの招待, 贈り物 第15回 Review and term exam						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業計画に従い、該当箇所に通しておくこと。						
授業方法	講義形式にて行います。						
評価基準と評価方法	平常点(40%), 試験(小テスト30%, 期末テスト30%)						
履修上の注意	受講者は最低限の受講マナーを守れる者であること。マナーに反する行為が再三見受けられる場合、受講資格を失うことがあります。出席が12回以上ない場合、受講資格を失います。また、授業内で行う小テストを3回受けられない場合も同様とする。*質問は授業の前後で受け付けます。						
教科書	授業時にプリント、資料を配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際マナー入門						
担当教員	岡部 浩子					科目ナンバ-	E22300
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	海外の国々の文化・習慣・価値観の違いなどを学びながら、状況に応じて適切なコミュニケーションができ、良い人間関係が築けるようにします。						
授業の概要	国際マナーの基本的な考え方から、挨拶、紹介、異文化理解などの具体的な事柄を学びます。日本人として、また社会人として、恥ずかしくないマナーの習得を目指します。						
到達目標	初対面の人への正しい応対ができること 食事のマナーを習得すること 異なる文化や習慣を理解し、円滑なコミュニケーションを行えること						
授業計画	第1回 Introduction: Mannerとは何か 第2回 挨拶と紹介 第3回 コミュニケーションのマナー 第4回 レディーファースト 第5回 食事のマナー① 概要 第6回 食事のマナー② 洋食 第7回 食事のマナー③ 和食 第8回 お酒のマナー① 歴史 第9回 お酒のマナー② ワインと日本酒 第10回 宗教とマナー 第11回 国際儀礼① 服装 第12回 国際儀礼② 国旗等 第13回 パーティー 第14回 ホームパーティーへの招待, 贈り物 第15回 Review and term exam						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業計画に従い、該当箇所に目を通しておくこと。						
授業方法	講義形式にて行います。						
評価基準と評価方法	平常点(40%), 試験(小テスト30%, 期末テスト30%)						
履修上の注意	受講者は最低限の受講マナーを守れる者であること。マナーに反する行為が再三見受けられる場合、受講資格を失うことがあります。出席が12回以上ない場合、受講資格を失います。また、授業内で行う小テストを3回受けられない場合も同様とする。*質問は授業の前後で受け付けます。						
教科書	授業時にプリント、資料を配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	コンピューティングA/Computing A						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバ-	E2231A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	インターネットがわかる。ウェブデザインの基本。						
授業の概要	この授業ではコンピュータを使ってインターネット上の情報にアクセスする方法を学びます。このために、まずコンピュータの基本的な働き、オペレーティング・システム(OS)そしてコンピュータ・ネットワークについて理解を深めることにします。それからCGなどのデジタルメディアを使ったウェブページの作成法、スタイルシートを使った情報の効果的な表示法を勉強します。さらにネット上でのあるべき倫理的問題、セキュリティとプライバシーの問題、そしてデジタルコンテンツの著作権の扱い方などにも触れます。授業では基本的概念の理解と実践の両方に重きを置く予定です。						
到達目標	テキストエディタ、グラフィックス・音声・動画ファイルなどを扱うさまざまなソフトウェアに使い慣れる。データのマークアップ、HTML、CSS、そして初歩のウェブプログラミングをマスターする。						
授業計画	第1回： コンピューターの基礎 第2回： ファイルエディターとファイルの種類 第3回： インターネットはなんですか？ 第4回： ブラウザーの種類 第5回： マークアップ言語：HTML/XHTML 第6回： ウェブサイトの計画 第7回： スタイルシート CSS 第8回： イメージの種類 第9回： 画像処理ソフトでイメージの変種 第10回： ユーザインターフェース 第11回： スクリプト 第12回： マルチメディア 第13回： プロジェクト作成・計画 第14回： プロジェクト作成・実現 第15回： プロジェクト作成・完成						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業で習った概念を実際に自分で使って慣れること。授業で始めたプロジェクトは、授業時間外に終わらせる必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	クイズで授業で扱った理論的概念のチェックをします。また、授業で扱ったスキルを使って、プロジェクトを完成させる必要があります。授業参加とクイズは評価の30%、プロジェクトは70%です。						
履修上の注意	積極的な授業参加						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	コンピューティングB/Computing B						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバ-	E2231B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使ったデータ分析。						
授業の概要	この授業ではコンピュータを使ってデータを収集し、組み立て、分析する方法を学びます。まずコンピュータの基本的な働き、オペレーティング・システム (OS)、ハードウェアとソフトウェアの違いなどについて理解を深めます。それからデータ入力、いろいろなフォーマットでの保存法や暗号化法、表計算ソフトやデータベースを使ったデータ分析法を勉強します。さらにネット上でのあるべき倫理的問題、セキュリティとプライバシーの問題、そしてデジタルコンテンツの著作権の扱い方などにも触れることにします。						
到達目標	データ入力と分析のためにさまざまなツールをマスターすること。XMLなどによるデータのマークアップをマスターすること。						
授業計画	第1回： データベースはなんですか？ 第2回： 表計算ソフトを使う 第3回： データの種類 第4回： グラフを作る 第5回： データ分析法 第6回： データ構造 第7回： マークアップ言語：XML 第8回： データベース言語：SQL 第9回： データベースの作成 第10回： データベースからデータを取り出す 第11回： セキュリティとプライバシーの問題 第12回： ウェブの接続 第13回： プロジェクト作成・計画 第14回： プロジェクト作成・実現 第15回： プロジェクト作成・完成						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業で習った概念を実際に自分で使って慣れること。授業で始めたプロジェクトは、授業時間外に終わらせる必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	クイズで授業で扱った理論的概念のチェックをします。また、授業で扱ったスキルを使って、プロジェクトを完成させる必要があります。授業参加とクイズは評価の30%、プロジェクトは70%です。						
履修上の注意	積極的な授業参加						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報処理						
担当教員	松田 泰至					科目ナンバ-	E22320
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータおよび関連技術について知る						
授業の概要	本授業では、情報/コンピュータ関係の試験で問われる事項について基礎的な知識を得ると共に、実際にコンピュータで作業をすることにより(Webページの作成)、具体的に情報処理の過程を理解・習得することを目的とする。						
到達目標	1. コンピュータを用いた情報処理の過程を理解するようになる。 2. 国家試験である情報処理技術者試験の概要がわかる。						
授業計画	第1回 授業概要説明 第2回 コンピュータの基本構造(1) 5大機能 第3回 コンピュータの基本構造(2) 各機能間の連携 第4回 コンピュータネットワークの基礎(1) 階層構造 第5回 コンピュータネットワークの基礎(2) プロトコル 第6回 Web関連技術(1) 概要 第7回 Web関連技術(2) HTML5 第8回 Web関連技術(3) CSS3 第9回 画像処理(1) フォーマット 第10回 画像処理(2) フィルタ 第11回 情報セキュリティ(1) 攻撃事例とその防御策 第12回 情報セキュリティ(2) 情報セキュリティポリシー 第13回 Web関連技術(4) アニメーション基礎 第14回 Web関連技術(5) アニメーション応用 第15回 総まとめ						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習：前回授業内容について復習しておく。 授業後学習：授業中に指示のあった参照サイト等の内容に目を通す。						
授業方法	講義および演習						
評価基準と評価方法	課題(数回)40% 小テスト10% 平常点 50%						
履修上の注意	10回以上の出席がないと受講資格を失います。正当な理由がない場合は遅刻早退を認めません。 教員の連絡先または連絡方法：出講時に対応						
教科書	特に指定しない。適宜プリントを配布する。						
参考書	授業中指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報処理A						
担当教員	松田 泰至					科目ナンバ-	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータおよび関連技術について知る						
授業の概要	本授業では、情報/コンピュータ関係の試験で問われる事項について基礎的な知識を得ると共に、実際にコンピュータで作業をすることにより(Webページの作成)、具体的に情報処理の過程を理解・習得することを目的とする。						
到達目標	1. コンピュータを用いた情報処理の過程を理解するようになる。 2. 国家試験である情報処理技術者試験の概要がわかる。						
授業計画	第1回 授業概要説明 第2回 情報処理技術者試験の概要 第3回 コンピュータの基本構造(1) 5大機能 第4回 コンピュータの基本構造(2) 各機能間の連携 第5回 コンピュータネットワークの基礎(1) 階層構造 第6回 コンピュータネットワークの基礎(2) プロトコル 第7回 コンピュータネットワークの基礎(3) Web関連技術 第8回 チェックおよび復習 第9回 画像処理(1) フォーマット 第10回 画像処理(2) フィルタ 第11回 画像処理(3) 演習 第12回 アニメーション(1) 原理 第13回 アニメーション(2) 演習 第14回 チェックおよび復習 第15回 チェックおよび総まとめ						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習：前回授業内容について復習しておく。 授業後学習：授業中に指示のあった参照サイト等の内容に目を通す。						
授業方法	講義および演習						
評価基準と評価方法	課題(数回)40% 小テスト10% 平常点 50%						
履修上の注意	10回以上の出席がないと受講資格を失います。正当な理由がない場合は遅刻早退を認めません。 教員の連絡先または連絡方法：出講時に対応						
教科書	特に指定しない。適宜プリントを配布する。						
参考書	授業中指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報処理B						
担当教員	松田 泰至					科目ナンバ-	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータの動作原理と現状を知る						
授業の概要	本授業では、情報処理A同様に、単なる座学ではなく実際にコンピュータを操作することにより、具体的に情報処理の過程を理解・習得することを目的とする。特にHTML5およびCSS3を中心としたWeb関連技術について講義する。						
到達目標	1. コンピュータを用いた情報処理の過程を理解するようになる。 2. 国家試験である情報処理技術者試験の概要がわかる。						
授業計画	第1回 授業概要説明 第2回 情報処理技術者試験の概要 第3回 コンピュータシステムの信頼性(1) 稼働率 第4回 コンピュータシステムの信頼性(2) プロトコル上の工夫 第5回 Web関連技術(1) 概要 第6回 Web関連技術(2) HTML5 第7回 Web関連技術(3) CSS3 第8回 チェックおよび復習 第9回 Web関連技術(4) インラインフレーム 第10回 Web関連技術(5) アニメーション基礎 第11回 Web関連技術(6) アニメーション応用 第12回 情報処理演習(1) 情報圧縮 第13回 情報処理演習(2) 音声処理 第14回 チェックおよび復習 第15回 チェックおよび総まとめ						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習：前回授業内容について復習しておく。 授業後学習：授業で指示された参照サイトの内容に目を通す。						
授業方法	講義および演習						
評価基準と評価方法	課題(数回) 40% 小テスト 10% 平常点 50%						
履修上の注意	10回以上の出席がないと受講資格を失います。正当な理由がない場合は遅刻早退を認めません。 教員の連絡先または連絡方法：出講時に対応						
教科書	特に指定しない。適宜プリントを配布する。						
参考書	授業中指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報と倫理A/Computer and Ethics A						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	情報社会を生き抜くために						
授業の概要	<p>インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる方法を考えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールとネット上のエチケット 電子メールはインターネットに関わっていく基本です。ネット上のエチケット、「ネチケット」(netiquette)についての文献を日英語で読み、電子メールのちゃんとした書き方、扱い方、そして電子メールを中心としたネット上のエチケットについて学びます。</li> <li>・スパム・メールについて インターネットを使った迷惑行為「スパム・メール」(迷惑メール)についての資料を読み、その手口、対策について考えます。</li> <li>・フィッシング (phishing) について スパムと似たものですが、もっと悪質な犯罪行為フィッシングについて、資料を読み、それから身を守る方法について考えます。</li> </ul>						
到達目標	インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる						
授業計画	<p>第1週：この授業についての全体的な紹介と注意事項</p> <p>第2週：電子メールとネット上のエチケット ・なぜ「ネチケット」?</p> <p>第3週：電子メールとネット上のエチケット ・メールの仕組みとネチケット</p> <p>第4週：電子メールとネット上のエチケット ・メールのスタイルとネチケット</p> <p>第5週：電子メールとネット上のエチケット ・添付ファイル etc.</p> <p>第6週：日本語のメールに関する問題(1) ・機種依存文字など</p> <p>第7週：日本語のメールに関する問題(2) ・文字コードなど</p> <p>第8週：ソーシャル・ネットワーキング・サイト(SNS) ・SNSの功罪・子供への影響(1)</p> <p>第9週：スパム・メールについて(1) ・スパムメールの歴史</p> <p>第10週：スパム・メールについて(2) ・スパム対策</p> <p>第11週：スパム・メールについて(3) ・メールの未来像?</p> <p>第12週：インターネットの犯罪・迷惑行為 ・Phishingについて(1)</p> <p>第13週：インターネットの犯罪・迷惑行為 ・Phishingについて(1)</p> <p>第14週：授業のまとめと復習テスト</p> <p>第15週：復習テストの返却とレビュー</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	日常的にコンピュータ、インターネットを使用する。						

授業方法	英文のテキスト（プリント）を読みながら講義とディスカッション。
評価基準と評価方法	授業ごとに毎回クイズ（小テスト）をします。小テストの平均点を100点満点で算出して成績とします。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・前の授業で配布されたプリントを持たずに出席することはできません。</li><li>・14回の小テストの成績を平均して授業の成績とします。欠席すると小テストの成績は0点で、全体の成績から約7点減点となります。</li><li>・この授業は日常的にコンピュータやネットワークを利用している人、利用しようと思っている人におすすめです。</li></ul>
教科書	ネット上の文書を使用します。各自プリントアウトするか、自分の端末で読むこと。
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報と倫理B/Computer and Ethics B						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	・情報社会を積極的に生きよう						
授業の概要	<p>インターネット上で提供されている、知的生活に役立つサービスや情報などを紹介し、その活用方法や問題点などについて見ていきます。</p> <p>特に前半では Google に注目し、その歴史、ここが提供しているサービスの内容、企業としてこの会社がどうやってなりたっているのか、などを調べます。</p> <p>次にブログ、ツイッター、ポッドキャストなどインターネット上のメディアについて見ていきます。</p> <p>更に、アメリカ最大のSNS MySpace の実態とその子どもへの影響などについて考えます。</p>						
到達目標	インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる						
授業計画	<p>Week 1: 授業の内容、方法、評価方法など</p> <p>Week 2: Google: その歴史、サーチ・エンジンの特徴</p> <p>Week 3: Google: さまざまなサービス、企業としての Google</p> <p>Week 4: Google: Cloud computing</p> <p>Week 5: Google vs. Yahoo!</p> <p>Week 6: YouTube その歴史</p> <p>Week 7: YouTube のしくみ</p> <p>Week 8: YouTube と社会</p> <p>Week 9: YouTube の規則</p> <p>Week 10: 企業としての YouTube</p> <p>Week 11: Intellectual Property</p> <p>Week 12: Intellectual Property: Copyright</p> <p>Week 13: Intellectual Property: Patent</p> <p>Week 14: 復習と復習テスト</p> <p>Week 15: テスト返却と講評</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	日常的にコンピュータ、インターネットを使用する。						
授業方法	用意している英文の教材をともに読み、ディスカッションします。授業ごとにクイズ(小テスト)をします。						
評価基準と評価方法	授業ごとに毎回クイズ(小テスト)をします。小テストの平均点を100点満点で算出して成績とします。						

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・前の授業で配布されたプリントを持たずに出席することはできません。</li><li>・14回の小テストの成績を平均して授業の成績とします。欠席すると小テストの成績は0点で、全体の成績から約7点減点となります。</li><li>・この授業は日常的にコンピュータやネットワークを利用している人、利用しようと思っている人におすすめです。</li></ul>
教科書	ネット上の文書を使います。前もってプリントアウトするか、自分の端末で読んでください。
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	事前設定科目						
担当教員	予備登録					科目ナンバ-	
学期	通年／Full Year	曜日・時限	火曜1~2	配当学年	1	単位数	0.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	事前設定科目						
担当教員	予備登録					科目ナンバ-	
学期	通年 / Full Year	曜日・時限	金曜1~2	配当学年	1	単位数	0.0

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	
授業方法	
評価基準と評価方法	
履修上の注意	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad PreparationI						
担当教員	予備登録					科目ナンバ-	E21070
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad Preparation I						
担当教員	A. E. Jackson					科目ナンバ-	E21070
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation I は、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、大学で学ぶ英語に対する学生の能力を高めることによって、1年次の終りのTOEIC試験で高成績を上げるためのコースの前半を成す。教室では、TOEICのリスニングとリーディングスキルに焦点を当てる。さらに、松蔭のセメスター・1年留学提携大学がある都市や国の生活を紹介するためのリーディング教材を使用する。						
到達目標	1. 学生のTOEICスコアを上げる 2. 留学先大学の所在地を紹介する。 注: この授業と、1年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができるようになります。						
授業計画	1. Placement / Introduction 2. TOEIC Unit 1 Daily Life / Adelaide, Australia 3. TOEIC Unit 2 Places / Victoria, Canada 4. Aim High 1 - Introducing Yourself 5. TOEIC Unit 3 People / Delaware, US 6. TOEIC Unit 4 Travel / York St. John, UK 7. Aim High 2 - Geography Lesson 8. Review / Vocabulary Test 1 / Course Test 1 9. TOEIC Unit 5 Business / Auckland, NZ 10. TOEIC Unit 6 Office / York, Toronto, Canada 11. Aim High 3 - Arriving 12. TOEIC Unit 7 Technology / Study Abroad Q&A 1 13. TOEIC Unit 8 Personnel / Study Abroad Q&A 2 14. Aim High 4 - People 15. Review / Vocabulary Test 2 / Course Test 2						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEIC試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題（20%）、単語テストx 2（20%）、コーステストx 2（60%）に基づきます						
履修上の注意	クラス分けのために必ず最初の授業に出席すること。 きちんと授業に出て、授業中は積極的に参加し、期限を守って宿題をしなくてはならない。						
教科書	Primary Practice for the TOEIC Listening and Reading Test Yumi Hasegawa et al., Sanshusha, ISBN 978-4-384-33466-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad Preparation I						
担当教員	岡部 浩子					科目ナンバ-	E21070
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC 受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation Iは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、大学で学ぶ英語に対する学生の能力を高めることによって、1年次の終りのTOEIC試験で高成績を上げるためのコースの前半を成す。教室ではTOEICのリスニング、文法、リーディングに焦点を当てる。さらに、松蔭の中・長期留学提携大学がある都市や国の生活を紹介するためのリーディング教材を使用する。						
到達目標	<p>1. 学生のTOEICスコアを上げる。 2. 留学先大学の所在地を紹介する。</p> <p>注：この授業と、1年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができるようになります。</p>						
授業計画	<p>第1回 Placement / Course Introduction 第2回 A: Pre-test (pp.10-19) 第3回 A: Unit 1 Vocabulary, Listening Section, Reading Section (pp.20-27) 第4回 A: Unit 2 Vocabulary, Listening Section (pp.28-31)/ B: Section 1 No. 1-15 第5回 A: Unit 2 Reading Section (pp.32-35)/ B: Section 1 No. 16-30 第6回 A: Unit 3 Vocabulary, Listening Section (pp.36-39)/ B: Section 1 No. 31-45 第7回 A: Unit 3 Reading Section (pp.40-43)/ B: Section 1 No. 46-62</p> <p>第8回 Review and Course Test 1</p> <p>第9回 A: Unit 4 Vocabulary, Listening Section (pp.44-47)/ B: Section 2 No. 1-18 第10回 A: Unit 4 Reading Section (pp.48-53)/ B: Section 2 No. 19-36 第11回 A: Unit 5 Vocabulary, Listening Section (pp.54-57)/ B: Section 2 No. 37-54 第12回 A: Unit 5 Reading Section (pp.58-61)/ B: Section 3 No. 1-15 第13回 A: Unit 6 Vocabulary, Listening Section (pp.62-65)/ B: Section 3 No. 16-30 第14回 A: Unit 6 Reading Section (pp.66-69)/ B: Section 3 No. 31-46</p> <p>第15回 Review and Course Test 2</p> <p>受講生の学習到達度により変更の可能性あり。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEICの練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は課題(20%)、2 x コーステスト(40% x 2 = 80%)に基づきます。						
履修上の注意	<p>クラス分けのために必ず最初の授業に出席すること。 少なくとも3分の2以上の出席が必要で、遅刻は厳禁です。 提出物（課題）は、迅速に提出すること。 ※質問は授業の前後で受け付けます。</p>						
教科書	<p>A: The TOEIC Test Trainer Target 470(Revised Edition), M. Yamaguchi et al, Cengage Learning, ISBN 978-486312-2604 B: A Shorter Course in TOEIC Test Grammar, Naomi Koike, 南雲堂, ISBN 978-452317-5513</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad Preparation I						
担当教員	森岡 高子					科目ナンバ-	E21070
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC 受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation Iは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、大学で学ぶ英語に対する学生の能力を高めることによって、1年次の終りのTOEIC試験で高成績を上げるためのコースの前半を成す。教室ではTOEICのリスニング、グラマー、リーディングに焦点を当てる。さらに、松蔭の中・長期留学提携大学がある都市や国の生活を紹介するためのリーディング教材を使用する。						
到達目標	1. 学生のTOEICスコアを上げる。 2. 留学先大学の所在地を紹介する。 注：この授業と、1年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができるようになります。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Placement, Course Introduction</li> <li>2. A: Pre-test (p.10-p.21)</li> <li>3. A: Unit 1 Vocabulary, Listening Section, Reading Section (p. 22-p.29)</li> <li>4. A: Unit 2 Vocabulary, Listening Section (p. 30-p.33) / B: Section 1 No. 1-15</li> <li>5. A: Unit 2 Reading Section (p. 34-p.37) / B: Section 1 No. 16-30</li> <li>6. A: Unit 3 Vocabulary, Listening Section (p. 38-p.41) / B: Section 1 No. 31-45</li> <li>7. A: Unit 3 Reading Section (p. 42-p.45) / B: Section 1 No. 46-62</li> <li>8. Review &amp; Course Test 1</li> <li>9. A: Unit 4 Vocabulary, Listening Section (p. 46-p.49) / B: Section 2 No. 1-18</li> <li>10. A: Unit 4 Reading Section (p. 50-p.55) / B: Section 2 No. 19-36</li> <li>11. A: Unit 5 Vocabulary, Listening Section (p. 56-p.59) / B: Section 2 No. 37-54</li> <li>12. A: Unit 5 Reading Section (p. 60-p.63) / B: Section 3 No. 1-15</li> <li>13. A: Unit 6 Vocabulary, Listening Section (p.64-67) / B: Section 3 No. 16-30</li> <li>14. A: Unit 6 Reading Section (p. 68-p.71) / B: Section 3 No. 31-46</li> <li>15. Review &amp; Course Test 2</li> </ol> <p>受講生の学習到達度により変更の可能性あり。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEICの練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題（20%）、2 x コーステスト（40% x 2 = 80%）に基づきます。						
履修上の注意	クラス分けのために必ず最初の授業に出席すること。 少なくとも3分の2以上の出席が必要で、遅刻は厳禁です。 提出物（宿題）は、迅速に提出すること。 * 質問は授業の前後で受け付けます。						
教科書	A: The TOEIC Test Trainer Target 470 (Revised Edition), M. Yamaguchi et al, Cengage Learning ISBN 978-486312-2604 B: A Shorter Course in TOEIC Test Grammar, Naomi Koike, 南雲堂, ISBN 978-452317-5513						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad PreparationII						
担当教員	予備登録					科目ナンバ-	E21080
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容・時間）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
履修上の注意							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad PreparationII						
担当教員	A. E. Jackson					科目ナンバ-	E21080
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation IIでは、さらにTOEICのリスニングとリーディングスキルを伸ばすためにTOEIC試験問題を集中的に練習し、受験に備える。又、英語圏の社会での家庭生活を紹介し、学生がホームステイと地域社会での生活にうまく溶け込めるようなアドバイスを与える。						
到達目標	1. 学生のTOEICスコアを上げる：目標 - 600 2. 留学先での生活全般について話し合う。 3. 個々の学生が興味を持つ留学先のことについて調べ、クラス内でプレゼンを行う。 注：この授業と、1年生の後期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができるようになります。						
授業計画	1. TOEIC Unit 9 / Homestay 2. TOEIC Unit 10 / Money 3. Aim High 5 - House Rules 4. TOEIC Unit 11 / Delaware, US5 5. TOEIC Unit 12 / Test Practice (P/C) 6. Test Practice (Q-R/T) / Test Practice (IS/TC) 7. Review / Vocabulary Test 3 / Course Test 3 8. Aim High 6 - Orientation 9. TOEIC Unit 13 / Communications 10. TOEIC Unit 14 11. Aim High 7 - First Lesson Day 12. Listening Review (P/C) / Reading Review (TC) 13. Listening Review (Q-R) / Aim High 8 - Activities (前) 14. Listening Review (T) / Aim High 8 - Activities (後) 15. Review / Vocabulary Test 4 / Course Test 4						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEIC試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題 (10%)、単語テストx 2 (20%)、コーステストx 2 (40%)、TOEICテスト(30%)に基づきます。						
履修上の注意	きちんと授業に出て、授業中は積極的に参加し、期限を守って宿題をしなくてはならない。						
教科書	Primary Practice for the TOEIC Listening and Reading Test Yumi Hasegawa et al., Sanshusha, ISBN 978-4-384-33466-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad PreparationII						
担当教員	岡部 浩子					科目ナンバ-	E21080
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC 受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation IIでは、さらにTOEICのリスニング、文法、リーディングスキルを伸ばすためにTOEIC試験問題を集中的に練習し、受験に備える。又、英語圏の社会での家庭生活を紹介し、学生がホームステイと地域社会での生活にうまく溶け込めるようアドバイスを与える。						
到達目標	<p>1. 学生のTOEICスコアを上げる。目標 470点</p> <p>2. 留学先での生活全般について話し合う。</p> <p>注：この授業と、1年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができるようになります。</p>						
授業計画	<p>第1回 A: Unit 7 Vocabulary, Listening Section (pp. 70-73)/ B: Section 4 No. 1-15</p> <p>第2回 A: Unit 7 Reading Section (pp.74-77)/ B: Section 4 No. 16-30</p> <p>第3回 A: Unit 8 Vocabulary, Listening Section (pp.78-80)/ B: Section 4 No. 31-45</p> <p>第4回 A: Unit 8 Reading Section (pp.81-85)/ B: Section 4 No. 46-60</p> <p>第5回 A: Unit 9 Vocabulary, Listening Section (pp. 86-89)/ B: Section 5 No. 1-13</p> <p>第6回 A: Unit 9 Reading Section (pp.90-93)/ B: Section 5 No. 14-26</p> <p>第7回 A: Unit 10 Vocabulary, Listening Section (pp.94-97)/ B: Section 5 No. 27-39</p> <p>第8回 Review and Course Test 1</p> <p>第9回 A: Unit 10 Reading Section (pp.98-101)/ B: Section 5 No. 40-52</p> <p>第10回 A: Unit 11 Vocabulary, Listening Section (pp.102-105)/ B: Section 5 No. 53-66</p> <p>第11回 A: Unit 11 Reading Section (pp.106-109)/ B: Section 6 No. 1-12</p> <p>第12回 A: Unit 12 Vocabulary, Listening Section (pp.110-112)/ B: Section 6 No. 13-25</p> <p>第13回 A: Unit 12 Reading Section (pp.113-117)/ B: Section 6 No. 26-38</p> <p>第14回 A: Post Test (pp. 118-127)</p> <p>第15回 Review and Course Test 2</p> <p>受講生の学習到達度により変更の可能性あり。</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEICの練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は課題(10%)、2 x コーステスト(30% x 2 = 60%)、TOEICテスト(30%)に基づきます。						
履修上の注意	<p>少なくとも3分の2以上の出席が必要で、遅刻は厳禁です。</p> <p>提出物(課題)は、迅速に提出すること。</p> <p>※質問は授業の前後で受け付けます。</p>						
教科書	<p>A: The TOEIC Test Trainer Target 470(Revised Edition), M. Yamaguchi et al, Cengage Learning, ISBN 978-486312-2604</p> <p>B: A Shorter Course in TOEIC Test Grammar, Naomi Koike, 南雲堂, ISBN 978-452317-5513</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad PreparationII						
担当教員	森岡 高子					科目ナンバ-	E21080
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC 受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation IIでは、さらにTOEICのリスニング、文法、リーディングスキルを伸ばすためにTOEIC試験問題を集中的に練習し、受験に備える。又、英語圏の社会での家庭生活を紹介し、学生がホームステイと地域社会での生活にうまく溶け込めるようアドバイスを与える。						
到達目標	1. 学生のTOEICスコアを上げる:目標 470点 2. 留学先での生活全般について話し合う。 注: この授業と、1年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができます。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. A: Unit 7 Vocabulary, Listening Section (p. 72-p.75) / B: Section 4 No. 1-15</li> <li>2. A: Unit 7 Reading Section (p. 76-p.79) / B: Section 4 No. 16-30</li> <li>3. A: Unit 8 Vocabulary, Listening Section (p. 80-p.82) / B: Section 4 No. 31-45</li> <li>4. A: Unit 8 Reading Section (p. 83-p.87) / B: Section 4 No. 46-60</li> <li>5. A: Unit 9 Vocabulary, Listening Section (p. 88-p.91) / B: Section 5 No. 1-13</li> <li>6. A: Unit 9 Reading Section (p. 92-p.95) / B: Section 5 No. 14-26</li> <li>7. A: Unit 10 Vocabulary, Listening Section (p. 96-p.99) / B: Section 5 No. 27-39</li> <li>8. Review &amp; Course Test 1</li> <li>9. A: Unit 10 Reading Section (p. 100-p.103) / B: Section 5 No. 40-52</li> <li>10. A: Unit 11 Vocabulary, Listening Section (p. 104-p.107) / B: Section 5 No. 53-66</li> <li>11. A: Unit 11 Reading Section (p. 108-p.111) / B: Section 6 No. 1-12</li> <li>12. A: Unit 12 Vocabulary, Listening Section (p. 112-p.114) / B: Section 6 No. 13-25</li> <li>13. A: Unit 12 Reading Section (p. 115-p.119) / B: Section 6 No. 26-38</li> <li>14. A: Post Test (p. 120-p.131)</li> <li>15. Review &amp; Course Test 2</li> </ol> <p>受講生の学習到達度により変更の可能性あり。</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEICの練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題(10%)、2 x コーステスト(30% x 2 = 60%)、TOEICテスト(30%)に基づきます。						
履修上の注意	クラス分けのために必ず最初の授業に出席すること。 少なくとも3分の2以上の出席が必要で、遅刻は厳禁です。 提出物(宿題)は、迅速に提出すること。 * 質問は授業の前後で受け付けます。						
教科書	A: The TOEIC Test Trainer Target 470 (Revised Edition), M. Yamaguchi et al, Cengage Learning ISBN 978-486312-2604 B: A Shorter Course in TOEIC Test Grammar, Naomi Koike, 南雲堂, ISBN 978-452317-5513						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	世界の問題A/Global Issues A						
担当教員	P. J. Mallett					科目ナンバ-	E2313A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Global Issues especially in the developing world						
授業の概要	The purpose of this course is to increase your awareness of current global issues and to improve your ability to communicate about them. We will focus on issues in developing countries and make a special study of Cambodia. You will make regular reports on topics we study and make comparisons with Japan. The course is taught entirely in English though subtitles will be used for films.						
到達目標	This course will develop writing, reading and presentation skills. You will learn to do research about a country you are interested in.						
授業計画	<p>The contents of this course are subject to change and will reflect current events and interest of students.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Introduction</li> <li>2) Developing World News / Refugees</li> <li>3) Refugees: vocabulary review / reading / roleplay</li> <li>4) Refugees: roleplay / reading / writing (conditional sentences)</li> <li>5) Introduction to Cambodia</li> <li>6) Cambodia: 'The Killing Fields'</li> <li>7) 'The Killing Fields'</li> <li>8) 'The Killing Fields' / Landmines</li> <li>9) Landmines. Writing opinion letters to a newspaper</li> <li>10) Big numbers in English. Japan-Cambodia comparisons</li> <li>11) Presentations on countries</li> <li>12) Outsourcing and sweatshops: where are your clothes from?</li> <li>13) Improving labour standards</li> <li>14) Fair Trade</li> <li>15) Review</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	The class is a practical one in which you will read, complete worksheets, participate in group discussions and project work. Sometimes you will have to make presentations in class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There will be no test. 100% of final grade will be based on completion of homework, reports and class presentations.						
履修上の注意	Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course. You will need paper and a file in which to keep all your work.						
教科書	There is no textbook for this course but you must bring a clear file and all the prints you are given to each class.						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	世界の問題B/Global Issues B						
担当教員	P. J. Mallett					科目ナンバ-	E2313B
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Global Issues, especially in the developing world						
授業の概要	<p>The purpose of this course is to increase your awareness of your own and other cultures and to improve your ability to communicate about them. We will focus on issues in developing countries and make special studies of India and Burma. Main topics will be education and issues affecting women.</p> <p>about Japan or Japanese culture. The course is taught entirely in English though subtitles will be used for films.</p>						
到達目標	<p>This course will develop writing, reading and presentation skills. You will learn about developing countries and make comparisons with Japan.</p>						
授業計画	<p>The exact contents are subject to change depending on current events and interests of students.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Introduction to India; education in India</li> <li>2) Case studies from India</li> <li>3) India: Acid Attacks</li> <li>4) Women's education; illiteracy</li> <li>5) Illiteracy. Women's Education / Malala</li> <li>6) Malala: Film 'I am Malala'</li> <li>7) Burma: Introduction</li> <li>8) Rohingya minority</li> <li>9) Preparation of poster presentation topics</li> <li>10) Poster preparation</li> <li>11) Aung San Syu Ki. Film: 'The Lady'</li> <li>12) Film: 'The Lady'</li> <li>13) Burma conclusion.</li> <li>14) Poster presentations</li> <li>15) Review</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	<p>The class is a practical one in which you will read, complete worksheets, participate in group discussions and project work. Sometimes you will have to make presentations in class. You will make a poster presentation in this class and enter the Shoin Contest if you wish.</p>						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>There will be no test. 100% of final grade will be based on completion of homework, reports and class presentations.</p>						
履修上の注意	<p>Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course. You will need paper and a file in which to keep all your work.</p>						
教科書	<p>There is no textbook for this course but you must bring a clear file and all the prints you are given to each class.</p>						
参考書	<p>Please bring a dictionary to class</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育応用A						
担当教員	岩井 麻紀					科目ナンバ-	E2320A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	早期英語教育研究						
授業の概要	第二言語習得理論を学び、それに基づく指導法を研究する。また教材を作成しクラスで模擬授業を行う。						
到達目標	英語教育の背景にある理論を理解する 英語の4技能を高めるための指導に必要な実践的な知識を修得する						
授業計画	第1回：Introduction 第2回：Teaching young learners (1) First language-second language, Starting your lessons in English 第3回：Teaching young learners (2) Organizing your classroom, Ending your lessons 第4回：Teaching young learners (3) Very young learners and young learners 第5回：Listen and do (1) Giving instructions in English, Listening and identifying 第6回：Listen and do (2) Listening and doing-TPR, Listening and performing-miming 第7回：Listen and do (3) Listening and responding games 第8回：Listen and make (1) Listen and colour 第9回：Listen and make (2) Listen and draw 第10回：Listen and make (3) Listen and make 第11回：Speaking with support (1) Using classroom phrases, Saying rhymes and singing songs 第12回：Speaking with support (2) Practising new vocabulary, Playing vocabulary games 第13回：Speaking with support (3) Practicing pronunciation of new sounds 第14回：Review & Final Exam 第15回：Comprehensive Review of the Course						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：授業計画に従って、該当箇所を読むこと（60分） 授業後学習：授業で学んだことをまとめ、復習する（90分）						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	テスト40% 平常点60%（小テスト・課題）						
履修上の注意	授業回数の2/3以上の出席が必要 * 質問は、授業中・授業前後に受け付ける						
教科書	『English for Primary Teachers』 Mary Slattery & Jane Willis, Oxford University Press, ISBN 978019-4375627						
参考書	白井恭弘著『英語教師のための第二言語習得論入門』（大修館書店） ISBN978-4-469-24570-7						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育応用B						
担当教員	岩井 麻紀					科目ナンバ-	E2320B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	早期英語教育研究						
授業の概要	第二言語習得理論を学び、それに基づく指導法を研究する。また教材を作成しクラスで模擬授業を行う。						
到達目標	英語教育の背景にある理論を理解する 英語の4技能を高めるための指導に必要な実践的な知識を修得する						
授業計画	第1回：Speaking more freely (1) Cognitive development 第2回：Speaking more freely (2) Speaking games 第3回：Speaking more freely (3) Children speaking in groups 第4回：Reading in English (1) Beginning reading 第5回：Reading in English (2) Helping Children recognize phrases 第6回：Reading in English (3) Reading Independently 第7回：Writing in English (1) Practicing the alphabet 第8回：Writing in English (2) From speaking to writing 第9回：Writing in English (3) Writing with other children 第10回：Reading and telling stories (1) Telling a new story 第11回：Reading and telling stories (2) Reading a story 第12回：Reading and telling stories (3) Way to retell a story 第13回：Story activities 第14回：Review & Final Exam 第15回：Comprehensive Review of the Course						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：授業計画に従って、該当箇所を読むこと（60分） 授業後学習：授業で学んだことをまとめ、復習する（90分）						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	テスト40% 平常点60%（小テスト・課題）						
履修上の注意	授業回数の2/3以上の出席が必要 * 質問は、授業中・授業前後に受け付ける						
教科書	『English for Primary Teachers』 Mary Slattery & Jane Willis, Oxford University Press, ISBN 978019-4375627						
参考書	白井恭弘著『英語教師のための第二言語習得論入門』（大修館書店） ISBN978-4-469-24570-7						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育基礎A						
担当教員	山内 啓子					科目ナンバ-	E2219A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	小学校における英語教育の理論と実践 A						
授業の概要	小学校の英語教育に関わる歴史的背景と理論について学び、現在の学校教育における実践について広く考察する。また実践として特に英語絵本を取り上げ、広く教材としての適正を検討する。						
到達目標	小学校における英語教育に関わることで次の3点を習得する。 ①基礎的な理論 ②現状理解 ③英語絵本の教材活用						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 小学校英語の歴史的背景</li> <li>3. 早期英語教育の現状と経緯（反対論＋推進論等）</li> <li>4. 学習指導要領</li> <li>5. 『Hi, Friends!』の考察1（通読と教材からの考察）</li> <li>6. 『Hi, Friends!』の考察2（指導の立場からの考察）</li> <li>7. 音声指導の基礎1（母音＋子音）</li> <li>8. 音声指導の基礎2（音のつながり）</li> <li>9. 教材の作成と考察 「ゲストスピーカー招聘予定」</li> <li>10. 英語絵本のいろいろ</li> <li>11. 英語絵本の教材適正</li> <li>12. 英語絵本の音読</li> <li>13. 英語絵本の指導法</li> <li>14. 期末試験＋質疑応答</li> <li>15. まとめ</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	普段から英語の運用力を高めるよう努力すること。 またMRReaderなどを用いて英語の本、絵本を多読したり、YouTubeを活用して英語のこどもの歌やアクティビティに親しむようにすること。						
授業方法	講義と演習。実際に教材を作成したりの作業も含まれます。						
評価基準と評価方法	期末試験50%、課題30%、ディスカッションへの参加など積極的な授業参加状況20%を総合的に評価する。						
履修上の注意	予習復習、課題を誠実にこなすこと。						
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『小学校英語教育法入門』（新編）（2017） 樋口忠彦（代表）他著 研究社 ISBN978-4-327-41098-8</li> <li>2. 『Hi, Friends!』 1 &amp; 2 東京書籍 ISBN978-4-487-25883-3(1) 978-4-487-25884-0(2)</li> </ol>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育基礎B						
担当教員	山内 啓子					科目ナンバ-	E2219B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	小学校における英語教育の理論と実践 B						
授業の概要	前期に引き続き小学校の英語教育の現状と理論について学び、現在の就学前教育や学校教育における実践について広く考察する。 また実践としてオリジナルの教材作成を通して教材の適正や活用法、授業案を学ぶ。						
到達目標	小学校における英語教育に関わることで次の2点の応用ができるようになる。 ①基礎的な理論の実践 ②英語教材作成と応用活用						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションと前期の復習</li> <li>2. 早期英語に関する関連分野（第二言語習得）</li> <li>3. 小学校英語の関連分野（国際理解教育）</li> <li>4. 指導の実践1（「音のつながり」の確認）</li> <li>5. 音声指導の実践2（英語の手遊び歌、童謡の習得）</li> <li>6. 早期英語の授業実践考察1（指導案作成）</li> <li>7. 早期英語の授業実践考察2（模擬授業）</li> <li>8. 早期英語の授業実践考察3（模擬授業と振り返り）</li> <li>9. 英語教材作成1</li> <li>10. 英語教材作成2－活用応用</li> <li>11. 小学校英語の授業実践考察1（自作の絵本を用いた模擬授業）</li> <li>12. 小学校英語の授業実践考察2（自作の絵本を用いた模擬授業と振り返り）</li> <li>13. 模擬授業の総括と英語絵本の検討</li> <li>14. 期末試験＋質疑応答</li> <li>15. まとめ</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	普段から英語の運用力を高めるよう努力すること。 またMRReaderなどを用いて英語の本、絵本を多読したり、YouTubeを活用して英語のこどもの歌やアクティビティに親しむこと。 さらに、English Islandを定期的に活用したり、「まつぼっくり」、「St. Michael's Saturday school」のボランティアに積極的に参加することが望ましい。						
授業方法	講義と演習。教材作成の作業も含まれます。						
評価基準と評価方法	期末試験30%、課題30%、模擬授業など積極的な授業参加状況40%を総合的に評価する。						
履修上の注意	予習復習、課題を誠実にこなすこと。						
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『小学校英語教育法入門』（新編）（2017） 樋口忠彦（代表）他著 研究社 ISBN978-4-327-41098-8</li> <li>2. 『Hi, Friends!』1 &amp; 2 東京書籍 ISBN978-4-487-25883-3(1) 978-4-487-25884-0(2)</li> </ol>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究						
担当教員	S. Bibby					科目ナンバ-	E04100
学期	通年 / Full Year	曜日・時限	金曜4	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	Graduation Thesis						
授業の概要	This course is designed to help you write your Graduation Thesis on any aspect of language, culture, history or literature, particularly (but not necessarily) related to Britain. Topics can be negotiated with the tutor, but should be academic in nature. Several weeks will be spent on improving writing ability, study skills and IT skills necessary for writing a thesis, for example: choosing a topic; effective research; surveying using IT tools, essay structure; using references; and academic writing style.						
到達目標	You will complete a 25-page Graduation Thesis on a subject of your choice.						
授業計画	<p>SEMESTER ONE</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introductions and getting started with Google Drive</li> <li>2. Using reference books and online materials &amp; choosing a suitable topic</li> <li>3. Suitable topics and making an outline plan</li> <li>4. Breaking it down - sub-sections</li> <li>5. Organizing your paper - structure of paper and paragraphs</li> <li>6. Plagiarism (1) Avoiding copying - how to cite and reference (1)</li> <li>7. CHOOSE TOPIC by this date</li> <li>8. Writing tools: using MS Word and Google Drive effectively</li> <li>9. Make and submit outline by this date</li> <li>10. Writing style, common mistakes</li> <li>11. Plagiarism (2) review</li> <li>12. Subtopics - starting the writing</li> <li>13. Group meetings and writing</li> <li>14. Group meetings and writing</li> <li>15. Review and progress check</li> </ol> <p>SEMESTER TWO</p> <p>In this semester we will meet in small groups to discuss the thesis as you write it. You will be given guidance and support.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Meeting to check progress of first chapter of the thesis</li> <li>2. Group tuition meeting</li> <li>3. Group tuition meeting</li> <li>4. Group tuition meeting</li> <li>5. Group tuition meeting</li> <li>6. Group tuition meeting</li> <li>7. Group tuition meeting</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Please come to the first lesson ready to discuss the topics you are interested in. In the first semester you will develop writing skills to get you ready to write. You will then start writing. In the second semester (although it is good to start earlier) you write and share with your supervisor, using the online tool Google Drive. You MUST write regularly.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Your grade is based entirely (100%) on the completed Graduation Thesis.						
履修上の注意	<p>You must attend scheduled appointments, and be prepared for them by doing the planning and writing.</p> <p>*All students MUST share work on Google Drive and MUST attend writing sessions. I DO NOT accept work which has not been shared with me on Google Drive through the year.*</p> <p>Contact: sbibby@shoin.ac.jp Contact and share using GoogleDrive: bibbysimon@gmail.com</p>						

教科書	None. Materials will be provided. Templates are provided for students, for format and length.
参考書	No specific texts required. Students will need to find their own reference material to support their writing - in the library and online. Guidance will be given.

科目区分	英語学科専門教育科目								
科目名	卒業研究								
担当教員	A. E. Jackson					科目ナンバ	E04100		
学期	通年 / Full Year	曜日・時限	金曜2	配当学年	4	単位数	8.0		
授業のテーマ	Graduation Thesis supervision								
授業の概要	This course is designed to help you write your graduation thesis in one of these fields: British Society and Culture / Education / TESOL. This class will meet for several weeks in a classroom for instruction in thesis writing skills. Thereafter, students will meet for individual or group consultation in the teacher's office.								
到達目標	Students will be able to write a 25-page thesis in English in accordance with APA conventions.								
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1st semester  1 In class: Introduction  2 Library orientation  3 Thesis structure  4 Thesis structure  5 Choosing a topic  6 References and plagiarism  7 In teacher's office:  Individual/group consultation  (Deadline for choosing topic)  8 Individual/group consultation  9 Individual/group consultation  10 Individual/group consultation  11 Individual/group consultation  12 Individual/group consultation  (Deadline for thesis outline)  13 Individual/group consultation  14 Individual/group consultation  15 Individual/group consultation </td> <td style="vertical-align: top;"> 2nd semester  1 In class: Introduction  2 In teacher's office:  Individual/group consultation  (Deadline for 1st main chapter)  3 Individual/group consultation  4 Individual/group consultation  5 Individual/group consultation  6 Individual/group consultation  7 Individual/group consultation  (You should have written 10 pages)  8 Individual/group consultation  9 Individual/group consultation  10 Individual/group consultation  11 Individual/group consultation  12 Individual/group consultation  (Your thesis should be almost complete)  13 Final check  Submission of thesis by deadline  14 (Individual consultation)  15 (Individual consultation) </td> </tr> </table>							1st semester 1 In class: Introduction 2 Library orientation 3 Thesis structure 4 Thesis structure 5 Choosing a topic 6 References and plagiarism 7 In teacher's office: Individual/group consultation (Deadline for choosing topic) 8 Individual/group consultation 9 Individual/group consultation 10 Individual/group consultation 11 Individual/group consultation 12 Individual/group consultation (Deadline for thesis outline) 13 Individual/group consultation 14 Individual/group consultation 15 Individual/group consultation	2nd semester 1 In class: Introduction 2 In teacher's office: Individual/group consultation (Deadline for 1st main chapter) 3 Individual/group consultation 4 Individual/group consultation 5 Individual/group consultation 6 Individual/group consultation 7 Individual/group consultation (You should have written 10 pages) 8 Individual/group consultation 9 Individual/group consultation 10 Individual/group consultation 11 Individual/group consultation 12 Individual/group consultation (Your thesis should be almost complete) 13 Final check Submission of thesis by deadline 14 (Individual consultation) 15 (Individual consultation)
1st semester 1 In class: Introduction 2 Library orientation 3 Thesis structure 4 Thesis structure 5 Choosing a topic 6 References and plagiarism 7 In teacher's office: Individual/group consultation (Deadline for choosing topic) 8 Individual/group consultation 9 Individual/group consultation 10 Individual/group consultation 11 Individual/group consultation 12 Individual/group consultation (Deadline for thesis outline) 13 Individual/group consultation 14 Individual/group consultation 15 Individual/group consultation	2nd semester 1 In class: Introduction 2 In teacher's office: Individual/group consultation (Deadline for 1st main chapter) 3 Individual/group consultation 4 Individual/group consultation 5 Individual/group consultation 6 Individual/group consultation 7 Individual/group consultation (You should have written 10 pages) 8 Individual/group consultation 9 Individual/group consultation 10 Individual/group consultation 11 Individual/group consultation 12 Individual/group consultation (Your thesis should be almost complete) 13 Final check Submission of thesis by deadline 14 (Individual consultation) 15 (Individual consultation)								
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Think of general topic and gather materials.								
授業方法	Seminar								
評価基準と評価方法	Your grade will be based on (a) attendance at supervision appointments and meeting deadlines - 20%, and (b) the content and structure of your completed thesis - 80%.								
履修上の注意	You will be given specific appointments and will not have to come every week. Students must meet ALL important deadlines and be on time for ALL appointments. If you are unable to keep an appointment (e.g. because of job hunting, illness) PLEASE LET THE TEACHER KNOW BEFOREHAND. VERY IMPORTANT: When you write your thesis, you can quote from books or websites in a limited way. However, you must not copy long passages directly into your thesis. Students who do so will fail this class!								
教科書	プリントを配布します。								
参考書									

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究						
担当教員	F. Shiobara					科目ナンバ-	E04100
学期	通年 / Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	Graduation Thesis						
授業の概要	This course is designed to help you write a graduation thesis in English on any aspect of English. Several weeks will be spent improving writing ability and discussing the study skills necessary for writing a thesis: how to choose the topic; how to research; references and citations; how to make quotations and give footnotes; academic writing style etc.						
到達目標	You will complete a graduation thesis in academic English on a subject of your choice						
授業計画	<p>FIRST SEMESTER</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Introduction: Finding a topic, taking notes.</li> <li>2) Computer set up.</li> <li>3) How to research, Good websites vs. Bad websites.</li> <li>4) Making a mind map</li> <li>5) Making an outline</li> <li>6) Thesis Statement Deadline</li> <li>7) Outline Deadline</li> <li>8) Individual interviews</li> <li>9) Using MS word Citations and References</li> <li>10) Summary deadline including 2 references.</li> <li>11) Individual interviews</li> <li>12) Introduction Writing workshop</li> <li>13) Introduction deadline Individual Interviews</li> <li>14) Introduction deadline, Individual Interviews</li> <li>15) Writing Workshop Body of Thesis. First 6 pages to be completed during summer vacation.</li> </ol> <p>SECOND SEMESTER</p> <p>In this semester we will meet on an individual basis to discuss your thesis as you write it.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Meeting to check progress of first chapter of your thesis: you will bring 6 pages to this class (Whole class)</li> <li>2) Individual tuition on thesis</li> <li>3) Individual tuition on thesis</li> <li>4) Individual tuition on thesis (10 pages due)</li> <li>5) Individual tuition on thesis (10 pages due)</li> <li>6) Individual tuition on thesis (15 pages due)</li> <li>7) Individual tuition on thesis (15 pages due)</li> <li>8) Individual tuition on thesis (20 pages due)</li> <li>9) Individual tuition on thesis (20 pages due)</li> <li>10) Individual tuition on thesis (Whole thesis first draft due)</li> <li>11) Individual tuition on thesis (Whole thesis first draft due)</li> <li>12) Individual tuition on thesis (Second draft due)</li> <li>13) Individual tuition on thesis (Second draft due)</li> <li>14) Final Draft Submission to teacher</li> <li>15) Hand in by the deadline: 15 January 2018</li> </ol>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	Please come to the first lesson ready to explain the topics you are interested in and why you wish to take this class. In the first semester you will develop writing skills and bring exercises to class to be marked. In the second semester you must write about 4 pages every 2 weeks to be corrected.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Your grade will be based on; a) Attendance for meetings and appointments - 30%. b) The content and structure of your final thesis - 70% There will be a short oral examination on your thesis at the end of January or in early February.						
履修上の注意	You must attend appointments for tuition and prepare for them by writing. Though not required, it will help you if you have taken, or plan to take Advanced Writing A/B. You must complete a 25-page thesis in English by 15 Jan 2018						

教科書	Teacher's Prints
参考書	Dictioary, Japanese -English and English English. Electronic or book.

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究						
担当教員	P. Spaelti					科目ナンバ-	E04100
学期	通年 / Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	Completion of a thesis in English, with a focus on language or a cultural topic						
授業の概要	This course will focus on the skills necessary to write a thesis. These skills include how to write a longer text, how to structure a thesis, and how to research and use supporting material. Other skills will include how to use computer and software tools effectively.						
到達目標	A primary goal is to learn how to state a logical argument, or relevant viewpoint, and how to support this with evidence.						
授業計画	第1回 Self introduction and writing exercise 第2回 On writing a thesis 第3回 Important points in thesis writing 第4回 On using supporting information 第5回 Good and bad uses of supporting information 第6回 Making a plan for writing 第7回 Group or individual meetings 第8回 Group or individual meetings 第9回 Group or individual meetings 第10回 Group or individual meetings 第11回 Group or individual meetings 第12回 Group or individual meetings 第13回 Group or individual meetings 第14回 Group or individual meetings 第15回 End of term meeting 第16回 Presentation of work done so far 第17回 Presentation of work done so far 第18回 Group or individual meetings 第19回 Group or individual meetings 第20回 Group or individual meetings 第21回 Group or individual meetings 第22回 Individual progress meetings 第23回 Individual progress meetings 第24回 Individual progress meetings 第25回 Individual progress meetings 第26回 Individual progress meetings 第27回 Individual progress meetings 第28回 Individual progress meetings 第29回 Individual progress meetings 第30回 Individual progress meetings						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	Students are expected to work independently on their project or thesis as required, and to prepare materials for use in group meetings.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Successful completion of a thesis (100%)						
履修上の注意	Successful completion of a thesis						
教科書							

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバ-	E04100
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜3	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	卒業論文の執筆						
授業の概要	<p>「異文化間コミュニケーション」「比較文化」「メディアと文化」に関連した分野について卒業論文を書く学生対象のクラスです。卒論のテーマにつながる興味・関心の方向は3年生の終わりまでに、既にある程度絞られていることが期待されます。映画や広告などの映像文化や身近なコミュニケーション行動に、どのように文化が反映されているかを考察します。</p> <p>トピック選定まで全員に共通の指導をし、その後は個別指導になります。</p> <p>中間発表を何度か行い、全員の進捗状況を確認します。</p> <p>卒研の予備登録で川中紀子担当の卒論に決定した人は、必ず、第1回の授業に出席してください。最初のオリエンテーションで重要な説明をします。</p>						
到達目標	<p>各自の選んだトピックについて深い思考力とプレゼンテーション力を身につけること。</p> <p>また、ディスカッション、質疑応答を通じて、コミュニケーション力を向上させることを目標とします。</p>						
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション  第2回：トピックの候補について発表  第3回：論文作成のプロセスと計画  第4回：予備調査（図書館）  第5回：予備調査の成果についての発表  第6回：暫定的な要旨の決定  第7回：目次、レジュメの作成  第8回：論旨の発表  第9回：データ収集の方法  第10回：フィールドワークのガイダンス  第11回：中間発表  第12回：英文の論文作法  第13回：英文で一章を書き上げる課題  第14回：課題の提出  第15回：前期の成果のまとめ  第16回：7～9月の調査結果の発表と講評  第17回：参考文献の引用方法  第18回：概要・章立ての最終検討  第19回：フィールド・ワークの発表  第20回：中間発表①  第21回：中間発表②  第22回：中間発表③  第23回：個別指導①  第24回：個別指導②  第25回：個別指導③  第26回：卒業論文 第一版 提出  第27回：卒業論文 第一版 講評  第28回：卒業論文 第二版 提出  第29回：卒業論文 第二版 講評と最終チェック  第30回：卒業論文 最終版提出</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>インタビュー、フィールドワークなどを通じてデータを集めることが必要です。</p> <p>また、多くの文献を講読することが必要です。</p> <p>作成した論文はmanabaにアップし、相互閲覧をしながら指導を進めます。</p> <p>自分の進捗状況を確認しながら進めるように、manabaへの投稿を重視します。</p>						
授業方法	演習と個別指導による						
評価基準と評価方法	発表(3割)・論文(7割)の総合評価						

履修上の注意	大学生生活のまとめとして、卒論に取り組んで下さい。第一回目の授業でオリエンテーションを行いますので、前年度に行った希望調査で川中紀子担当の卒論のクラスに決定した人は必ず出席して下さい。
教科書	『よくわかる卒論の書き方』第2版 著 白井利明著 ISBN 978-4-623-0572-1
参考書	各自の必要に応じて、以下の参考書を論文執筆の際に参照することが望ましい。 授業で、参考文献・参考図書の選び方について説明します。 『英語論文によく使う表現』 崎村耕二（創元社） 『テキスト心理学：心の理解を求めて 橋本憲尚ほか』（ミネルヴァ書房） 『英語論文・レポートの書き方』 上村妙子・大井恭子（研究社）

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究						
担当教員	郡司 隆男					科目ナンバ-	E04100
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜4	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	学術的な論文を書く力を養う						
授業の概要	<p>受講者の関心によって、一つのテーマで論文を書きます。各自、身近なところから関心のある研究テーマを選んで、ある程度の長さのまとまった論文を書いていきます。</p> <p>テーマはいちおう、担当者が理解できるものならばよしとしますが、同じようなテーマばかりになってもつまらないので、担当者とよく相談して決めて下さい。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論文を書くための適切なデータの種類の種類・質が判断できる。</li> <li>2. 収集したデータから意味のある一般化を引き出すことができる。</li> <li>3. 同じテーマに関する先行研究を適切に評価できる。</li> <li>4. 研究成果を論理的な文章にまとめることができる。</li> <li>5. 研究成果を学術的に適切な形にまとめ、発表できる。</li> </ol>						
授業計画	<p>はじめは、教科書の中から適宜トピックを選び、講義形式で進めます。</p> <p>後半は、各自の選んだトピックについて小論文を書いてみて、それを皆で批判的に議論しながら進めます。限られた時間内での口頭発表、ハンドアウト作りの練習もします。</p> <p>以下は大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。</p> <p>第1回 全体の概要の説明、教科書の内容の説明  第2―10回 論理的な文章の書き方に慣れる。並行して、トピックの選定  第8回までに：各自のテーマ（第0案）を面談の上決める  第10回までに：各自のテーマ（第1案）を面談の上決める  第11回 ハンドアウトの作り方説明  第14回 概要口頭発表、ハンドアウト用意  第15回までに：夏休み前の段階での卒論概要(A4 5ページ)提出  第16回 概要返却、講評、各自の夏休みの計画の確認  第17回 論文の形式について説明  第20回までに 卒業論文第0版提出  第21回までに 卒業論文第0版講評  第22回 第2次口頭発表、ハンドアウト用意  第23回 卒業論文第1版提出  第25回 までに 卒業論文第1版講評  第26回 第3次口頭発表、ハンドアウト用意  第27回 卒業論文第2版提出・公表  第28回 卒業論文最終版チェック  1月中旬 卒業論文提出  第29回 卒業論文発表会  第30回 同じく卒業論文発表会</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>卒業研究は教室で教わるものではなく、主に教室外で自主的に調査・執筆し、教室では進行状況のチェック・進行方向の微調整が主となるものです。</p> <p>したがって、基本的には授業外にほとんどの作業をすることになります。</p>						
授業方法	<p>少しずつ構想を練っていき、お互いに発表をしてディスカッションをしていきながら、年末（学年末でなく!）には論文の形にまとめていきます。</p> <p>論文の内容もさることながら、口頭発表のしかた、配布資料の作り方、レポートのまとめ方、文としての形式、コンピュータの適切な使い方、読みやすく形式的にも綺麗な論文の書き方などの、大学院進学や就職後にも役に立つ具体的な技術も身につけることができるようにしたいと思います。</p>						
評価基準と評価方法	日常的な研究への取り組み方の度合（30%以上）、および論文のまとめ具合（70%以下）の総合評価。						
履修上の注意	就活などによる欠席、面談の日程変更には柔軟に応じるので、早目に、LINE か gunji@shoin.ac.jp にメールで連絡をしてください。						
教科書	『新版 論文の教室―レポートから卒論まで』戸田山和久著、NHK出版、2012、ISBN：9784140911945						

参考書	『コピペと言われないレポートの書き方教室』山口裕之著, 新曜社, 2013, ISBN: 9784788513457 その他、授業中に指定します。
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究						
担当教員	白川 計子					科目ナンバー	E04100
学期	通年／Full Year	曜日・時限	水曜4	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	翻訳、論文の執筆						
授業の概要	<p>&lt;論文による卒業研究&gt; 英米の文学または文化を対象とし、卒業論文を完成させる。          &lt;翻訳による卒業研究&gt; 各自が翻訳対象テキストを選び、その翻訳の完成をもって卒業研究とする。翻訳素材は日本で未翻訳の文学、文化、メディアテキストとする。</p>						
到達目標	<p>&lt;論文&gt;          (1) 論理的、且つ客観的な表現力を身につけることができる。          (2) 一年間、計画的に作業を進め、完成度の高い学術論文を書くことができる。</p> <p>&lt;翻訳&gt;          (1) 英語能力をさらに向上させることができる。          (2) 具体的な翻訳に必要な情報、専門知識をもつことができる。          (3) プロとして通用する完成度の高い翻訳を仕上げるることができる。</p>						
授業計画	<p>第1回：卒業研究とは何か。心構えと方針。          第2回：研究対象決定までの指導          第3回：研究対象指導1          第4回：研究対象指導2          第5回：研究対象発表会          第6回：研究テーマ指導1          第7回：研究テーマ指導2          第8回：研究テーマ指導3          第9回：研究テーマ指導4          第10回：研究テーマ指導と発表準備          第11回：研究テーマ発表会          第12回：執筆指導1          第13回：執筆指導2          第14回：執筆指導3          第15回：夏期研究の指導          第16回：後期研究スケジュールの指導          第17回：執筆指導4          第18回：執筆指導5          第19回：執筆指導6          第20回：執筆指導7          第21回：中間発表会1          第22回：中間発表会2          第23回：執筆指導8          第24回：執筆指導9          第25回：執筆指導10          第26回：執筆指導11          第27回：執筆指導12          第28回：執筆指導13          第29回：口頭試問と総括14          第30回：口頭試問と発表指導</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	論文、翻訳に必要な資料の収集と読書、執筆。						
授業方法	論文、翻訳作成指導。口頭発表とディスカッション。						
評価基準と評価方法	論文（翻訳）80%、口頭試問20%						
履修上の注意	第1回目の授業は必ず出席すること。就職活動は支援しますが、原則として毎回出席し、進捗状況を報告すること。後期は、毎回、論文（翻訳）を書き進めて提出すること。						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究						
担当教員	山内 啓子					科目ナンバ-	E04100
学期	通年／Full Year	曜日・時限	金曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	児童英語の指導者養成と、国際理解／異文化理解促進のための研究を行います。						
授業の概要	児童英語教育/国際理解教育 ●国際理解教育／異文化理解を多角的に研究します。 ●その指導者になることを目指し、多角的な視野を養いながら研究を進めます。 ●「児童英語指導者認定資格」を求める学生には実習を課し、職業訓練も併せて行います  これらを総合的にまとめ上げて、卒論に仕上げます。						
到達目標	卒業論文作成を通して、学術論文の書き方を習得する。						
授業計画	前期は種々の参考文献や参考書を読み込む授業を行い、後期からは実習及び卒論作成に合わせて個別指導を行います。  「前期」 1. 参考文献講読 2. 参考文献講読 3. 参考文献講読 4. 参考文献講読 (自主研究発表) 5. 参考文献講読 (自主研究発表) 6. 参考文献講読 (確認テスト) 7. 参考文献講読 (自主研究発表) 8. 参考文献講読 (自主研究発表) 9. 参考文献講読 (自主研究発表) 10. 参考文献講読 (自主研究発表) 11. 参考文献講読 (確認テスト) 12. 参考文献講読 (卒論テーマ仮決定) 13. 参考文献講読 (卒論テーマ仮決定) 14. 卒論中間発表 15. 卒論中間発表  「後期」 16. 復習テスト 17. 卒論指導 (論文の書き方) 18. 卒論指導 (参考文献の検索) 19. 卒論指導 (引用文献と著作権に関して) 20. 卒論指導 (英文サマリーの書き方) 21. 卒論指導 (発表) 22. 卒論指導 (発表) 23. 卒論指導 (発表) 24. 卒論提出 25. 卒論推敲 26. 卒論推敲 27. 英文サマリー推敲 28. 英文サマリー推敲 29. 試問準備 30. 卒論発表準備						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習：参考文献を予習しておくこと。 授業後学習：授業中の学びを整理しノートにまとめる。論文作成作成段階では、課題を準備し、授業後は推敲を行うこと。 St. Michael's International School での実習は11月に行われるので、参加者は日程調整などの準備を行うこと。 「まつぼっくり」「岡本保育園」などにボランティアに行くことも積極的に勧める。						
授業方法	ゼミ形式・個人指導 特に後期には授業外でも予約制で個別指導を随時行います。						

評価基準と 評価方法	100%卒業論文の成果を評価します。
履修上の注意	誠実かつ積極的に研究を進めること。 学外に視察に出かけることもあります。従って、自由になる時間も確保しておくこと。 特に後期は卒論指導・ゼミ行事に対してのアルバイト等学事以外のことでの日程時間優先は認めません。
教科書	その都度指示します。
参考書	授業内で指示します。

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	単語と文のしくみ						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	E22220
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	英語の語と文のしくみとコンピュータの使用						
授業の概要	英語の文を成り立たせているもっとも重要なものは動詞です。動詞のはたらきを理解して文全体のしくみを見渡した上で文を読むことを常に行えば、英語の読解力は飛躍的に向上します。さらに、He depends on his parents. - his dependence on his parents のように、動詞とそれから派生される名詞が、この場合あとに on がくるといった性質を共有していることがよくあります。こういった動詞と名詞の関係を知っていることは、読解力だけでなく語彙力を向上させることにもつながります。この授業では、英語の語と文のしくみを現代の言語学がどのように研究しているか基礎的な考え方を概観し、具体的な用例をインターネット上のコーパスを使って生きたことばの姿を探っていきます。						
到達目標	日本語・英語の語と文のしくみとその背後にある法則性を発見、理解して、語彙力、文法の知識をやしなう。電子辞書、インターネット検索によって情報リテラシーを高める。						
授業計画	第1回：授業の概要説明 第2回：電子辞書とインターネット検索の方法 第3回：語のしくみ 第4回：新造語について 第5回：語形成 (1) 複合語の全体的な問題 第6回：語形成 (2) 複合語の特殊な問題 第7回：語形成 (3) 派生語の全体的な問題 第8回：語形成 (4) 派生語の特殊な問題 (1) 派生語のしくみと接辞 第9回：語形成 (5) 派生語の特殊な問題 (2) 「語の主要部」とは 第10回：語形成 (6) 語形成全体に関わる考え方 第11回：語形成と電子辞書 第12回：語と文の使用とインターネット (1) 検索の方法 第13回：語と文の使用とインターネット (2) 「例外的な文や語」を探そう 第14回：授業のまとめと期末復習テスト 第15回：期末復習テストの講評と復習						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	日常的にコンピュータ、インターネットを使用して英語の文章に親しむ。						
授業方法	講義と課題にもとづく作業をしてもらいます。						
評価基準と評価方法	毎回授業でインターネットのコーパスで検索した結果を、授業で説明する方法に従って分類し、それをレポートとして提出してもらいます。毎回のレポートを10点満点で評価し、その平均点を100点満点で算出したものを授業の成績とします。欠席すればその回のレポートは0点です。						
履修上の注意	文法の説明、検索方法の説明などした上で作業をしてもらいます。欠席する人がいると、その人のために説明を繰り返すなどの必要があり、全体への迷惑となります。欠席はしないこと。14回レポート提出を予定しているので、1回欠席すると約7点減点となります。						
教科書	授業で指示します						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	単語と文のしくみA						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	日本語・英語の語と文のしくみとコンピュータの使用						
授業の概要	英語の文を成り立たせているもっとも重要なものは動詞です。動詞のはたらきを理解して文全体のしくみを見渡した上で文を読むことを常に行えば、英語の読解力は飛躍的に向上します。この授業では、英語の語と文のしくみを現代の言語学がどのように研究しているか基礎的な考え方を概観し、具体的な用例をインターネット上のコーパスを使って生きたことばの姿を探っていきます。						
到達目標	英語の語と文のしくみとその背後にある法則性を発見、理解して、語彙力、文法の知識をやしなう。電子辞書、インターネット検索によって情報リテラシーを高める。						
授業計画	第1回：授業の概要説明 第2回：文のしくみ (1) 語順について 第3回：文のしくみ (2) 日英語の語順 第4回：文のしくみ (3) 文を組み立てる 第5回：文のしくみ (4) 動詞の役割 第6回：文のしくみ (5) 他動詞と自動詞 第7回：文のしくみ (6) いろいろな自動詞 第8回：文のしくみ (7) 受け身文って何？ 第9回：文のしくみ (8) 日本語の受け身文 第10回：文のしくみ (9) 文の中の文 that 節について 第11回：文のしくみ (10) 不定詞を含む文 第12回：文のしくみ (11) 疑問文 第13回：文のしくみ (12) 疑問文と日英語の違い 第14回：授業のまとめと期末復習テスト 第15回：期末復習テストの講評と復習						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	日常的にコンピュータ、インターネットで英文に親しむ。						
授業方法	講義と課題にもとづく作業をしてもらいます。						
評価基準と評価方法	毎回授業でインターネットのコーパスで検索した結果を、授業で説明する方法に従って分類し、それをレポートとして提出してもらいます。毎回のレポートを10点満点で評価し、その平均点を100点満点で算出したものを授業の成績とします。欠席すればその回のレポートは0点です。						
履修上の注意	文法の説明、検索方法の説明などした上で作業をしてもらいます。欠席する人がいると、その人のために説明を繰り返すなどの必要があり、全体への迷惑となります。欠席はしないこと。14回のレポートを予定しているので、1回の欠席で7点ほどの減点となります。						
教科書	教室で指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	単語と文のしくみB						
担当教員	西垣内 泰介					科目ナンバ-	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	英語の語と文のしくみとコンピュータの使用						
授業の概要	英語の文を成り立たせているもっとも重要なものは動詞です。動詞のはたらきを理解して文全体のしくみを見渡した上で文を読むことを常に行えば、英語の読解力は飛躍的に向上します。さらに、He depends on his parents. - his dependence on his parents のように、動詞とそれから派生される名詞が、この場合あとに on がくるといった性質を共有していることがよくあります。こういった動詞と名詞の関係を知っていることは、読解力だけでなく語彙力を向上させることにもつながります。この授業では、英語の語と文のしくみを現代の言語学がどのように研究しているか基礎的な考え方を概観し、具体的な用例をインターネット上のコーパスを使って生きたことばの姿を探っていきます。						
到達目標	日本語・英語の語と文のしくみとその背後にある法則性を発見、理解して、語彙力、文法の知識をやしなう。電子辞書、インターネット検索によって情報リテラシーを高める。						
授業計画	第1回：授業の概要説明 第2回：電子辞書とインターネット検索の方法 第3回：語のしくみ 第4回：新造語について 第5回：語形成 (1) 複合語の全体的な問題 第6回：語形成 (2) 複合語の特殊な問題 第7回：語形成 (3) 派生語の全体的な問題 第8回：語形成 (4) 派生語の特殊な問題 (1) 派生語のしくみと接辞 第9回：語形成 (5) 派生語の特殊な問題 (2) 「語の主要部」とは 第10回：語形成 (6) 語形成全体に関わる考え方 第11回：語形成と電子辞書 第12回：語と文の使用とインターネット (1) 検索の方法 第13回：語と文の使用とインターネット (2) 「例外的な文や語」を探そう 第14回：授業のまとめと期末復習テスト 第15回：期末復習テストの講評と復習						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	日常的にコンピュータ、インターネットを使用して英語の文章に親しむ。						
授業方法	講義と課題にもとづく作業をしてもらいます。						
評価基準と評価方法	毎回授業でインターネットのコーパスで検索した結果を、授業で説明する方法に従って分類し、それをレポートとして提出してもらいます。毎回のレポートを10点満点で評価し、その平均点を100点満点で算出したものを授業の成績とします。欠席すればその回のレポートは0点です。						
履修上の注意	文法の説明、検索方法の説明などした上で作業をしてもらいます。欠席する人がいると、その人のために説明を繰り返すなどの必要があり、全体への迷惑となります。欠席はしないこと。14回レポート提出を予定しているので、1回欠席すると約7点減点となります。						
教科書	授業で指示します						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングA						
担当教員	清水 陽子					科目ナンバ-	E2311A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	逐次通訳入門						
授業の概要	<p>逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練</p> <p>通訳とはどのような作業を行なうのか、逐次通訳と同時通訳の違いは何か、等の理解を深めながら、通訳を行なう際に求められる要素を紹介し、授業では通訳養成のトレーニングを行なうことにより、効果的な英語学習を实践し、英語力の向上を目指します。</p> <p>授業ではテープを用いて、スピーチの訳出、英文原稿のサマリー、Q&amp;A、数字の聞き取り、ニュースの英語、観光通訳、インタビューの英語などに取り組みます。学期末には各自スピーチを作成して、スピーチ通訳パフォーマンスを行ないます。</p>						
到達目標	リスニング力を伸ばし、英語スピーチの作成、簡単な内容の逐次通訳が出来るようになります。英語・日本語による口頭発表が臆せず出来るようになります。						
授業計画	<p>1 オリエンテーション ラギング、シャドウイング、サイトトランスレイションなどの通訳トレーニングの説明と実践 テキスト Unit 1</p> <p>2 Unit 1 通訳トレーニング開始 ラギングにチャレンジ</p> <p>3 Unit 2 数字の練習</p> <p>4 Unit 2 美しく読む 発音矯正 スピードを上げる 重要な母音</p> <p>5 Unit 3 美しく読む 発音矯正 スピードを上げる 重要な子音</p> <p>6 Unit 4 速訳練習</p> <p>7 Unit 5 簡単な挨拶</p> <p>8 Unit 6 ニュースの英語</p> <p>9 Unit 7 パラフレイズ練習</p> <p>10 同時通訳にチャレンジ</p> <p>11 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第一グループ</p> <p>12 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第二グループ</p> <p>13 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第三グループ</p> <p>14 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第四グループ</p> <p>15 まとめと試験</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	毎回ディクテーションの宿題提出か、あるいは復習部分のプレゼンテーションが有ります。学期末に行う通訳スピーチプレゼンテーションの準備は指示に従って、主に授業外で行います。						
授業方法	テキストを用いての通訳トレーニングと配布プリントを用いての実践トレーニング。CALL教室にて、ヘッドセットをもちいて行ないます。						
評価基準と評価方法	毎回の授業でのトレーニング 平常点(20%) 宿題提出物(20%) 学期末試験(30%) 通訳パフォーマンス(30%)による総合評価です。						

履修上の注意	積極的に授業に参加する意志のある人を対象とします。 10回以上の出席がないと、受講資格を失います。 ※質問は授業の前後で受け付けます。
教科書	改訂四版 通訳トレーニングコース 水野真木子 鍵村和子 共著 大阪教育図書 ISBN4-271-11300-X
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングA						
担当教員	山内 啓子					科目ナンバ-	E2311A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	1) 英語の運用力向上 2) 日本語/英語の「ことば」に対する理解を深め、感性を高める						
授業の概要	二者間で情報が正しく伝達されるための、手段としての通訳法に対する理解を深めます。双方に情報を正確に伝達するための要素として通訳養成トレーニングの技法を学び、それを活用して英語運用能力の向上を目指します。シャドウイング、リピーティング、暗唱、反復練習などを通して効果的な英語の学習法の実践・習得に努めます。  この授業では特にシャドウイングに特化した教科書を用いて英語力の強化を計ります。また英語の運用能力の向上のためにペアワーク、グループワークを課して使える技能を磨きます。						
到達目標	通訳トレーニングの技法を知り、その練習を繰り返すことで日→英→日の言語往來の能力を高めます。						
授業計画	<p>(毎回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5分間TOEIC準拠のリスニングテスト</li> <li>・リスニングテスト問題の通訳トレーニング</li> </ul> <p>前期はテキスト1-6, でシャドウイングとリピーティング、短文の通訳練習をします。さらにwebsiteを活用します</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Overall introduction</li> <li>2. unit 1. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>3. unit 1. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation</li> <li>4. unit 2. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>5. unit 2. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation</li> <li>6. unit 3. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>7. unit 3. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation</li> <li>8. Students presentation on shadowing + repeating</li> <li>9. unit 4. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>10. unit 4. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation</li> <li>11. unit 5. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>12. unit 5. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation</li> <li>13. unit 6. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>14. Review + test</li> <li>15. Follow up</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前: テキストをよく読んで予習しておくこと。 授業後: 授業中に学んだ通訳の技法を繰り返し練習する。 課題として出されたウェブサイトを何度も聞く。						
授業方法	shadowing, repeatingなどの技法練習と、逐次訳練習						
評価基準と評価方法	授業への積極参加、テスト、発表等の累積評価を行います。 発表累計40%, テスト30%, 授業積極参加30%						
履修上の注意	出席重視、予習の徹底を重視します。 積み重ねが重要ですので、全出席の心構えで臨むこと。熱意と誠意に欠ける学生は歓迎しません。						
教科書	"Developing Interpreting Skills for Communication" (Revised Edition) 齋藤彩子他著 (南雲堂) ISBN978-4-523-17845-3						

参考書	授業中に紹介します。
-----	------------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングB						
担当教員	清水 陽子					科目ナンバ-	E2311B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練						
授業の概要	<p>逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練</p> <p>通訳とはどのような作業を行うのか、逐次通訳と同時通訳の違いは何か、などの理解を深めながら、通訳を行う際に求められる要素を紹介し、授業では実際に通訳者養成のトレーニングを用いて、効果的な英語学習方法を紹介し、実践します。</p> <p>授業は主としてテープを用いて英語のスピーチを日本語に訳出します。英語の運用能力を高めるために、英文記事のサマリー、Q&amp;A、同時通訳的発想による速読法、速訳などの練習も行ないます。各自スピーチを作成してペアを組んだ通訳担当者とのパフォーマンスも行います。</p> <p>前期では入門編とテキスト前半を終えておりますので、後期ではそれを発展させて、フォーマルスピーチにもチャレンジします。</p> <p>前期後期合わせてカリキュラムを構成していますので、前期を履修していることが望ましいですが、後期から初めて履修する人のために簡単な説明と復習を行なってから授業を始めます。</p>						
到達目標	リスニング力を伸ばし、ビジネススピーチの作成、フォーマル表現を習得し活用できるようになります。人前における英語・日本語の口頭発表が臆せず出来るようになります。						
授業計画	<p>1 Unit 8 &amp; 英日ビジネススピーチ</p> <p>2 Unit 8 &amp; 日英ビジネススピーチ</p> <p>3 Unit 9 &amp; フォーマル表現 会議での表現</p> <p>4 Unit 9 &amp; フォーマル表現 レセプションでの表現</p> <p>5 Unit 10 &amp; 司会者の挨拶</p> <p>6 Unit 10 &amp; ゲストの挨拶</p> <p>7 Unit 11 &amp; ニュースの英語</p> <p>8 Unit 12 &amp; 大統領の英語</p> <p>9 Unit 13 &amp; 大統領の英語</p> <p>10 Unit 14 &amp; 同時通訳にチャレンジ</p> <p>11 スピーチ通訳プレゼンテーション 第1グループ</p> <p>12 スピーチ通訳プレゼンテーション 第2グループ</p> <p>13 スピーチ通訳プレゼンテーション 第3グループ</p> <p>14 スピーチ通訳プレゼンテーション 第4グループ</p> <p>15 まとめと筆記試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	毎回ディクテーションの宿題提出あるいは、復習のプレゼンテーションが有ります。学期末に行うスピーチ通訳プレゼンテーションの準備は、指示に従って主に授業外で行います。						
授業方法	テキストを用いての授業と配布プリントを用いてのトレーニングを合わせて行ないます。CALL教室にてヘッドセットを使用してトレーニングをします。各学期末にスピーチ通訳パフォーマンスを行ないます。						
評価基準と評価方法	平常点20% 提出物20% スピーチ通訳プレゼンテーション30% 期末試験30%						

履修上の注意	積極的に授業に参加する意志のある人を対象とします。 10回以上の出席がないと、受講資格を失います。 ※質問は授業の前後で受け付けます。
教科書	テキストとプリントを使用 改訂四版 通訳トレーニングコース 著 水野真木子・鍵村和子 (大阪教育図書) ISBN4-271-11300-X
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングB						
担当教員	山内 啓子					科目ナンバ-	E2311B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	1) 英語の運用力向上 2) 日本語/英語の「ことば」に対する理解を深め、感性を高める						
授業の概要	前期に引き続き二者間で情報が正しく伝達されるための、手段としての通訳法に対する理解を深めます。この授業では前期に引き続きシャドウイングに特化した教科書を用いて英語力の強化を計ります。また英語の運用能力の向上のためにペアワーク、グループワークを課して使える技能を磨きます。						
到達目標	通訳トレーニングの技法を知り、その練習を繰り返すことで日→英→日の言語往來の能力を高めます。						
授業計画	<p>(毎回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5分間TOEIC準拠のリスニングテスト</li> <li>・リスニング問題の通訳トレーニング</li> </ul> <p>後期はテキストunit 7-12 でシャドウイングとリピーティング、短文の通訳練習をします。 さらにwebsiteを活用します</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Overall introduction + revision</li> <li>2. unit 7. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>3. unit 7. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation</li> <li>4. unit 8. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>5. unit 8. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation</li> <li>6. unit 9. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>7. unit 9. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation</li> <li>8. Students presentation on shadowing + repeating</li> <li>9. unit 10. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>10. unit 10. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation</li> <li>11. unit 11. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>12. unit 11. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation</li> <li>13. unit 12. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation</li> <li>14. Review + test</li> <li>15. Follow up</li> </ol>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前：テキストをよく読んで予習しておくこと。 授業後：授業中に学んだ通訳の技法を繰り返し練習する。 課題として出されたウェブサイトを何度も聞く。						
授業方法	shadowing, repeatingなどの技法練習と、逐次訳練習						
評価基準と評価方法	授業への積極参加、テスト、発表等の累積評価を行います。 発表累計40%、テスト30%、授業積極参加30%						
履修上の注意	出席重視、予習の徹底を重視します。 積み重ねが重要ですので、全出席の心構えで臨むこと。熱意と誠意に欠ける学生は歓迎しません。						
教科書	"Developing Interpreting Skills for Communication"(Revised Edition) 齋藤彩子他著(南雲堂) ISBN978-4-523-17845-3						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークA						
担当教員	福田 洋子					科目ナンバ-	E2326A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネス実務の研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、接遇、電話対応、報告の仕方、など口頭でのコミュニケーションに重点を置き、ロールプレイを含む演習形式で授業を実施する。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。学びを通して、自身のキャリア開発につなげる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 秘書とビジネス実務</li> <li>3. 働く環境</li> <li>4. 社会人として求められる能力</li> <li>5. タイムマネジメント</li> <li>6. 人間関係、相手に良い印象を与えるには</li> <li>7. コミュニケーション技術</li> <li>8. コミュニケーションの実際</li> <li>9. 来客対応の基本</li> <li>10. 来客対応の実際</li> <li>11. 電話対応の基本</li> <li>12. 電話対応の実際</li> <li>13. 出張業務</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 質疑応答、期末試験</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。時事問題に関心を持つ。ロールプレイにより理想的な「型」を身につけ、ふだんから実践する。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50%）、平常点：「ポートフォリオ」等の提出を含む（50%）の総合評価です。						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な授業のため、毎回出席すること。</li> <li>・やむを得ない理由による欠席の場合も、文書による「報告」が必要です。</li> <li>・ビジネスマナーや敬語などを学ぶ機会とすること。</li> <li>・「上級秘書士」、「秘書士（国際秘書）」資格の必修科目です。</li> <li>・「秘書概論A・B」を履修済みあるいは履修中が望ましい。</li> <li>・A4サイズ、20ポケット以上の「ポートフォリオ」を作成し、授業の成果を蓄積・活用する。</li> </ul>						
教科書	『新しい時代の秘書ビジネス実務』、全国大学実務教育協会編集、紀伊國屋書店、ISBN978-4-314-10182-0 C3000						
参考書	『Introduction to MBA English』、Haruhiko Shiokawa 著、MACMILLAN LANGUAGEHOUSE、ISBN978-4-7773-6179-3 C3082						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークA						
担当教員	福田 洋子					科目ナンバ-	E2326A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネス実務の研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、接遇、電話対応、報告の仕方、など口頭でのコミュニケーションに重点を置き、ロールプレイを含む演習形式で授業を実施する。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。学びを通して、自身のキャリア開発につなげる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 秘書とビジネス実務</li> <li>3. 働く環境</li> <li>4. 社会人として求められる能力</li> <li>5. タイムマネジメント</li> <li>6. 人間関係、相手に良い印象を与えるには</li> <li>7. コミュニケーション技術</li> <li>8. コミュニケーションの実際</li> <li>9. 来客対応の基本</li> <li>10. 来客対応の実際</li> <li>11. 電話対応の基本</li> <li>12. 電話対応の実際</li> <li>13. 出張業務</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 質疑応答、期末試験</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。時事問題に関心を持つ。ロールプレイにより理想的な「型」を身につけ、ふだんから実践する。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50%）、平常点：「ポートフォリオ」等の提出を含む（50%）の総合評価です。						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な授業のため、毎回出席すること。</li> <li>・やむを得ない理由による欠席の場合も、文書による「報告」が必要です。</li> <li>・ビジネスマナーや敬語などを学ぶ機会とすること。</li> <li>・「上級秘書士」、「秘書士（国際秘書）」資格の必修科目です。</li> <li>・「秘書概論A・B」を履修済みあるいは履修中が望ましい。</li> <li>・A4サイズ、20ポケット以上の「ポートフォリオ」を作成し、授業の成果を蓄積・活用する。</li> </ul>						
教科書	『新しい時代の秘書ビジネス実務』、全国大学実務協会編集、紀伊國屋書店、ISBN978-4-314-10182-0 C3000						
参考書	『Introduction to MBA English』、Haruhiko Shiokawa 著、MACMILLAN LANGUAGEHOUSE、ISBN978-4-7773-6179-3 C3082						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	福田 洋子					科目ナンバ-	E2326B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネス実務の研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、PCソフトなどを用いた文書作成、会計業務、ファイリングなど、文書によるコミュニケーションに重点を置き、ビジネスレター、社交文書、メール等作成の実務能力を養う。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。学びを通して、自身のキャリア開発につなげる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 会議のコーディネイト</li> <li>3. 慶弔業務の要件</li> <li>4. 慶弔業務の実際</li> <li>5. 文書実務の要件</li> <li>6. 文書作成と発信</li> <li>7. 社外文書、ハガキ、メール</li> <li>8. 社外文書：ビジネス文書と儀礼文書</li> <li>9. ファイリングと情報管理</li> <li>10. これからのオフィスワーカー</li> <li>11. ES、履歴書作成の注意点</li> <li>12. 面接のポイント</li> <li>13. キャリアデザインを考える</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 質疑応答、期末試験</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当するところを予習する。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。多くのビジネス文書を読むことで、理想的な「型」を知り運用を試みることを推奨する。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50%）、平常点：「ポートフォリオ」等の提出を含む（50%）の総合評価。						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な授業のため、毎回出席すること。</li> <li>・やむをえない理由による欠席の場合も、文書による「報告」が必要です。</li> <li>・ビジネスマナーや敬語などを学ぶ機会とすること。</li> <li>・「上級秘書士」、「秘書士（国際秘書）」資格の必修科目です。</li> <li>・「秘書概論A・B」を履修済みあるいは履修中が望ましい。</li> <li>・A4サイズ、20ポケット以上の「ポートフォリオ」を作成し、授業の成果を蓄積・活用する。</li> </ul>						
教科書	『新しい時代の秘書ビジネス実務』、全国大学実務教育協会編集、紀伊國屋書店、ISBN978-4-314-10182-0 C3000						
参考書	『Introduction to MBA English』、Haruhiko Shiokawa 著、MACMILLAN LANGUAGEHOUSE、ISBN978-4-7773-6179-3 C3082						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	福田 洋子					科目ナンバ-	E2326B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネス実務の研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、PCソフトなどを用いた文書作成、会計業務、ファイリングなど、文書によるコミュニケーションに重点を置き、ビジネスレター、社交文書、メール等作成の実務能力を養う。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。学びを通して、自身のキャリア開発につなげる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 会議のコーディネート</li> <li>3. 慶弔業務の要件</li> <li>4. 慶弔業務の実際</li> <li>5. 文書実務の要件</li> <li>6. 文書作成と発信</li> <li>7. 社外文書、ハガキ、メール</li> <li>8. 社外文書：ビジネス文書と儀礼文書</li> <li>9. ファイリングと情報管理</li> <li>10. これからのオフィスワーカー</li> <li>11. ES、履歴書作成の注意点</li> <li>12. 面接のポイント</li> <li>13. キャリアデザインを考える</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 質疑応答、期末試験</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当するところを予習する。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。多くのビジネス文書を読むことで、理想的な「型」を知り運用を試みることを推奨する。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50%）、平常点：「ポートフォリオ」等の提出を含む（50%）の総合評価です。						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な授業のため、毎回出席すること。</li> <li>・やむをえない理由による欠席の場合も、文書による「報告」が必要です。</li> <li>・ビジネスマナーや敬語などを学ぶ機会とすること。</li> <li>・「上級秘書士」、「秘書士（国際秘書）」資格の必修科目です。</li> <li>・「秘書概論A・B」を履修済みあるいは履修中が望ましい。</li> <li>・A4サイズ、20ポケット以上の「ポートフォリオ」を作成し、授業の成果を蓄積・活用する。</li> </ul>						
教科書	『新しい時代の秘書ビジネス実務』、全国大学実務教育協会編集、紀伊國屋書店、ISBN978-4-314-10182-0 C3000						
参考書	『Introduction to MBA English』、Haruhiko Shiokawa著、MACMILLAN LANGUAGEHOUSE、ISBN978-4-7773-6179-3 C3082						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	比較文化論A／Study of Comparative Culture A						
担当教員	F. Shiobara					科目ナンバ-	E2214A
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Comparative culture (primarily comparing Western and East Asian culture)						
授業の概要	The aim of this course is to introduce students to the ideas of cultural difference in order for them to gain an idea of intercultural communication. Particularly comparing Japanese and western ways of thinking, and values.						
到達目標	Students will be aware of comparative culture as a discipline. Students will gain knowledge of Western and East Asian cultural backgrounds and differences. Students will participate in small groups giving opinions.						
授業計画	第1回 : Course Introduction 第2回 : Identity 第3回 : Food 第4回 : Values 第5回 : Religion 第6回 : Culture Shock 第7回 : Houses 第8回 : Revision and Mid-term test 第9回 : Culture in Language 第10回 : Body Language and Customs 第11回 : Individualism 第12回 : Art and Wabi Sabi 第13回 : Review of Weeks 9-12 第14回 : Examination and discussion game. 第15回 : Review board game and evaluations						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	Students need to be prepared to give their opinions and discuss various topics with other students.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Class discussion 50%. Mid-term and final test 50%						
履修上の注意	Normally, 70% attendance is required. Students arriving late may be given half attendance or be considered absent.						
教科書	Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka, Miyuki Iida: Identity Oxford University Press ISBN: 978-0-19-438574-9						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	比較文化論B／Study of Comparative Culture B						
担当教員	F. Shiobara					科目ナンバ-	E2214B
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Comparative culture (primarily comparing Western and East Asian culture)						
授業の概要	The aim of this course is to introduce students to the ideas of cultural difference in order for them to gain an idea of intercultural communication. Particularly comparing Japanese and western ways of thinking, and values.						
到達目標	Students will become aware of comparative culture as a discipline. Students will gain knowledge of Western and East Asian cultural backgrounds and differences. Students will participate in small groups giving opinions.						
授業計画	第1回 : Poiteness 第2回 : Honne and Tatemaie & Uchi and Soto 第3回 : Confucianism 第4回 : Communication Styles 第5回 : Halloween 第6回 : Body Language 第7回 : Gender and Culture 第8回 : Women's Rights 第9回 : Diversity 第10回 : Ha-fu (Movie) 第11回 : Social Change 第12回 : Christmas 第13回 : Speech Contest 第14回 : Global Community 第15回 : Examination and discussion game.						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	Students need to be prepared to give their opinions and discuss various topics with other students.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Class discussion. 50%. Mid-term and final test 50%						
履修上の注意	Normally, 70% attendance is required. Students arriving late may be given half attendance or be considered absent.						
教科書	Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka, Miyuki Iida: Identity Oxford University Press ISBN: 978-0-19-438574-9						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語A						
担当教員	多賀谷 真吾					科目ナンバ-	E2225A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	秘書に求められる英語力を習得する。						
授業の概要	ビジネスの場面で使用する英語を読解しながら、秘書として必要な英語表現、語彙などを理解し、国際社会に通用する英語力の養成を目指す。あわせて、グローバル社会において秘書が企業内で果たしている役割を考察し、その業務遂行に必要な基礎知識と必要な英語を学習する。秘書が携わる業務、主に、来客受付、応対、レジユメの書き方などについて、演習を交えながら学習する。						
到達目標	この授業を受けることで、秘書の実務に必要なジャンルの英語の語彙や表現を習得し、英語読解力を身につけることができ、加えてTOEIC試験などのスコア・アップにも役立つことになる。						
授業計画	第01回 インTRODクシヨN 第02回 基礎読解演習(01) テーマ:天気・気象 第03回 基礎読解演習(02) テーマ:求人広告(01)(貿易・メディア関係) 第04回 基礎読解演習(03) テーマ:求人広告(02)(工業・製菓関係) 第05回 基礎読解演習(04) テーマ:求人広告への応募(01)(事務・受付関係) 第06回 基礎読解演習(05) テーマ:求人広告への応募(02)(経済アナリスト・経営コンサル関係) 第07回 基礎読解演習(06) テーマ:求人応募への不採用通知(01)(一般職・販売関係) 第08回 基礎読解演習(07) テーマ:求人応募への不採用通知(02)(研究者・マネジメント関係) 第09回 基礎読解演習(08) テーマ:苦情(ホテル・通販・IT・家電関係) 第10回 基礎読解演習(09) テーマ:苦情への対応(ホテル・出版・インテリア・家電関係) 第11回 基礎読解演習(10) テーマ:銀行(01)(ATM関係) 第12回 基礎読解演習(11) テーマ:銀行(02)(銀行関係) 第13回 基礎読解演習(12) テーマ:航空(01)(マイレージ・空港警備関係) 第14回 基礎読解演習(13) テーマ:航空(02)(機材・安全装備関係) 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習:各プリントの4ページ目の英文を読解してくる。こと。 授業後学習:各プリントの1~3ページ目の授業で学んだ英文を暗唱できるくらい音読してくる。こと。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
履修上の注意	秘書とは、単に語学力だけでつとまる仕事ではありません。秘書は、3Kの仕事です。つまり、「ことば」「こと」「こころ」、すなわち、語学力に加えて、世間のことをよく知り、相手の心を気遣う思いやりが必要です。総合力を磨こうとする強い意志のある学生の受講を期待します。 ※質問は授業の前後で受け付けます。						
教科書	プリントを使用する。						
参考書	なし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語A						
担当教員	福田 洋子					科目ナンバ-	E2225A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として活躍するための英語力を修得する。						
授業の概要	DVDドラマなどで、いろいろなビジネス現場の英会話を視聴しながら、必要なコミュニケーションを学び、応用につなげる。						
到達目標	会議・発表・交渉などのビジネスシーンに必要な英語力を修得する。						
授業計画	第1回： オリエンテーション 第2回： 相手の予定や都合を尋ねる 第3回： Making Contact 第4回： 報告や謝罪の表現 第5回： Getting to Know You 第6回： 取引先との会食 第7回： Dining Out 第8回： 電話での表現 第9回： Can I Ask Who Is Calling, Please? 第10回： 電子メールでの表現 第11回： Let's Stick to the Schedule 第12回： 就職面接時の対応/Tell Us about Yourself 第13回： 会議設定に必要な表現など 第14回： Could We Meet Next Week? 第15回： まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	十分な予習と復習を実施することはもちろん、英語が必要となるようなインターンシップ、ボランティア、アルバイトなどに積極的に参加し、学んだ表現をできるだけ活用する。						
授業方法	講義と演習です。 ロールプレイを実施しますので、他の学生の良いところからも多く学びましょう。						
評価基準と評価方法	試験（定期試験と復習の小テスト）70%と受講状況30%との総合評価とします。						
履修上の注意	姿勢、アイコンタクトにも注意する。ビジネスにふさわしい服装についても考える。 常に、スマイルとポイズを意識する。						
教科書	Interactive Business English on DVD 『DVDで学ぶ実践的ビジネス英語』成美堂 ISBN978-4-7919-3090-6 C1082						
参考書	『Intelligent Business Skills Book』Pre-Intermediate Business English Person Education Limited ISBN 0-582-84692-7						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバ-	E2225B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として活躍するための英語力の習得						
授業の概要	DVDドラマで現場の実用会話を視聴しながら、ビジネスに必要なコミュニケーションを学ぶ。						
到達目標	学生は会議・発表・交渉などのビジネスシーンに必要な英語力を習得することができる。						
授業計画	第1回：Unit 8-1 会議の目的やデータを説明する方法 第2回：Unit 8-2 Can I Make a Point Here? 第3回：Unit 9-1 自分の意見を明確に伝える表現 第4回：Unit 9-2 I'm Not Sure I Agree 第5回：Unit 10-1 プレゼンテーションを成功させるための基礎 第6回：Unit 10-2 Today's Topic Is... 第7回：Unit 11-1 プレゼンテーションのまとめ方 第8回：Unit 11-2 To Sum Up 第9回：Unit 12-1 役割に応じたグループ・プレゼンテーションの方法 第10回：Unit 12-2 Any Questions? 第11回：Unit 13-1 ビジネス交渉 第12回：Unit 13-2 Making the Offer 第13回：Unit 14 契約条件を表現する言葉 第14回：Unit 15 Finalizing the Deal 第15回：まとめとテスト						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	十分な予習と復習が肝要です。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	試験（定期テストと復習テスト）7割と受講状況が3割。						
履修上の注意	十分な予習と復習が必要。						
教科書	『DVDで学ぶ実践的ビジネス英語』成美堂 ISBN 978-4-7919-3090-6						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	多賀谷 真吾					科目ナンバ-	E2225B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	秘書に求められる英語力を習得する。						
授業の概要	秘書英語Aで学習した内容を基に、秘書として業務を遂行していく上で必要な英語を学び、出張業務、スケジュール管理、パソコンを用いたの文章作成、英文ビジネスレターについて学習する。また、企業で上司をサポートし、コミュニケーションのパイプ役を果たす秘書がおこなう多岐に渡る業務を円滑に進めることができるよう、発表の機会を増やし、多様な場面で発表や実習をおこなう。発表の際は、海外との業務を想定しながら、オフィスで活用できる会話学習の習得とともに、仕事の進め方、文化の違いなどを学習する。						
到達目標	この授業を受けることで、秘書の実務に必要なジャンルの英語の語彙や表現を習得し、英語読解力を身につけることができ、加えてTOEIC試験などのスコア・アップにも役立つことになる。						
授業計画	第01回 インTRODクシヨン 第02回 応用読解演習(01) テーマ: 医薬(01)(薬局・健康問題) 第03回 応用読解演習(02) テーマ: 車と駐車(01)(車の整備・燃費) 第04回 応用読解演習(03) テーマ: 車と駐車(02)(駐車制限と禁止事項) 第05回 応用読解演習(04) テーマ: 統計データ(01)(円グラフ・パーセンテージ) 第06回 応用読解演習(05) テーマ: 統計データ(02)(折れ線グラフ・実験データ) 第07回 応用読解演習(06) テーマ: 警告(01)(契約事項・使用上の注意) 第08回 応用読解演習(07) テーマ: 警告(02)(免責事項・管理上の注意) 第09回 応用読解演習(08) テーマ: レシピ(レモネードやケーキの作り方) 第10回 応用読解演習(09) テーマ: 旅程表(団体旅行・個人旅行) 第11回 応用読解演習(10) テーマ: 金融(01)(現金所持・外国為替) 第12回 応用読解演習(11) テーマ: 金融(02)(ローン・為替変動) 第13回 応用読解演習(12) テーマ: メモランダム(社内禁止事項・社内訓示) 第14回 応用読解演習(13) テーマ: 株式(株価変動・先物取引) 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習: 各プリントの4ページ目の英文を読解してくる。こと。 授業後学習: 各プリントの1~3ページ目の授業で学んだ英文を暗唱できるくらい音読してくる。こと。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
履修上の注意	秘書とは、単に語学力だけでつとまる仕事ではありません。秘書は、3Kの仕事です。つまり、「ことば」「こと」「ところ」、すなわち、語学力に加えて、世間のことをよく知り、相手の心を気遣う思いやりが必要です。総合力を磨こうとする強い意志のある学生の受講を期待します。 ※質問は授業の前後で受け付けます。						
教科書	プリントを使用する。						
参考書	なし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論A/Secretarial Theory A						
担当教員	福田 洋子					科目ナンバ-	E2223A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者のあり方を研究し、ビジネスの基本を学ぶ。						
授業の概要	企業のトップを補佐する秘書（オフィスワーカー）に必要な知識を学ぶ（基礎編） 社会の急激な変化に伴い、オフィスワーカーに求められる知識や技能は広範囲なものになっている。会社のしくみ、経営組織、秘書（オフィスワーカー）の職務と役割、資質・能力、など事務職に就く人はもちろん、さまざまな職業に活かせる知識や技能の「基礎」を解説する。 ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、社会で活用できる内容とする。 また、学生のライフデザイン、キャリア形成に役立つものとする。						
到達目標	社会の方向性を理解する。 企業の組織や意思決定の仕組みについて学び、事務職として必要な基本知識を得る。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、秘書とは（グループディスカッション）</li> <li>2. 情報化時代と秘書</li> <li>3. 会社の仕組み</li> <li>4. 会社役員と秘書</li> <li>5. 会社の経営組織</li> <li>6. 意思決定システム（グループディスカッション）</li> <li>7. 秘書による補佐形態</li> <li>8. 秘書の職務と役割</li> <li>9. 秘書の職務内容</li> <li>10. 職業人としての基礎力（グループディスカッション）</li> <li>11. 働く意味（グループディスカッション）</li> <li>12. キャリアデザインとは⇒「ゲスト・スピーカー」招聘</li> <li>13. 経営環境の変化</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 質疑応答と期末試験</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど、解決に努める。 機会があれば、グローバル企業・NPOを訪問し、知見を広げる。						
授業方法	講義中心ではあるがグループディスカッション等を多く取り入れる。 ニュースの紹介、解説を適宜加え、企業社会を身近なものとする。 VTR、DVDなどを活用することで、理解しやすく興味を持てる授業とする。						
評価基準と評価方法	◆筆記試験（70%）、学習態度、提出物等（30%）の総合評価です。						
履修上の注意	・社会人への準備期間とすること。 ・「上級秘書士」、「秘書士（国際秘書）」資格の必修科目です。						
教科書	『オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成』、西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著、中央経済社 ISBN978-4-502-39920-6 C3034						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論B/Secretarial Theory B						
担当教員	福田 洋子					科目ナンバ-	E2223B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者のあり方を研究し、ビジネスへの応用を可能とする。						
授業の概要	企業のトップを補佐する秘書（オフィスワーカー）に必要な知識を学ぶ（応用編） オフィスワーカーに求められる基礎的な知識・技能を習得したのち、経営環境の変化、コミュニケーション能力、プロトコール（国際儀礼）、ホスピタリティ・マネジメント、CSR（企業の社会的責任）、リスクマネジメント、など多様な職業に必要とされる知識や技能について解説する。 ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、社会で活用できる内容とする。 また、学生のライフデザイン、キャリア形成に役立つものとする。						
到達目標	企業社会の方向性を理解する。 秘書（オフィスワーカー）に求められる基礎的知識とスキルを修得したのちに、それらを多様な職種に応用できる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、秘書とは</li> <li>2. 秘書とコミュニケーション I</li> <li>3. 秘書とコミュニケーション II（グループディスカッション）</li> <li>4. 人間関係（グループディスカッション）</li> <li>5. プロトコール</li> <li>6. ホスピタリティ</li> <li>7. コーポレート・ガバナンス</li> <li>8. 働く目的 ⇒ 「ゲスト・スピーカー」招聘</li> <li>9. リスクマネジメント</li> <li>10. 秘書のためのレファレンス</li> <li>11. 経済・政治・地域に関する情報</li> <li>12. 社会・文化に関する情報</li> <li>13. 自己決定力（義務・権利・責任）（グループディスカッション）</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 質疑応答、期末試験</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。 機会があれば、グローバル企業・NPOを訪問し、知見を広げる。						
授業方法	講義中心ではあるができるだけグループディスカッションを多く取り入れる。 新聞の経済記事、The Japan Timesの求人広告などを紹介、解説する。 VTR、DVDなどを活用することで、理解しやすく興味を持てる授業とする。						
評価基準と評価方法	◆筆記試験（70%）、学習態度、提出物等（30%）の総合評価です。						
履修上の注意	社会人への準備期間とすること。 「上級秘書士」、「秘書士（国際秘書）」資格の必修科目です。						
教科書	『オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成』、西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子著、中央経済社 ISBN978-4-502-39920-6 C3034						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	プレゼンテーションの技法A						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	E2334A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	時事問題とプレゼンに強くなる！						
授業の概要	時事的なトピックを取り上げて、その背景を含めた詳しい内容を調べ上げてプレゼンにまとめることで、時事問題に関する知識を深めると共に、プレゼンテーションの技術も身につけてしまおうという、欲張りな授業です。トピック探し、トピックに関する資料探し、分析、パワーポイントとハンドアウト作成、プレゼンのリハーサル、そして本番の発表まで、一通りを経験することになります。グループワークとなる予定です。						
到達目標	学生が時事問題に詳しくなり、そうした事柄についてきちんとしたプレゼンテーションができる。						
授業計画	第1回 授業紹介 第2回 グループ分け、メールの出し方、Manabaの使い方 第3回 プレゼンテーションの方法 第4回 ハンドアウトの書き方 第5回 アイデア発表 1 第1グループから第3グループまでの発表とコメント 第6回 アイデア発表 2 第4グループから第6グループまでの発表とコメント 第7回 中間発表 1 第1グループから第2グループまでの発表とコメント 第8回 中間発表 2 第3グループから第4グループまでの発表とコメント 第9回 中間発表 3 第5グループから第6グループまでの発表とコメント 第10回 最終発表 1 第1グループの最終発表とディスカッション 第11回 最終発表 2 第2グループの最終発表とディスカッション 第12回 最終発表 3 第3グループの最終発表とディスカッション 第13回 最終発表 4 第4グループの最終発表とディスカッション 第14回 最終発表 5 第5グループの最終発表とディスカッション 第15回 最終発表 6 第6グループの最終発表とディスカッション						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	丹念な発表準備（調査、議論、発表資料作成、リハーサル）						
授業方法	講義と発表						
評価基準と評価方法	プレゼンテーションの出来具合（パワーポイントの出来具合、ハンドアウトの出来具合、発想、発表の4点から評価）50%、および他グループのプレゼンへのコメント50%						
履修上の注意	■私語厳禁。出席をしないとコメント点が取れずに、単位を落とすこととなります。						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	プレゼンテーションの技法B						
担当教員	松田 謙次郎					科目ナンバ-	E2334B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	時事問題とプレゼンに強くなる！						
授業の概要	時事的なトピックを取り上げて、その背景を含めた詳しい内容を調べ上げてプレゼンにまとめることで、時事問題に関する知識を深めると共に、プレゼンテーションの技術も身につけてしまおうという、欲張りな授業です。トピック探し、トピックに関する資料探し、分析、パワーポイントとハンドアウト作成、プレゼンのリハーサル、そして本番の発表まで、一通りを経験することになります。グループワークとなる予定です。						
到達目標	学生が時事問題への知識と理解を深め、きちんとしたプレゼンテーションができる。						
授業計画	第1回 オリエンテーション、グループ分け 第2回 前期のプレゼンの反省 第3回 アイデア発表 1 第4回 アイデア発表 2 第5回 アイデア発表 3 第6回 中間発表 1 第7回 中間発表 2 第8回 中間発表 3 第9回 中間発表 4 第10回 最終発表 1 第11回 最終発表 2 第12回 最終発表 3 第13回 最終発表 4 第14回 最終発表 5 第15回 まとめと復習						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	丹念な発表準備（調査、議論、発表資料作成、リハーサル）						
授業方法	講義と発表						
評価基準と評価方法	プレゼンテーションの出来具合（パワーポイントの出来具合、ハンドアウトの出来具合、発想、発表の4点から評価）50%、および他グループのプレゼンへのコメント50%						
履修上の注意	■私語厳禁。出席をしないとコメント点が取れずに、単位を落とすこととなります。						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	翻訳トレーニングA						
担当教員	白川 計子					科目ナンバ-	E2312A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	翻訳とは何か、実践をとおして学ぶ翻訳法						
授業の概要	英語から日本語へ、日本語から英語への正確な翻訳を実践するために求められる各種の知識を提供し、それに基づく翻訳の演習を行う。授業では様々な素材を用いた翻訳をスピード感をもって実践する。						
到達目標	(1) 翻訳に必要な作業(辞書の十分な活用、必要な情報の収集)ができるようになる。 (2) 文芸翻訳、実用翻訳、メディア翻訳の基本スキルを修得する。						
授業計画	第1回：翻訳とは何か。 第2回：俳句の英訳と文化の移植 第3回：百人一首の英訳実践 第4回：映画台詞の翻訳について 第5回：映画台詞理解と翻訳 第6回：映画台詞翻訳実践 第7回：映画台詞翻訳の復習と仕上げ 第8回：名言翻訳実践 第9回：実用書の翻訳について 第10回：実用書の翻訳実践 第11回：実用書の翻訳の復習 第12回：実用書の翻訳の仕上げ 第13回：短編小説の翻訳の仕方 第14回：短編小説の翻訳実践 第15回：まとめと復習						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習：与えられた課題を予習する。(目安とする学習時間：2～3時間) 授業後学習：翻訳を完成させる。(目安とする学習時間：2時間程度)						
授業方法	講義と翻訳演習						
評価基準と評価方法	平常点(授業中の予習と発表)40%、翻訳作品提出物60%						
履修上の注意	出席重視。						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	翻訳トレーニングB						
担当教員	白川 計子					科目ナンバ-	E2312B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	翻訳とは何か、実践をとおして学ぶ翻訳法						
授業の概要	英語から日本語へ、日本語から英語への正確な翻訳を実践するために求められる各種の知識を提供し、それに基づく翻訳の演習を行う。授業では様々な素材を用いた翻訳をスピード感をもって実践する。						
到達目標	(1) 翻訳に必要な作業(辞書の十分な活用、必要な情報の収集)ができるようになる。 (2) 文芸翻訳、実用翻訳、メディア翻訳の基本スキルを修得する。						
授業計画	第1回：翻訳とは何か、さまざまな翻訳紹介 第2回：「草枕」の英訳鑑賞 第3回：「草枕」の英訳実践 第4回：「ことわざ」の翻訳実践 第5回：映画の台詞の理解 第6回：映画の台詞翻訳実践 第7回：映画の台詞翻訳の復習 第8回：映画の台詞翻訳の仕上げ 第9回：実用書翻訳について 第10回：実用書の翻訳実践 第11回：実用書の翻訳の復習 第12回：実用書の翻訳の仕上げ 第13回：英米作家短編小説の翻訳について 第14回：英米作家短編翻訳実践 第15回：まとめと復習						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習：与えられた課題を予習する。(目安とする学習時間：2～3時間) 授業後学習：翻訳を完成させる。(目安とする学習時間：2時間程度)						
授業方法	講義と翻訳演習						
評価基準と評価方法	平常点(授業中の予習と発表)40%、翻訳作品提出物60%						
履修上の注意	出席重視。						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語						
担当教員	E. Dean					科目ナンバ-	E22100
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Understanding English in the media and researching and discussing topics in the media in English						
授業の概要	You will learn how to make use of English media to both improve your English ability and to access information while studying abroad.						
到達目標	During class you will study English newspapers, watch and listen to English TV news programmes, spend time using the Internet in English and participate in pair and group discussions to give you confidence in using English media to better your life while studying abroad.						
授業計画	<p>1 - Introduction to English in the Media</p> <p>2 - Getting acquainted with English newspapers and skimming for information</p> <p>3 - Writing a newspaper report</p> <p>4 - BBC News: Addiction to Smart Phones - Learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report. Using the Internet to research and discuss smart phone addiction in Japan.</p> <p>5 - BBC news: Wonky Vegetables - Learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report. Using the Internet to research and discuss food waste in Japan.</p> <p>6 - BBC news: Money for Children's Sports - Learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report. Listening for and discussing detail and using the Internet to find out about children's participation in sports and predicting the effect of the Tokyo Olympics.</p> <p>7 - BBC news: A Hybrid Solar Balloon - Learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report. Listening for and discussing detail and using the Internet to find out about 'green' power.</p> <p>8 - Studying and planning movie reviews.</p> <p>9 - Writing movie reviews.</p> <p>10 - BBC news: Home Schooling - Learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report. Listening for and discussing detail and using the Internet to find out about home schooling in Japan.</p> <p>11 - BBC news: Using SNS to Relieve Eating Disorders - Learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report. Listening for and discussing detail and using the Internet to find out about eating disorders in Japan.</p> <p>12 - BBC news: New Guidelines for Alcohol - Learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report. Listening for and discussing detail and using the Internet to find out about and compare alcohol guidelines in Japan and the UK.</p> <p>13 - BBC news: English Muslim Women Immigrants - Learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report. Listening for and discussing detail and using the Internet to find out about immigrants in Japan.</p> <p>14 - BBC news: Eating Insects to Save the World - Learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report. Listening for and discussing detail and using the Internet to find out about how eating insects could help to solve the world food problem.</p> <p>15 - Using the English Internet to prepare for study abroad</p>						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	Some research for assignments about topics studied in class. Some writing assignments.						
授業方法	Lectures including reading English newspapers, watching BBC news reports, discussing topics in the news and using the Internet. Students will be working alone and in pairs for discussions and to complete assignments.						
評価基準と評価方法	<p>Grades will be based on class participation and assignments</p> <p>Class participation: 40 %</p> <p>Assignments: 60%</p>						

履修上の注意	Students must attend at least 12 classes and speak only in English during class. In order to pass this class, they must complete all assignments. *I will be available for questions during and immediately after class.
教科書	Seeing the World Through the News 4 By Timothy Knowles, Charles Lowe, Mayumi Tamura, Minne Tanaka, Mihoko Nakamura Published by Kinseido ISBN 978-4-7647-4032-7
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバー	E22100
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	ナチュラルスピードの英語聴解力の養成						
授業の概要	英語圏で放送された素材を通じて、英語の聴解力の向上と語彙力の増強を目指す。 留学準備としても対応できるように、教材にはすべて、実際に英語圏で放送されているものを選ぶ。						
到達目標	この授業の演習を通じて、学生は字幕に頼らずに、英語圏で放送されたテレビニュースの英語を聴き取り、理解する能力を習得することを目指す。 英語圏の文化について理解を深めながら、英語の語彙を増やし、自然なスピードの英語の聴解力を伸ばすことを目標とする。						
授業計画	第1回：海外から見た日本の給食 第2回：カリフォルニアはBYOB 第3回：犬を飼うと健康になる？ 第4回：成長に合わせて大きくなる靴をアフリカの子どもたちに 第5回：猫で職場のストレス解消 第6回：デジタルコミックの隆盛 第7回：炭酸飲料と老化の関係 第8回：就活では「いいね」ボタンに気を付けて 第9回：座りっぱなしは体に毒？ 第10回：抹茶が大人気、その理由は？ 第11回：アメリカのイクメン事情 第12回：神からの啓示で見知らぬ友を助ける 第13回：アメリカでラーメン人気上昇中 第14回：デジタル時代における手書きのパワー 第15回：まとめとテスト						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	予習、復習を十分に於て授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	試験（8割）と課題の出来栄えを含む受講状況（2割）の総合評価。						
履修上の注意	毎回の授業に集中力を持って取り組むこと。 教職課程履修希望者は、このクラスを受講すること。						
教科書	『CBS News Break 3』熊井信弘 Stephen Timson 著（成美堂） ISBN 978-4-7919-6033-0						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語A/English in the Media A						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバ-	
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	ナチュラルスピードの英語聴解力の養成						
授業の概要	英語圏で放送された素材を通じて、英語の聴解力の向上と語彙力の増強を目指す。 留学準備としても対応できるように、教材にはすべて、実際に英語圏で放送されているものを選ぶ。 また、英語のヒットソングを用いて、音声変化の法則を体系的に学び、聴き取る能力を向上させることも目標とする。						
到達目標	授業の演習を通じて、学生は字幕に頼らずに、英語圏で放送されたテレビニュースの英語を聴き取り、理解する能力を習得することを目指す。 英語圏の文化について理解を深めながら、英語の語彙を増やし、自然なスピードの英語の聴解力を伸ばすことを目標とする。						
授業計画	第1回：音声変化 Unit 1 第2回：海外から見た日本の給食 第3回：音声変化 Unit 2 第4回：カリフォルニアはBYOB 第5回：音声変化 Unit 3 第6回：犬を飼うと健康になる？ 第7回：音声変化 Unit 4 第8回：成長に合わせて大きくなる靴をアフリカの子供たちに 第9回：音声変化 Unit 5 第10回：猫で職場のストレス解消 第11回：音声変化 Unit 6 第12回：デジタルコミックの隆盛 第13回：音声変化 Unit 7 第14回：炭酸飲料と老化の関係 第15回：まとめとテスト						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	予習、復習を十分にして授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	試験（8割）と受講状況（2割）の総合評価。						
履修上の注意	宿題を完成させた上で受講すること。 教職課程履修希望者は、このクラスを受講すること。 テキストは「メディアの英語B」でも引き続き、使用する。 通年で2冊のテキストを使用する。						
教科書	『CBS News Break 3』熊井信弘 Stephen Timson 著（成美堂） ISBN 978-4-7919-6033-0 『ヒットソングで学ぶ総合英語』角山照彦 Simon Capper 著（成美堂）978-4-7919-3387-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語B/English in the Media B						
担当教員	川中 紀子					科目ナンバ	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	ナチュラルスピードの英語聴解力の養成						
授業の概要	英語圏で放送された素材を通じて、英語の聴解力の向上と語彙力の増強を目指す。 留学準備としても対応できるように、教材にはすべて、実際に英語圏で放送されているものを選ぶ。 また、英語のヒットソングを用いて、音声変化の法則を体系的に学び、聴き取る能力を向上させることも目標とする。						
到達目標	英語圏の文化について理解を深めながら、英語の語彙を増やし、自然なスピードの英語の聴解力を伸ばすことを目標とする。 この授業の演習を通じて、学生は、字幕に頼らずに英語圏のニュースを聴き取り、理解する能力を習得することを目指す。						
授業計画	第1回：音声変化 Unit 8 第2回：就職活動ではLikeボタンに気をつけて 第3回：音声変化 Unit 9 第4回：座りっぱなしは体に毒？ 第5回：音声変化 Unit 10 第6回：抹茶が大人気 その理由は？ 第7回：音声変化 Unit 11 第8回：成長に合わせて大きくなる靴をアフリカの子供たちに 第9回：音声変化 Unit 12 第10回：アメリカのイクメン事情 第11回：音声変化 Unit 13 第12回：神からの啓示で見知らぬ友を助ける 第13回：音声変化 Unit 14 第14回：デジタル時代における手書きのパワー 第15回：まとめとテスト						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	予習、復習を十分にして授業にのぞむこと。 課題の出来栄が成績に反映される。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	試験（8割）と課題の出来栄を含む受講状況（2割）の総合評価。						
履修上の注意	教職課程履修希望者は、このクラスを受講すること。 メディアの英語 Aで使用したテキストを引き続き使用する。						
教科書	『CBS News Break 3』熊井信弘 Stephen Timson 著（成美堂） ISBN 978-4-7919-6033-0 『ヒットソングで学ぶ総合英語』角山照彦 Simon Capper 著（成美堂）978-4-7919-3387-7						
参考書							